

—解答・解説の見方—

解説の記載は基本的に①問題に対する総論的解説、②選択肢ごとの○×、③各選択肢の解説という構成になっています。ただし、設問の性質その他によって上記の一部を記載していない問題もあります。

選択肢については内容が正しい肢に○、誤っている肢に×を付しています。

<注意>

選択肢の○×は内容主体に付されています。

正しい選択肢を問う問題については内容の正しい選択肢に○、誤っている選択肢に×を付しています。

一方、誤っている選択肢を問う問題についても内容が正しい選択肢に○、誤っている選択肢に×を付しています。

ex.

[正しい選択肢を問う問題の場合]

問 魚類について正しいのはどれか。

- a 光合成を行う。
- b えら呼吸を行う。
- c 羽毛がある。
- d 胎生である。



解答 b

- a × 光合成を行うのは植物の性質である。
- b ○
- c × 羽毛があるのは鳥類である。
- d × 胎生は哺乳類の特徴である。

[誤っている選択肢を問う問題の場合]

問 魚類について誤っているのはどれか。

- a えら呼吸を行う。
- b 水中を移動する。
- c 光合成を行う。
- d 卵を産む。



解答 c

- a ○
- b ○
- c × 光合成を行うのは植物の性質である。
- d ○

正解であるcに“×”が付きます

問題 A		解答・解説	
人体（歯・口腔を含む）の構造と機能			
1	<p>粘膜を覆う上皮組織の高拡大の顕微鏡像（別冊 No. 1）を別に示す。 移行上皮はどれか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>a ①</li> <li>b ②</li> <li>c ③</li> <li>d ④</li> </ul> <p>▷ keyword：単層扁平上皮、重層扁平上皮、単層円柱上皮、多列線毛上皮、移行上皮</p>	<p>解答：b</p> <p>上皮組織は体の表面や体腔の内面を覆う組織で、隣り合う細胞同士の結合によりつくられる。上皮組織は形により分類すると薄く、平らな細胞の扁平上皮、サイコロ状の細胞の立方上皮、円柱状の細胞の円柱上皮、特に円柱上皮の自由表面に線毛が存在するものを多列線毛上皮（気道にみられ、上皮の表面についた粘膜や異物を除去）という。特殊な上皮として機能的状態で伸び縮みし、上皮細胞の形を変えられる移行上皮（膀胱・尿管）に分けられる。さらにそれらを配列で分類すると細胞が1層に並んだ単層上皮と何層にもなった重層上皮に分けられる。例をあげると、一層に並んだ単層扁平上皮（血管内皮・漿膜）、単層円柱上皮（胃や腸の上皮で呼吸や分泌の働きをもつ細胞）や細胞が何層にも重なった重層扁平上皮（皮膚・口腔粘膜）がそれである。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>a × 多列線毛上皮である。</li> <li>b ○</li> <li>c × 単層円柱上皮である。</li> <li>d × 重層扁平上皮である。</li> </ul> <p>文献：最新歯科衛生士教本 解剖学・組織発生学・生理学 22-25 新歯科衛生士教本 解剖学・口腔解剖学・組織発生学 102-104</p>	
2	<p>口腔内写真（別冊 No. 2）を別に示す。 矢印が示すのはどれか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>a 遊離歯肉</li> <li>b 歯間乳頭</li> <li>c 歯槽粘膜</li> <li>d 付着歯肉</li> </ul> <p>▷ keyword：遊離歯肉、付着歯肉、歯間乳頭、歯槽粘膜</p>	<p>解答：a</p> <p>写真は口腔を前方からみたところで、薄い桃色の部分が歯肉である。矢印は遊離歯肉を示す。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>a ○</li> <li>b × 歯間乳頭とは歯と歯の間（歯間隙）を埋める部分である。</li> <li>c × 上顎の歯槽粘膜は付着歯肉の上方の赤い部分である。</li> <li>d × 上顎の付着歯肉は遊離歯肉の上方の細かいくぼみ（ステッピング）がみられる部分である。</li> </ul> <p>文献：最新歯科衛生士教本 口腔解剖学・口腔組織発生学・口腔生理学 13-14</p>	
3	<p>大白歯咬合面観の写真（別冊 No. 3）を別に示す。 FDI方式の歯式（歯の記号）で正しいのはどれか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>a 16</li> <li>b 26</li> <li>c 36</li> <li>d 46</li> </ul> <p>▷ keyword：歯式（歯の記号）</p>	<p>解答：d</p> <p>永久歯の歯式（歯の記号）は一桁の数字で表すジグモンディ方式と二桁の数字で表すFDI方式がある。写真の歯は、5咬頭存在するので下顎第一大臼歯であることがわかる。さらに、遠心咬頭の位置から下顎右側第一大臼歯であることが鑑別できる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>a × 16は上顎右側第一大臼歯を表す。</li> <li>b × 26は上顎左側第一大臼歯を表す。</li> <li>c × 36は下顎左側第一大臼歯を表す。</li> <li>d ○ 46は下顎右側第一大臼歯を表す。</li> </ul> <p>文献：最新歯科衛生士教本 口腔解剖学・口腔組織発生学・口腔生理学 152</p>	
4	<p>細胞の写真（別冊 No. 4）を別に示す。 矢印が示すのはどれか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>a 単球</li> <li>b 赤血球</li> <li>c 好中球</li> <li>d リンパ球</li> </ul> <p>▷ keyword：血液、赤血球、白血球、好中球</p>	<p>解答：c</p> <p>写真の矢印は好中球である。中央部が白く周辺部が桃色の多数の細胞は赤血球である。血液を構成する細胞成分には、赤血球のほか、好中球、好酸球、好塩基球、単球、リンパ球からなる白血球、血小板がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>a × 単球は腎臓形の核をもつ大きな細胞で、貪食、殺菌作用を有する。</li> <li>b × 写真にみられる中央部が白く周辺部が桃色の多数の細胞が赤血球である。</li> <li>c ○ 矢印に示す大きな細胞で、分葉した核をもち、中性色素に染まる顆粒をもつ。</li> <li>d × リンパ球は核の割合が大きい細胞で、免疫に関与している。</li> </ul> <p>文献：最新歯科衛生士教本 解剖学・組織発生学・生理学 116-118</p>	

問題 A

解答・解説

5 細胞質に局在する代謝過程はどれか。  
 a 解糖  
 b β酸化  
 c 電子伝達系  
 d クエン酸回路

**解答：a**  
 代謝とは生体内で生じる化学反応のことで、特に栄養素からエネルギー（ATP）を取り出し、利用する一連の過程をエネルギー代謝という。例えば、グルコースは解糖、クエン酸回路、電子伝達系によってATPを産生し、脂肪酸はβ酸化、クエン酸回路、電子伝達系によってATPを産生する。  
 a○ 解糖は細胞質に局在する。  
 b× β酸化はミトコンドリアに局在する。  
 c× 電子伝達系はミトコンドリアに局在する。  
 d× クエン酸回路はミトコンドリアに局在する。

▶ keyword：解糖、クエン酸回路、電子伝達系、β酸化

**文献：**最新歯科衛生士教本 栄養と代謝 29  
 新歯科衛生士教本 栄養指導・生化学 174、175、181

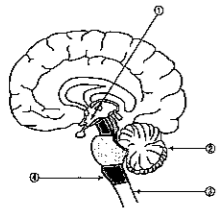
6 随意的に収縮の調節ができるのはどれか。  
 a 心筋  
 b 骨格筋  
 c 内臓平滑筋  
 d 多元平滑筋

**解答：b**  
 筋組織は、筋線維に横縞の模様のある横紋筋と、縞模様のない平滑筋の2つに大きく分類される。横紋筋はさらに骨格筋と心筋に分類される。骨格筋は収縮を随意的に調節できる随意筋であるが、心筋と平滑筋は随意的に調節できない不随意筋である。  
 a× 心筋は収縮を随意的に調節できない。心筋は骨格筋と同じ横紋筋であるが、骨格筋と異なって筋線維は網をつくるようにつながっており、隣接する筋線維間にギャップジャンクションがみられる。心筋は心臓の壁を構成し、自動能がある。  
 b○  
 c× 内臓平滑筋とは、消化管、腸管、子宮、尿管などの中空臓器の壁や径の細い血管壁を構成する平滑筋をいう。  
 d× 多元平滑筋とは、立毛筋、虹彩、径の太い血管を構成する平滑筋をいう。

▶ keyword：平滑筋、骨格筋、心筋

**文献：**最新歯科衛生士教本 解剖学・組織発生学・生理学 28-29、58-64  
 新歯科衛生士教本 生理学 37-45  
 ポイントチェック①第4版 37

7 中枢神経系(正中矢状面)を模式図に示す。



体温調節中枢が存在するのはどれか。

- a ①
- b ②
- c ③
- d ④

**解答：a**  
 中枢神経系の各部位の機能について理解する。中枢神経系には脳と脊髄が含まれる。脳は上方から大脳、間脳、中脳、橋、延髄に分けられ、橋と延髄の背側に小脳がある。  
 a○ 間脳の視床下部である。視床下部は自律神経系の最高中枢とみなされ、飲水中枢、摂食中枢、体温調節中枢などが存在する。  
 b× 小脳である。小脳の機能としては体平衡と姿勢の維持、大脳皮質と協調しての随意運動の調整と筋緊張の維持などがある。  
 c× 脊髄である。脊髄は脳と情報をやりとりする連絡通路（伝導路）として働くほか、反射の中枢として機能している。  
 d× 延髄である。延髄には生命維持に必要な循環中枢、呼吸中枢、排尿中枢など自律神経を調整する部位、また唾液分泌中枢（上唾液核・下唾液核）があり、さらに延髄と橋との境には嚥下中枢、咀嚼中枢が存在する。なお延髄、橋、中脳の3つを合わせて脳幹という。

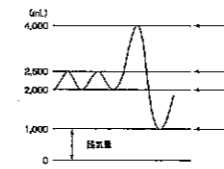
▶ keyword：延髄、橋、中脳、視床下部

**文献：**最新歯科衛生士教本 解剖学・組織発生学・生理学 149-154  
 新歯科衛生士教本 生理学 54-58、130-132

問題 A

解答・解説

8 肺気量の区分を図に示す。



最大に息を吸い込んだときの位置はどれか。

- a ①
- b ②
- c ③
- d ④

▶ keyword：肺気量、最大吸気位

**解答：a**

肺気量の区分について理解する。  
 a○ 最大吸気位を示す。  
 b× 安静時吸気位を示す。  
 c× 安静時呼気位を示す。安静時に、1回の吸気あるいは呼気で出入りする空気量（安静時吸気位と安静時呼気位の間、成人で約400mL）を1回換気量という。  
 d× 最大呼気位を示す。最大吸気位から最大呼気位までゆっくりと呼び出して測定するのが肺活量である。

**文献：**最新歯科衛生士教本 解剖学・組織発生学・生理学 182-183  
 新歯科衛生士教本 生理学 31-32

9 神経伝達物質はどれか。

- a エストロゲン
- b パラトルモン
- c パソプレッシン
- d アセチルコリン

▶ keyword：骨格筋、神経筋接合部、シナプス、伝達物質、ホルモン

**解答：d**

アセチルコリンは代表的な興奮性神経伝達物質の1つである。アセチルコリンはα運動ニューロンと骨格筋の神経接合部のシナプスにおいて伝達物質として働く。また、自律神経の節前ニューロンおよび副交感神経の節後ニューロンは伝達物質としてアセチルコリンを放出する。  
 a× 女性ホルモンである。  
 b× 上皮小体ホルモンである。カルシウム代謝に影響を与える。  
 c× 下垂体後葉から分泌されるホルモンである。抗利尿作用と血管収縮による血圧上昇作用がある。  
 d○ 例えば、運動神経と筋の接合部ではアセチルコリンが伝達物質である。しかし、アセチルコリンはすぐにコリンエステラーゼで分解される。

**文献：**最新歯科衛生士教本 解剖学・組織発生学・生理学 75-76、148-149  
 新歯科衛生士教本 生理学 47、52、84-91

疾病の成り立ち及び回復過程の促進

10 口腔に認められる悪性腫瘍で最も多いのはどれか。

- a 腺癌
- b 骨肉腫
- c 扁平上皮癌
- d エナメル上皮腫

▶ keyword：口腔がん、扁平上皮癌、腺癌、癌腫、肉腫、エナメル上皮腫

**解答：c**

口腔は皮膚と同じ角化重層扁平上皮で覆われ、この上皮から発生する腫瘍は、良性上皮性腫瘍は乳頭腫、悪性上皮性腫瘍（癌腫）では扁平上皮癌がほとんどである。そのほかには、歯牙腫やエナメル上皮腫などの歯胚に由来する歯原性腫瘍や、多形腺腫などの唾液腺腫瘍がある。  
 a× 胃や腸、唾液腺や膵臓などの腺組織に由来する癌腫である。  
 b× 骨組織に由来する悪性非上皮性腫瘍（肉腫）である。  
 c○ 重層扁平上皮に由来する癌腫である。最も口腔に発生頻度が高く、中高年の歯肉や舌に好発する。  
 d× 歯胚の歯芽やエナメル器に由来する良性上皮性腫瘍。良性腫瘍ではあるが、しばしば浸潤性の増殖を示し、顎骨内を伸展する。

**文献：**新歯科衛生士教本 病理学 第2版 206、212-214  
 ポイントチェック①第4版 141-142

問題 A	解答・解説
<p>11 口腔粘膜疾患とその原因との組合せで正しいのはどれか。</p> <p>a 麻疹—ウイルス b 扁平苔癬—真菌 c ヘルペス—細菌 d カンジダ症—スピロヘータ</p> <p>▷keyword: 口腔粘膜疾患、感染症、ウイルス、細菌、真菌、麻疹、扁平苔癬、ヘルペス、カンジダ</p>	<p><b>解答: a</b> 口腔粘膜疾患と関連するものうち、ウイルス感染症には、AIDS (HIV 感染症・後天性免疫不全症候群)、麻疹 (はしか)、ヘルペス、おたふく風邪などがあり、細菌感染症には、結核症、破傷風のほか、スピロヘータによる梅毒などがある。真菌感染症にはカンジダ症などがある。</p> <p>a○ 麻疹ウイルスの感染により起こり、口腔粘膜にコプリック斑が認められる。 b× レース模様の白斑が特徴で、金属アレルギーやC型肝炎との関連もある。 c× 口腔ヘルペスには、口角部に起こるヘルペス性口唇炎などの原因となる単純ヘルペスウイルス (HSV) と、帯状疱疹を起こす帯状疱疹ウイルス (VZV) がある。帯状疱疹の一次感染は、小児では水痘症 (水疱瘡) である。 d× 真菌のカンジダ・アルビカンスが原因で起こり、抵抗力が落ちたときに認められる日和見感染としてしばしば発症する。</p> <p><b>文献:</b> 最新歯科衛生士教本 病理学 179-184</p>
<p>12 細胞構造をもたない微生物はどれか。</p> <p>a 真菌 b ウイルス c クラミジア d マイコプラズマ</p> <p>▷keyword: ウイルス、原核細胞、真核細胞</p>	<p><b>解答: b</b> 原核生物、真核生物とウイルスの違いを理解する。</p> <p>a○ 真菌は真核細胞からなる。 b× ウイルスは細胞構造をもたない。 c○ クラミジアは一般の細菌同様、原核細胞からなるが、代謝経路を一部欠いているので、偏性細胞寄生性の特殊な細菌である。 d○ マイコプラズマは一般の細菌同様、原核細胞からなるが、細胞壁はない。</p> <p><b>文献:</b> 最新歯科衛生士教本 微生物学 13-15</p>
<p>13 自然免疫に関わるのはどれか。</p> <p>a T細胞 b B細胞 c 食細胞 d 形質細胞</p> <p>▷keyword: 獲得免疫、自然免疫、食細胞</p>	<p><b>解答: c</b> 自然免疫は、病原体を無差別に排除する防御機構であり、関わる細胞性、液性の因子を獲得免疫と対比しながら理解する。</p> <p>a× T細胞は獲得免疫で働くリンパ球である。 b× B細胞は獲得免疫で働くリンパ球である。 c○ 食細胞は自然免疫で働く細胞で、食食により異物を排除する。マクロファージや好中球などである。 d× Bリンパ球が異物と出会うと形質細胞に分化し、抗体を産生するので、獲得免疫で働く。</p> <p><b>文献:</b> 最新歯科衛生士教本 微生物学 74-81</p>
<p>14 胎盤を通過できる抗体はどれか。</p> <p>a IgA b IgE c IgG d IgM</p> <p>▷keyword: 抗体 (免疫グロブリン)</p>	<p><b>解答: c</b> 抗体の各クラスごとの特徴を理解する。</p> <p>a× IgAは分泌液中の主要抗体であるが、胎盤通過性はない。 b× IgEはアナフィラキシー反応を起こす抗体であるが、胎盤通過性はない。 c○ IgGは胎盤通過性のある唯一の抗体であり、移行抗体とよばれる。 d× IgMは感染初期に産生される抗体であるが、胎盤通過性はない。</p> <p><b>文献:</b> 最新歯科衛生士教本 微生物学 92-94</p>

問題 A	解答・解説
<p>15 H<sub>2</sub>受容体に結合する抗ヒスタミン薬の作用はどれか。</p> <p>a 抗腫瘍作用 b 抗感染作用 c 抗凝固作用 d 抗炎症作用</p> <p>▷keyword: 抗ヒスタミン薬</p>	<p><b>解答: d</b> 抗ヒスタミン薬である H<sub>2</sub>受容体拮抗薬は、炎症のケミカルメディエーターの1つであるヒスタミンに競合的に拮抗することで、血管透過性亢進や血管拡張作用を抑制し、抗炎症作用を示す。</p> <p>a× b× c× d○ 代表的な薬物として、ジフェンヒドラミン、クロルフェニラミン塩酸塩がある</p> <p><b>文献:</b> 最新歯科衛生士教本 薬理学 147 新歯科衛生士教本 薬理学 第2版 82</p>
<p>16 口腔粘膜からの吸収によって全身的作用がもたらされるのはどれか。</p> <p>a 含嗽剤 b バッカル錠 c 歯科用貼付薬 d 歯科用コーン剤</p> <p>▷keyword: 含嗽剤、バッカル錠、歯科用貼付薬、歯科用コーン剤</p>	<p><b>解答: b</b> 口腔用の薬剤には、口腔内局所に作用させることを目的とした薬剤と、口腔粘膜から吸収させて全身作用を目的とした薬剤がある。</p> <p>a× 口腔から咽頭部に至る粘膜の清掃、消毒、抗炎症、粘液の溶解などを目的として用いる。液剤や錠剤などを適宜水で希釈して用いる。 b○ 口腔内で溶解し、口腔粘膜から吸収させる全身作用を目的とした錠剤である。 c× アフタなど口腔粘膜の創面を覆い、唾液などによって簡単に粘膜から剥離しないように工夫した外用剤である。抗菌薬やステロイド性抗炎症薬を主成分とした薬剤がある。 d× 抜歯窩に挿入し、手術局所の薬物濃度を高める目的で用いられる。テトラサイクリン系抗菌薬が主に用いられる。</p> <p><b>文献:</b> 最新歯科衛生士教本 薬理学 8 新歯科衛生士教本 薬理学 第2版 57-61、173-174</p>
<b>歯・口腔の健康と予防に関わる人間と社会の仕組み</b>	
<p>17 フッ化物のう蝕予防機序で正しいのはどれか。2つ選べ。</p> <p>a 再石灰化促進 b 唾液緩衝能の亢進 c バイオフィルムの生成 d フルオロオパタイトの生成</p> <p>▷keyword: フッ化物応用、フッ化物のう蝕予防機序</p>	<p><b>解答: a, d</b> フッ化物の抗う蝕作用は、主に2つである。1つはヒドロキシアパタイトの結晶性の改善と耐酸性を向上させる作用である。もう1つはプラーク中の細菌叢の解糖系に対する抗酵素作用による酸産生の抑制である。</p> <p>a○ 初期脱灰部の耐酸性を向上させる。 b× 唾液緩衝能には影響しない。 c× バイオフィルムの生成抑制が起こる。 d○ エナメル質の耐酸性を向上させる。</p> <p><b>文献:</b> 最新歯科衛生士教本 保健生態学 174 新歯科衛生士教本 口腔衛生学・歯科衛生統計 75-76</p>

問題 A		解答・解説	
18	<p>平成 23 年歯科疾患実態調査結果を図に示す。</p> <p>歯ブラシの使用状況(%)</p> <p>③はどれか。            a ときどきみがく者            b 1日1回みがく者            c 1日2回みがく者            d 1日3回以上みがく者</p> <p>▶ keyword: 歯科疾患実態調査、歯みがき、1日の歯みがき回数</p>	<p><b>解答:</b> c</p> <p>平成 23 年歯科疾患実態調査によれば、1 歳以上の者で毎日歯をみがく者の割合は 95%であった。また、毎日複数回歯をみがく者の割合は近年増加している。</p> <p>a × ①である。            b × ②である。            c ○ 1日2回みがく者が最も多い。            d × ④である。</p> <p><b>文献:</b> 平成 23 年歯科疾患実態調査報告</p>	
19	<p>学校保健安全法によりすべての学校におかれている、通常非常勤の保健専門職員はどれか。            a 学校医            b 栄養教諭            c 養護教諭            d 学校歯科医</p> <p>▶ keyword: 学校歯科医、保健専門職員</p>	<p><b>解答:</b> a</p> <p>学校保健安全法は学校保健計画、学校安全計画、学校三師（学校医、学校歯科医、学校薬剤師）など保健管理の領域について規定している。</p> <p>a ○            b × 2004 年に「栄養教諭制度」が設けられた。栄養教諭は栄養に関する専門性と教育に関する資質を併せもつ教育職員である。            c × 学校教育法に基づいて小・中学校および高等学校におかれる学校保健の専門的教育職員である。            d × 学校保健安全法の定める非常勤の保健専門職員であるが、大学は除かれる。</p> <p><b>文献:</b> 最新歯科衛生士教本 保健生態学 255-257            新歯科衛生士教本 口腔衛生学・歯科衛生統計 154</p>	
20	<p>DMFS 指数の算出に必要なのはどれか。2つ選べ。            a 被検者数            b 被検歯面数            c DMFS 所有者数            d 全被検者の DMF 歯面の合計</p> <p>▶ keyword: DMFS 指数、う蝕の指数</p>	<p><b>解答:</b> a, d</p> <p>う蝕は蓄積性疾患であるから、永久歯列におけるう蝕の正確な罹患状況を知るためには総う蝕経験として把握すべきであるとして、DMF という用語の使用を Klein らが提案した。DMFS 指数は一人平均 DMF 歯面数である。</p> <p>a ○            b ×            c ×            d ○</p> <p><b>文献:</b> 最新歯科衛生士教本 保健情報統計学 39-40            新歯科衛生士教本 口腔衛生学・歯科衛生統計 185</p>	
21	<p>粘膜保護作用を有する唾液成分はどれか。            a ムチン            b アミラーゼ            c リゾチーム            d フッ化物イオン</p> <p>▶ keyword: 唾液成分</p>	<p><b>解答:</b> a</p> <p>唾液中の成分は、さまざまな機能に関与している。</p> <p>a ○ 糖タンパクの集合体で粘性を有し粘膜を被覆する。            b × デンプンを分解する消化酵素である。            c × 抗菌成分である。            d × 歯質強化、歯の再石灰化に働く。</p> <p><b>文献:</b> 最新歯科衛生士教本 保健生態学 95</p>	

問題 A		解答・解説	
22	<p>基幹統計はどれか。            a 患者調査            b 歯科疾患実態調査            c 国民健康・栄養調査            d 医師・歯科医師・薬剤師調査</p> <p>▶ keyword: 基幹統計、一般統計</p>	<p><b>解答:</b> a</p> <p>我が国の公的統計は、基幹統計と一般統計に分類される。</p> <p>a ○            b × 一般統計である。            c × 一般統計である。            d × 一般統計である。</p> <p><b>文献:</b> 最新歯科衛生士教本 保健情報統計学 13-17</p>	
23	<p>学校歯科健康診断における CO の事後措置で正しいのはどれか。2つ選べ。            a 特に事後措置を要しない。            b 学校における保健指導を行う。            c 歯科医療機関での治療を指示する。            d 歯科医療機関での歯科予防処置を勧める。</p> <p>▶ keyword: 学校歯科健康診断、事後措置</p>	<p><b>解答:</b> b, d</p> <p>学校歯科保健における CO は要観察歯であり、う歯ではない。初期病変の疑いがあるので、事後措置として適切な保健指導や場合により専門的な予防処置が望ましい。</p> <p>a × CO はう歯ではないが要観察歯である。            b ○            c × CO はう歯ではなく治療の指示は行わない。            d ○</p> <p><b>文献:</b> 最新歯科衛生士教本 保健生態学 267</p>	
24	<p>フッ化物歯面塗布に用いられないのはどれか。            a フッ化第一スズ            b フッ化ナトリウム            c リン酸酸性フッ化ナトリウム            d モノフルオロリン酸ナトリウム</p> <p>▶ keyword: フッ化物、フッ化物歯面塗布</p>	<p><b>解答:</b> d</p> <p>フッ化物歯面塗布用として用いられるフッ化物製剤はフッ素濃度（フッ化物イオン濃度）が高く、取扱いに注意を要する。薬品の管理はそれぞれの薬品の取り扱い方法にしたがい厳重に行う。</p> <p>a ○ 不安定なので使用ごとに調製し、1 時間以内に使用する。渋みがあり、収斂性があるため歯肉や粘膜に触れないようにする。            b ○ 無味、無臭の液体で 1 週間に 1~2 回、連続 4 回塗布する。            c ○ 2% フッ化ナトリウム溶液を正リン酸で酸性にしたもので、歯面に留まりやすく、塗布しやすい。変色を避けるため遮光保存する。pH は 3.4~3.6 で低い。            d × 主にフッ化物配合歯磨剤に配合され、フッ化物歯面塗布には用いられない。</p> <p><b>文献:</b> 最新歯科衛生士教本 保健生態学 161-165</p>	
25	<p>平成 22 年における死亡数が平成 12 年に比べ減少しているのはどれか。            a 肺炎            b 心疾患            c 脳血管疾患            d 悪性新生物</p> <p>▶ keyword: 国民死因、主要死因</p>	<p><b>解答:</b> c</p> <p>平成 22 年の死因順位は、悪性新生物、心疾患、脳血管疾患、肺炎の順であったが、脳血管疾患による死亡数は 10 年前に比べ、減少した。なお、平成 23 年の人口動態統計によると、肺炎による死亡が第 3 位、脳血管疾患による死亡は第 4 位であり、主要死因の中では肺炎による死亡の増加が目立っている。</p> <p>a × 肺炎による死亡数は、平成 12 年が 86,939 人、同 22 年が 118,806 人であった。            b × 心疾患による死亡数は、平成 12 年が 146,741 人、同 22 年が 189,192 人であった。            c ○ 脳血管疾患による死亡数は、平成 12 年が 132,529 人、同 22 年が 123,393 人であった。            d × 悪性新生物による死亡数は、平成 12 年が 295,484 人、同 22 年が 353,318 人であった。</p> <p><b>文献:</b> 最新歯科衛生士教本 保健生態学 28-29            新歯科衛生士教本 衛生学・公衆衛生学 24-26            国民衛生の動向 2011/2012（厚生労働統計協会）</p>	

問題 A		解答・解説															
26	<p>水道水の水質基準項目のうち設定目的がほかと異なるのはどれか。</p> <p>a 大腸菌 b カルシウム c 硝酸性窒素 d 塩化物イオン</p> <p>▶ keyword : 水道水の水質基準、し尿汚染</p>	<p><b>解答 : b</b></p> <p>安全な水道水を供給することを目的として、さまざまな項目について水質基準が設定されている。設定されている項目は、病原性微生物、無機物質・重金属、一般有機化学物質、消毒副生成物などの指標となっている。</p> <p>a × 下水やし尿汚染の指標として設定されている。 b ○ マグネシウムとともに硬度の指標となる。 c × 下水やし尿汚染の指標として設定されている。 d × 下水やし尿汚染の指標として設定されている。</p> <p><b>文献 :</b> 最新歯科衛生士教本 保健生態学 42-45 新歯科衛生士教本 衛生学・公衆衛生学 37</p>															
27	<p>平成 22 年における病因物質別の食中毒事件数と患者数を表に示す。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>病因</th> <th>件数</th> <th>患者数(人)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①</td> <td>580</td> <td>8,719</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td>403</td> <td>14,700</td> </tr> <tr> <td>③</td> <td>139</td> <td>390</td> </tr> <tr> <td>④</td> <td>9</td> <td>55</td> </tr> </tbody> </table> <p>ウイルスはどれか。</p> <p>a ① b ② c ③ d ④</p> <p>▶ keyword : 食中毒の疫学</p>	病因	件数	患者数(人)	①	580	8,719	②	403	14,700	③	139	390	④	9	55	<p><b>解答 : b</b></p> <p>我が国の食中毒患者数は、平成以降、年間 2 万~3 万人台で推移している。その一方で、ウイルスを病因とするものは増加しており、平成 22 年では細菌を抜いて第 1 位であった。</p> <p>a × 細菌である。 b ○ c × 自然毒である。 d × 化学物質である。</p> <p><b>文献 :</b> 最新歯科衛生士教本 保健生態学 75-79 新歯科衛生士教本 衛生学・公衆衛生学 94-97 国民衛生の動向 2011/2012 (厚生労働統計協会)</p>
病因	件数	患者数(人)															
①	580	8,719															
②	403	14,700															
③	139	390															
④	9	55															
28	<p>人体に対する空気の冷却力の測定に用いるのはどれか。</p> <p>a カタ寒暖計 b 黒球寒暖計 c アウグスト乾湿計 d アスマン通風乾湿計</p> <p>▶ keyword : カタ寒暖計、空気の冷却力</p>	<p><b>解答 : a</b></p> <p>人体の温熱感覚に關する因子は、主に気温、気湿、気流および輻射熱である。これらの要素が相互に影響して、温熱感覚をもたらしている。</p> <p>a ○ 空気の冷却力や微気流の測定に用いられる。 b × 輻射熱の測定に用いられる。 c × 気温と気湿の測定に用いられる。 d × 気温と気湿の測定に用いられる。</p> <p><b>文献 :</b> 最新歯科衛生士教本 保健生態学 39-41 新歯科衛生士教本 衛生学・公衆衛生学 34、35</p>															
29	<p>患者対照研究について正しいのはどれか。2 つ選べ。</p> <p>a 分析疫学に分類される。 b 寄与危険度が算出できる。 c 後ろ向き研究として実施される。 d 病因への曝露の有無に着目する。</p> <p>▶ keyword : 疫学の研究手法、患者対照研究</p>	<p><b>解答 : a、c</b></p> <p>疫学調査は通常、記述疫学からスタートする。まず記述疫学で病因に対する仮説を設定し、次いで分析疫学によりこの仮説を検証する。分析疫学は時間的経過により、横断研究と縦断研究に分類される。縦断研究には疾病の有無に着目する患者対照研究と、病因因子の曝露の有無に着目するコホート研究がある。</p> <p>a ○ コホート研究とともに代表的な分析疫学の 1 つである。 b × 寄与危険度は計算できない。 c ○ 過去にさかのぼって調査をする。 d × 疾病の有無に着目する。病因への曝露の有無に着目するのは、コホート研究である。</p> <p><b>文献 :</b> 最新歯科衛生士教本 保健生態学 13-16 最新歯科衛生士教本 保健情報統計学 25-29 新歯科衛生士教本 衛生学・公衆衛生学 57-63</p>															

問題 A		解答・解説
30	<p>心身両面にわたる健康増進対策を図に示す。</p> <p>根拠となる法律はどれか。</p> <p>a 健康増進法 b 労働基準法 c 労働安全衛生法 d 高齢者医療確保法</p> <p>▶ keyword : THP</p>	<p><b>解答 : c</b></p> <p>図はトータル・ヘルスプロモーション・プラン (THP) の概略である。THP は健康測定の結果に基づき、健康づくりスタッフとともに産業医が中心となって、心身両面のトータルな健康支援を行うものである。</p> <p>a × 健康寿命の延伸や生活の質向上実現のための健康づくりや疾病予防を積極的に推進するため、21 世紀における国民健康づくり運動の法的根拠として、平成 14 年に成立した。 b × 労働条件の最低限の基準を定めており、平成 22 年に長時間労働者の割合の高止まりなどに対応し、労働時間制度の見直しを行うなど所要の改正を行った。 c ○ d × 高齢者の疾病、負傷または死亡に関して必要な給付を行う高齢者医療制度の法的根拠として、平成 20 年に成立した。</p> <p><b>文献 :</b> 最新歯科衛生士教本 保健生態学 291-292 新歯科衛生士教本 衛生学・公衆衛生学 167-168</p>
31	<p>介護保険制度について正しいのはどれか。</p> <p>a 介護認定は厚生労働大臣が行う。 b 第 1 号被保険者は 40 歳以上の者である。 c 要支援 2 と認定された者は施設サービスを利用できる。 d 介護支援専門員はサービス事業者との連絡調整を行う。</p> <p>▶ keyword : 介護保険制度、介護保険法</p>	<p><b>解答 : d</b></p> <p>介護保険制度は介護保険法に基づき、高齢者の自立支援を基本理念として、平成 12 年 4 月にスタートした。</p> <p>a × 市町村が設置した介護認定審査会が行う。 b × 第 1 号被保険者は、市町村の区域内に住所を有する 65 歳以上の者である。第 2 号被保険者は 40 歳以上 65 歳未満の医療保険加入者である。 c × 施設サービスは要介護認定を受けた者が利用でき、要支援は介護予防サービスを利用できる。 d ○ 介護支援専門員は、要介護者や要支援者からの相談に応じ、市町村やサービス事業者との連絡調整などを行う。</p> <p><b>文献 :</b> 最新歯科衛生士教本 歯科衛生士と法律・制度 第 2 版 104-108</p>
32	<p>医療施設における医療安全体制の確保を義務づけているのはどれか。</p> <p>a 薬事法 b 医療法 c 健康増進法 d 地域保健法</p> <p>▶ keyword : 医療法、医療安全</p>	<p><b>解答 : b</b></p> <p>安全で適切な医療が提供されることを目的として、医療法では病院や診療所の管理者に対して、安全対策や院内感染対策などを義務づけている。</p> <p>a × 薬事法は医薬品や医療機器等の品質・有効性・安全性などに関わる規制およびそれらの研究開発などに関連する事項を定めている。 b ○ 医療を受ける者の利益と医療安全のための体制や対策について示されている。 c × 国民の健康増進を総合的に進めるための基本的事項などを定めている。 d × 地域保健の推進に関する基本方針、保健所の設置、その他地域保健対策推進に必要な事項を定めている。</p> <p><b>文献 :</b> 最新歯科衛生士教本 歯科衛生士と法律・制度 第 2 版 50-57</p>
33	<p>ビタミン名と化学名との組合せで正しいのはどれか。2 つ選べ。</p> <p>a ビタミン B<sub>2</sub>——コバラミン b ビタミン B<sub>12</sub>——リポフラビン c ビタミン C——アスコルビン酸 d ビタミン E——トコフェロール</p> <p>▶ keyword : ビタミン B<sub>2</sub>、ビタミン B<sub>12</sub>、ビタミン C、ビタミン E</p>	<p><b>解答 : c、d</b></p> <p>ヒトのビタミンには 13 種あり、それぞれにビタミン名と化学名がある。出題されたビタミン以外に次の組合せを覚えておきたい。①ビタミン B<sub>1</sub> (化学名はチアミン)、②ナイアシン (化学名はニコチン酸)、③ビタミン A (化学名はレチノール)。</p> <p>a × ビタミン B<sub>2</sub> の化学名はリポフラビンである。 b × ビタミン B<sub>12</sub> はコバルトを含むため、コバラミンとよばれる。 c ○ d ○</p> <p><b>文献 :</b> 最新歯科衛生士教本 栄養と代謝 157-159</p>

問題 A		解答・解説	
34	カルシウムについて正しいのはどれか。2つ選べ。 a 神経の興奮性を抑制する。 b 生体の無機質で最も量が多い。 c 耐容上限量は策定されていない。 d 生体内の99%は血液中に存在する。	<b>解答:</b> a, b カルシウムは骨および歯の主要構成成分であり、欠乏すると骨粗鬆症や骨多孔症を引き起こす。 a ○ b ○ 生体内の無機質で最も量が多く、体重の1~2%を占める。 c × 成人1日当たり2,300mgの耐容上限量が策定されている。 d × 生体内の99%は血液中ではなく、骨や歯に存在する。	<b>文献:</b> 最新歯科衛生士教本 栄養と代謝 163-164、215 新歯科衛生士教本 栄養指導・生化学 41、72-73
<b>keyword: カルシウム</b>			
歯科衛生士概論			
35	歯科衛生士の業務はどれか。2つ選べ。 a 裏層材貼付 b 処方せん交付 c フッ化物歯面塗布 d エックス線写真撮影	<b>解答:</b> a, c 歯科衛生士の資格や業務は歯科衛生士法で定められており、その業務は、①歯科医師の直接指示のもとでの歯科予防処置、②歯科診療の補助、③歯科衛生士の名を用いての歯科保健指導の3つである。裏層材貼付は歯科医師の直接の指示の下行える歯科診療の補助業務であり、フッ化物歯面塗布はう蝕予防処置法として行う歯科予防処置業務である。 a ○ b × 処方せんの交付は医師・歯科医師の業務で、薬の調剤は薬剤師の業務である。 c ○ d × エックス線写真撮影を行うことが認められているのは、診療放射線技師、医師および歯科医師である。ただし、エックス線撮影にあたって、歯科衛生士が患者の誘導、フィルム固定の指導、現像を行うことは問題ない。	<b>文献:</b> 最新歯科衛生士教本 歯科衛生士と法律・制度 第2版 6-15 新歯科衛生士教本 歯科衛生士概論 1、24-29
<b>keyword: 歯科予防処置、歯科保健指導、歯科診療補助</b>			
臨床歯科医学			
36	過換気症候群の症状でないのはどれか。 a 徐脈 b めまい c 呼吸困難 d 四肢の硬直	<b>解答:</b> a 患者自身の過呼吸により、血中のCO <sub>2</sub> 濃度が低下し、血液がアルカリ性に傾くことによって、いろいろな症状が現れる。症状としては、口唇・手・足の知覚異常、筋硬直(しびれ・しびれ感)、動悸などがみられる。処置としては、まず不安感の除去につとめ、ゆっくりと呼吸させるなどする。 a × b ○ c ○ d ○	<b>文献:</b> 新歯科衛生士教本 歯科臨床概論 46
<b>keyword: 過換気症候群</b>			

問題 A		解答・解説	
37	35歳の女性。下顎右側犬歯の審美的障害を主訴として来院した。口腔内写真(別冊No.5)を別に示す。 切端部に認められる欠損の原因として考えられるのはどれか。 a 歯の破折 b プラキシズム c 歯ブラシの誤用 d エナメル質形成不全	<b>解答:</b> b 上下顎の犬歯が、プラキシズム(歯ぎしり)により咬耗し、切縁の一部が平坦化している様相を呈している。 a × 交通事故、スポーツ、転落、転倒など急激な外力で歯が破折する外傷性歯牙破折ではない。 b ○ 咬耗は、摩擦を起こしやすい食物を好む食生活、プラキシズムなどの異常な咬合力、切端咬合などの場合にみられる。 c × 歯ブラシの誤用で生じるのは歯頸部の磨耗症である。 d × 嚙症のものではエナメル質表面の粗糙感や白斑、重症のものではエナメル質に高や溝などの欠損として現れる。	<b>文献:</b> 最新歯科衛生士教本 保存修復・歯内療法 16-17 保存修復学 第5版 29-34
<b>keyword: 咬耗、プラキシズム</b>		<b>文献: 最新歯科衛生士教本 保存修復・歯内療法 16-17 保存修復学 第5版 29-34</b>	
38	コンポジットレジンファイラーに用いるのはどれか。2つ選べ。 a シリカ b 鉛ガラス c 酸化亜鉛 d バリウムガラス	<b>解答:</b> a, d コンポジットレジン重合形式にかかわらず、無機ファイラーまたは有機ファイラーが含まれている。ファイラーは石英、クォーツ、シリカ、バリウムガラスなどからなり、表面がシラン処理され、マトリックスレジンと結びついている。ファイラーの主な役割としては機械的強度の向上、重合収縮の減少、耐摩耗性の向上、熱膨張率の低減化、吸水膨張の低下、エックス線造影性の付与などがあげられる。 a ○ シリカは、ファイラー組成の代表格である。近年はナノサイズまで縮小化される傾向がある。 b × 鉛ガラスは、鉛の溶出の危険性があるために用いられない。エックス線不透過性を有するために、エックス線検査室の窓ガラスなどに利用されている。 c × 酸化亜鉛は、リン酸亜鉛セメントやポリカルボキシレートセメントの粉末成分である。 d ○ バリウムガラスは、エックス線造影性を有しているためにファイラーとして利用されている。	<b>文献:</b> 最新歯科衛生士教本 保存修復・歯内療法 39
<b>keyword: コンポジットレジン、ファイラー</b>		<b>文献: 最新歯科衛生士教本 保存修復・歯内療法 39</b>	
39	セルフエッチングプライマーを用いた接着システムの特徴はどれか。 a 光照射が不要である。 b アルカリ性を有している。 c 象牙質のみに塗布を行う。 d 塗布後に水洗が不要である。	<b>解答:</b> d セルフエッチングプライマーシステムは現在のレジン接着システムの主流であり、セルフエッチングプライマーとボンディング材から構成され、リン酸のような強酸を用いないために水洗を必要としないことが特徴となる。1回の塗布で歯面処理を行うオールインワンアドヒーズシステムが開発され、臨床応用されている。 a × ボンディング材成分は光重合させるために光照射を行う必要がある。 b × pH1.6~2.0程度の酸性を有している。 c × エナメル質、象牙質に塗布することによって、同時に処理を行う。 d ○ 塗布後は水などの溶媒を蒸散させるための微風乾燥を行うのみで、水洗は行わない。	<b>文献:</b> 最新歯科衛生士教本 保存修復・歯内療法 43
<b>keyword: レジン修復、セルフエッチングプライマー</b>		<b>文献: 最新歯科衛生士教本 保存修復・歯内療法 43</b>	

問題 A		解答・解説	
40	<p>根管の化学的清掃に使用する器具はどれか。</p> <p>a リーマー b スプレッダー c ルートキャナルシリンジ d レンツロ (スパイラルルートファイラー)</p> <p>▷keyword: 根管清掃、洗浄用器具、ルートキャナルシリンジ</p>	<p><b>解答: c</b></p> <p>根管清掃用器具は薬液を根管内に注入するために使用する。根管洗浄用シリンジは一般的なルートキャナルシリンジと先端に注出孔がなく側孔を有する洗浄用ニードル (クリーンウォッシングニードル®) がある。</p> <p>a × 根管拡大器具である。 b × 根管充填時にガッタパーチャポイントの側方加圧に使用する。 c ○ 一般的な根管洗浄用シリンジの名称である。 d × 根管充填用セメントを根管内へ搬入するために使用する。</p> <p>文献: 最新歯科衛生士教本 保存修復・歯内療法 156</p>	
41	<p>根管消毒に用いる薬剤で比較的長期間効果が持続するのはどれか。</p> <p>a 精油類 b フェノール製剤 c ホルマリン製剤 d 水酸化カルシウム製剤</p> <p>▷keyword: 根管消毒、水酸化カルシウム製剤、効果の持続</p>	<p><b>解答: d</b></p> <p>根管消毒剤には直接接触しないと効果が発揮されないものや、ホルマリン製剤のように気化して遠隔部まで効果が及ぶものまである。また、効果の持続は、液状や気化するものに比べてペースト状の水酸化カルシウム製剤は停滞性が高く、効果が長期間持続するといわれている。</p> <p>a × b × c × d ○</p> <p>文献: 最新歯科衛生士教本 保存修復・歯内療法 132、159</p>	
42	<p>正しいのはどれか。2つ選べ。</p> <p>a Miller の分類 1 度: 唇舌側方向に 0.2~1 mm の動揺 b Lindhe らの分類 1 度: 骨の吸収が歯冠幅径の 1/3 以内 c Miller の分類 2 度: 唇舌側、近遠心的、歯軸方向に 2 mm 以上の動揺 d Lindhe らの分類 2 度: プローブが歯冠幅径の 1/3 を越え貫通</p> <p>▷keyword: Miller の分類、Lindhe の分類</p>	<p><b>解答: a、b</b></p> <p>Miller の分類 (歯の動揺度の分類) と Lindhe らの分類 (根分岐部病変の分類)、各ステージの分類を把握する。</p> <p>a ○ b ○ Lindhe らの分類 1 度は、分岐部にプローブが入るが歯冠幅径の 1/3 以内の骨欠損。 c × Miller の分類 2 度は、唇舌側方向、近遠心方向に中等度 (1~2 mm) の動揺。 d × Lindhe らの分類 2 度は、歯冠幅径の 1/3 以上にプローブを挿入できるが、貫通はしない。</p> <p>文献: 最新歯科衛生士教本 歯周治療 55-56、123-124 最新歯科衛生士教本 歯科予防処置論・歯科保健指導論 99、109</p>	
43	<p>スクレーラーについて正しいのはどれか。2つ選べ。</p> <p>a 鎌形スクレーラーの刃部断面は丸型である。 b ノミ型スクレーラーは引く操作で用いる。 c 手用スクレーラーは刃部、頸部、把柄部から構成される。 d 鋭匙型スクレーラーには片刃タイプと両刃タイプとがある。</p> <p>▷keyword: スクレーラー</p>	<p><b>解答: c、d</b></p> <p>手用スクレーラーについて、特徴、使用法などを把握する。</p> <p>a × 鎌形スクレーラーの断面は三角形である。 b × ノミ型スクレーラーはチゼルの形をしたスクレーラーで、押す力で歯石を除去する。 c ○ d ○ 鋭匙型スクレーラーには片刃タイプのグレーシー型、両刃タイプのユニバーサル型がある。</p> <p>文献: 最新歯科衛生士教本 歯科予防処置論・歯科保健指導論 131-140</p>	

問題 A		解答・解説	
44	<p>36 歳の男性。歯ブラシを強く当てると痛みと出血があるという。初診時の口腔内写真 (別冊 No. 6) を別に示す。</p> <p>まず行う処置はどれか。</p> <p>a 永久固定 b 矯正治療 c 口腔清掃指導 d 歯周外科治療</p> <p>▷keyword: 口腔清掃指導</p>	<p><b>解答: c</b></p> <p>写真から多量のプラーク付着および歯石の沈着、歯列不正および歯間乳頭や辺縁歯肉には発赤・腫脹も認められる。口腔内の衛生状態が不良であることから、まず口腔清掃指導を行い、プラーク量を減少させ、炎症を改善する。</p> <p>a × この写真からは歯の動揺については不明である。動揺がある場合でも、まずは口腔清掃状態を改善させプラークを除去する。 b × 歯列不正があることから矯正治療が必要となることもあるが、その場合も口腔清掃指導を行い、プラークコントロールが不可欠となる。 c ○ 歯周疾患の直接的原因であるプラークの除去を最優先する。 d × 炎症が認められる場合に、直ちに歯周外科治療を行うことはない。</p> <p>文献: 最新歯科衛生士教本 歯周治療 27-32、45、126-128</p>	
45	<p>ブリッジ合着後のセメント除去に用いる器具はどれか。2つ選べ。</p> <p>a プロープ b ラウンドバー c デンタルフロス d エキスプローラー</p> <p>▷keyword: ブリッジ、合着、余剰セメントの除去方法</p>	<p><b>解答: c、d</b></p> <p>a × b × 歯質の切削に用いる。 c ○ 歯肉に負担なくセメントを除去するための器具である。口腔清掃の補助器具として、患者自身も使えるように指導する。 d ○ 探針である。</p> <p>文献: 最新歯科衛生士教本 歯科補綴 158</p>	
46	<p>義歯の写真 (別冊 No. 7) を別に示す。正しいのはどれか。2つ選べ。</p> <p>a 中間義歯である。 b パーを用いている。 c 人工歯はレジン歯である。 d 歯牙粘膜支持義歯である。</p> <p>▷keyword: 床義歯、部分床義歯の構成要素</p>	<p><b>解答: b、d</b></p> <p>義歯の構成を理解する。</p> <p>a × 左右側の白歯部が欠損している両側性の遊離端義歯である。 b ○ 連結装置は幅が狭いパーを用いている。 c × 人工歯には金属歯を用いている。 d ○ 歯牙粘膜支持義歯とは、咬合咀嚼力を歯と粘膜両方で支持する義歯をいう。</p> <p>文献: 最新歯科衛生士教本 歯科補綴 54-62</p>	
47	<p>一部被覆冠はどれか。2つ選べ。</p> <p>a ラミネートベニア b 硬質レジン前装冠 c オールセラミッククラウン d プロキシマルハーフクラウン</p> <p>▷keyword: クラウンの種類</p>	<p><b>解答: a、d</b></p> <p>クラウンは構造と被覆する部位の大きさ、使用される材料によっていくつかの種類に分類され、装着する部位や目的に応じて使い分けされる。</p> <p>a ○ 一部被覆冠に分類される。 b × 全部被覆冠に分類される。 c × 全部被覆冠に分類される。 d ○ 一部被覆冠に分類される。</p> <p>文献: ポイントチェック④第 4 版 10-13</p>	

問題 A	解答・解説
<p>48 パノラマ写真(別冊 No. 8)を別に示す。下顎左側第三大臼歯の抜去に際し準備する器材はどれか。2つ選べ。</p> <p>a 剝離剪刀 b 歯科用鋭匙 c 骨膜剝離子 d 下顎大臼歯用抜歯鉗子</p> <p>▶ keyword : 水平埋伏智歯、抜歯器具</p>	<p><b>解答</b> : b, c</p> <p>パノラマ写真では、下顎水平骨性埋伏歯が認められる。したがって、抜歯手順としては、粘膜切開(メス、骨膜剝離子)、周囲骨の除去(エンジン、パー、マイセル、マレット)、歯冠分割(エアタービン、パー、洗浄用生理食塩液)、歯冠部除去(ヘーベル)、歯冠部の肉芽の搔爬(歯科用鋭匙)、歯根除去(ヘーベル、残根鉗子)、抜歯窩搔爬(歯科用鋭匙、洗浄用生理食塩液)、骨鋭縁の除去(破骨鉗子、骨ヤスリ、洗浄用生理食塩液)、縫合(持針器、針、糸)となる。</p> <p>a × 剝離剪刀は軟組織の剝離に際して用いるもので、軟組織の嚢胞、腫瘍の摘出や切除などに用いる。</p> <p>b ○ 肉芽組織の搔爬に使用する。</p> <p>c ○ 粘膜骨膜弁の剝離に用いる。</p> <p>d × 下顎大臼歯用抜歯鉗子は、水平埋伏智歯抜歯に際して、歯冠部を把持できないため使用しない。</p> <p><b>文献</b> : 最新歯科衛生士教本 口腔外科・歯科麻酔 139-147</p>
<p>49 ビスホスホネート系薬剤が投与されている可能性のある疾患はどれか。</p> <p>a 脳梗塞 b 骨粗鬆症 c 心筋梗塞 d 高血圧症</p> <p>▶ keyword : 骨粗鬆症、ビスホスホネート、顎骨壊死</p>	<p><b>解答</b> : b</p> <p>ビスホスホネート系薬剤投与患者に、顎骨壊死が発生することが問題となっている。ビスホスホネート系薬剤は、悪性腫瘍による骨転移の治療や骨粗鬆症に用いられている。これらの患者に対して、侵襲性の歯科治療(抜歯などの小手術、インプラント埋入手術など)は大きなリスクファクターであるといわれている。また、口腔衛生状態が悪いと、その発生頻度が高い。</p> <p>a ×</p> <p>b ○ 骨粗鬆症とは、骨強度(骨密度+骨質)が低下し骨折を起こしやすい状態と定義されている。特にホルモンの関係により閉経後の女性に好発する。ビスホスホネート系薬剤は、骨からのカルシウムの吸収を抑制するため、骨粗鬆症の治療には欠かすことのできない薬剤である。</p> <p>c ×</p> <p>d ×</p> <p><b>文献</b> : 最新歯科衛生士教本 口腔外科・歯科麻酔 15, 85</p>
<p>50 水疱形成を主徴とする疾患はどれか。</p> <p>a 手足口病 b 扁平苔癬 c ペーチェット病 d 口腔カンジダ症</p> <p>▶ keyword : 手足口病、粘膜病変、ウイルス性疾患</p>	<p><b>解答</b> : a</p> <p>口腔粘膜病変は、水疱形成、潰瘍形成、紅斑やびらん形成、白斑形成、色素沈着、粘膜萎縮、乾燥、貧血や出血を主徴とするものなどに分けられる。成因は多種多様で、全身疾患の影響によるものも多い。</p> <p>a ○ コクサッキーウイルスが原因で、夏に流行し幼児や小児に多くみられる。発熱の後、口腔粘膜の水疱やアフタ、手掌や手指の水疱と発疹、足の裏の水疱と発疹の出現をみる。約1週間から10日で自然治癒となる。</p> <p>b × 原因不明の慢性炎症角化病変で、レース様の白色病変とその周囲に紅斑やびらんを伴う。頬粘膜に好発する。</p> <p>c × 慢性再発性アフタ、皮膚の結節性紅斑、眼の虹彩毛様体炎、網膜ぶどう膜炎、外陰部潰瘍の4症状を特徴とする全身性炎症疾患である。</p> <p>d × <i>Candida albicans</i> によって引き起こされる日和見感染症である。高齢者の口腔衛生状態不良者に好発し、白斑を主徴とする粘膜病変である。</p> <p><b>文献</b> : 最新歯科衛生士教本 口腔外科・歯科麻酔 50-55</p>

問題 A	解答・解説
<p>51 一次救命処置はどれか。2つ選べ。</p> <p>a 気管挿管 b 薬物投与 c AEDの使用 d 心肺蘇生の実施</p> <p>▶ keyword : 一次救命処置</p>	<p><b>解答</b> : c, d</p> <p>一次救命処置(basic life support : BLS)は、器具を用いない気道確保、人工呼吸、胸骨圧迫(心肺蘇生 : cardiopulmonary resuscitation : CPR)、自動体外除細動器(AED)の使用、窒息に対する気道異物除去などである。気管挿管、薬物投与は医療行為であり、高度な救命処置(二次救命処置)である。</p> <p>a ×</p> <p>b ×</p> <p>c ○</p> <p>d ○</p> <p><b>文献</b> : 最新歯科衛生士教本 口腔外科・歯科麻酔 209-215</p>
<p>52 マルチブラケットで治療を行っている患者。来院時に上顎右側中切歯のブラケットが脱落していた。口腔内写真(別冊 No. 9)を別に示す。</p> <p>ブラケットの再装着を行う際、最初に使用する器具はどれか。</p> <p>a 口角鉤 b レジンリムーバー c ポジショニングゲージ d バンドコンタリングプライヤー</p> <p>▶ keyword : ボンディング剤の除去、接着材</p>	<p><b>解答</b> : b</p> <p>写真をみると歯面に以前装着していたブラケットの接着剤が残存している。適切な接着を行うには、まず歯面に残った接着剤をレジンリムーバーで除去する必要がある。</p> <p>a × ブラケットを装着する際、術野を確保し、防湿を容易にするために使用する。</p> <p>b ○ 歯面に残った接着剤の除去に用いる。</p> <p>c × ブラケットの垂直的な位置決めをするために用いる。</p> <p>d × 乳歯冠の歯頸部の豊隆に合わせてバンドを調整するためのプライヤーである。</p> <p><b>文献</b> : 最新歯科衛生士教本 歯科矯正 132, 147</p>
<p>53 頭部エックス線規格写真撮影時、患者の頭部の位置づけを行う際床面と平行にするのはどれか。</p> <p>a SN平面 b カンベル平面 c 下顎下縁平面 d フランクフルト平面</p> <p>▶ keyword : 頭部エックス線規格写真、フランクフルト平面</p>	<p><b>解答</b> : d</p> <p>頭部エックス線規格写真の撮影では、患者の頭部はイヤーロッドで固定し、フランクフルト(FH)平面と床面が平行になるように位置づける。</p> <p>a × セラ(S)とナジオン(N)を結んだ線である。</p> <p>b × 左右側いづれかの鼻翼下縁と両側の耳珠上縁によって形成される平面である。</p> <p>c × メントン(Me)を通り下顎下縁に接する線である。</p> <p>d ○ オルピターレ(Or)とポリオン(PO)を結んだ線である。</p> <p><b>文献</b> : 最新歯科衛生士教本 歯科矯正 43, 50</p>
<p>54 オーバージェットがマイナスの値になることが特徴的なのはどれか。</p> <p>a 開咬 b 上顎前突 c 反対咬合 d 切端咬合</p> <p>▶ keyword : 不正咬合、オーバージェット、オーバーバイト</p>	<p><b>解答</b> : c</p> <p>a × オーバーバイトがマイナスである。</p> <p>b × オーバージェットがプラスである。</p> <p>c ○</p> <p>d × オーバージェット、オーバーバイトが0である。</p> <p><b>文献</b> : 新歯科衛生士教本 歯科矯正学 31, 32, 46</p>

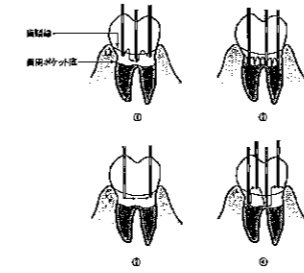
問題 A		解答・解説	
55	<p>哺乳に関する反射はどれか。2つ選べ。</p> <p>a 捕捉反射 b 嚥下反射 c 把握反射 d モロー反射</p> <p>▶ keyword : 哺乳に関する反射</p>	<p><b>解答</b> : a, b</p> <p>哺乳とは母乳あるいは人工乳を口で吸引する運動のことである。</p> <p>a ○ 口唇に乳首などが触れると上下口唇を丸くしてくわえようとする反射である。</p> <p>b ○ 吸嚥により口腔内に流入した乳汁が反射的に嚥下される。</p> <p>c × グーウィン反射ともいわれ、手掌に触れるものは何でも指を動かして物を握るような反射である。</p> <p>d × 頭部をやや前屈させて急に後方に落下させると、両手を広げて抱かれようとする反射である。</p> <p><b>文献</b> : 最新歯科衛生士教本 小児歯科 12-13 小児歯科学 第4版 19-20</p>	
56	<p>2歳の男児。上顎前歯部の外傷を受け来院した。歯の揺動、歯肉と口唇の裂傷があり、処置後に投薬をすることになった。投薬時に考慮すべき点はどれか。</p> <p>a 投与時間は通常食前がよい。 b 投与薬は錠剤やカプセルがよい。 c 薬用量は成人量を基準にして換算する。 d 薬剤に対する感受性は成人と同じである。</p> <p>▶ keyword : 投薬</p>	<p><b>解答</b> : c</p> <p>成長過程にある小児への薬剤投与は成人と異なる反応を示す。</p> <p>a × 薬によっては食前もあるが、通常は吸収が穏やかな食後に投与する。</p> <p>b × 散剤やドライシロップのほうがよい。</p> <p>c ○ 有効濃度が増齢とともに変化するため、成人量を基準にし年齢、体重、体表面積から換算する。</p> <p>d × 薬剤の吸収、代謝、排泄に関する器官が未熟であり成人とは異なる。</p> <p><b>文献</b> : 最新歯科衛生士教本 小児歯科 16-17</p>	
57	<p>3歳の男児。局所麻酔をして下顎右側第一乳臼歯の治療を行った2日後の写真(別冊No.10)を別に示す。考えられるのはどれか。2つ選べ。</p> <p>a 咬傷 b 歯肉膿瘍 c 粘液嚢胞 d アフタ性口内炎</p> <p>▶ keyword : 軟組織疾患</p>	<p><b>解答</b> : a, d</p> <p>小児にみられる口腔軟組織疾患について理解する。</p> <p>a ○ 浸潤麻酔を受けた部位の周囲組織(口唇、頬粘膜)が知覚麻痺しているため患児が故意あるいは無意識にかむことにより起こる局所の浮腫および潰瘍である。</p> <p>b × 根尖性歯周炎が拡大し、歯肉に膿瘍を形成したものである。</p> <p>c × 口唇にある小唾液腺の導管部の損傷で、炎症が生じ唾液が組織内に貯留生じた水泡である。</p> <p>d ○ 口腔粘膜に発生する直径1~10mmの孤立性の小潰瘍である。</p> <p><b>文献</b> : 最新歯科衛生士教本 小児歯科 53-54、73</p>	
58	<p>顎顔面・頭蓋の発育で正しいのはどれか。2つ選べ。</p> <p>a 脳頭蓋は一般系型の成長を示す。 b 下顎骨の成長の中心は下顎頭に存在する。 c 上顎骨は縫合部の成長で顔面の前方へ発育する。 d 顔面頭蓋の幅の成長は高さ・深さに比べ最も遅い。</p> <p>▶ keyword : 脳頭蓋、顔面頭蓋の発育、上下顎の発育</p>	<p><b>解答</b> : b, c</p> <p>a × 脳頭蓋は神経系型の成長を示す。</p> <p>b ○</p> <p>c ○</p> <p>d × 顔面頭蓋の幅の成長は高さ・深さに比べ最も早い。</p> <p><b>文献</b> : 最新歯科衛生士教本 小児歯科 18-22</p>	

問題 A		解答・解説	
59	<p>平成22年人口動態調査結果において、我が国の85歳以上の死亡原因の第1位はどれか。</p> <p>a 肺炎 b 心疾患 c 脳血管障害 d 悪性新生物</p> <p>▶ keyword : 死亡原因、心疾患</p>	<p><b>解答</b> : b</p> <p>85歳以上の死亡原因は1位心疾患、2位悪性新生物、3位肺炎、4位脳血管障害である。</p> <p>a × 3位である。 b ○ c × 4位である。 d × 2位である。</p> <p><b>文献</b> : 最新歯科衛生士教本 保健生態学 28-29 平成22年人口動態調査報告</p>	
60	<p>高齢者のう蝕の特徴はどれか。</p> <p>a 根面う蝕の頻度が低い。 b 急性で進行性のう蝕が多い。 c 若年者と比較して疼痛閾値が低い。 d 歯冠破折(歯頸部破折)の要因となる。</p> <p>▶ keyword : 根面う蝕、歯頸部破折</p>	<p><b>解答</b> : d</p> <p>高齢者のう蝕として重要なのは根面う蝕である。アタッチメントロス→歯肉退縮→根面露出→根面う蝕の流れを知っておく。根面う蝕は高齢者に多く、緩慢な進行であることが多く、疼痛を感じにくい(疼痛閾値が高い)。歯質の強度が低下するので歯頸部での破折の原因となることがあり、残根化の要因の1つである。</p> <p>a × 高齢者に根面う蝕は多く認められる。 b × ゆっくり進行することが多い。 c × 疼痛閾値が高く、痛みを感じにくい。 d ○ 歯頸部破折の原因として重要である。</p> <p><b>文献</b> : 最新歯科衛生士教本 高齢者歯科 31、91</p>	
61	<p>自閉性障害の特徴はどれか。</p> <p>a 学童期に発症する。 b 男に比べ女に多い。 c 反復性の常同的な行動がある。 d コミュニケーション能力が高い。</p> <p>▶ keyword : 自閉性障害</p>	<p><b>解答</b> : c</p> <p>自閉性障害は、①相互的社会関係の障害、②コミュニケーションの障害、③限局した反復的な行動3つの領域すべてに異常がみられる広汎性発達障害で、3歳までに症状が存在していることと定義される。</p> <p>a × 自閉症は3歳までに診断される疾患である。 b × 自閉性障害の男女比は4:1で男に多い。 c ○ d × 発語の遅れや喋れないこともあり、コミュニケーション能力は低い。</p> <p><b>文献</b> : 最新歯科衛生士教本 障害者歯科 49</p>	
62	<p>脳性麻痺児の口腔内の特徴はどれか。</p> <p>a 溝状舌 b 小帯の異常 c 正中過剰歯 d 高度な咬耗</p> <p>▶ keyword : 脳性麻痺</p>	<p><b>解答</b> : d</p> <p>脳性麻痺の口腔内の特徴はエナメル質形成不全や歯列・咬合の異常が多い。抗てんかん薬服用者には歯肉増殖症を認めることが多い。</p> <p>a × 溝状舌はダウン症候群の口腔内の特徴である。 b × 小帯の異常は特にみられない。 c × 正中過剰歯が多いということはない。 d ○ 不随意運動による咬合の緊張で高度に咬耗が進むことが多い。</p> <p><b>文献</b> : 最新歯科衛生士教本 障害者歯科 53</p>	

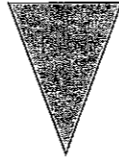
問題 A		解答・解説	
63	<p>知的障害児にエンジンをさせながらエンジンの使用法および歯科診療の手順を説明した。</p> <p>この対応法はどれか。</p> <p>a モデリング法 b タイムアウト法 c Tell-Show-Do 法 d Hand Over Mouth 法</p> <p>▶ keyword : 行動療法、行動変容法</p>	<p><b>解答 : c</b></p> <p>これから何を行うかに対し、説明し (Tell)、みせて (Show) から行う (Do) 方法は、低年齢児や知的障害者では、基本的なテクニックである。</p> <p>a × モデリング法は他人の行動を観察させて模倣させる方法である。 b × 興奮している児童に対し、何も刺激のない小部屋に短時間収容して興奮や不適応行動が収まるのを待つ方法である。 c ○ d × 泣きわめく小児に対し、術者が手で口をふさいで声を止め、話しかけてコミュニケーションのきっかけを得る方法である。低年齢児や知的障害児には応用すべき方法ではない。</p> <p><b>文献 :</b> 最新歯科衛生士教本 障害者歯科 24-28</p>	
<b>歯科予防処置論</b>			
64	<p>第一次予防にあたるのはどれか。2つ選べ。</p> <p>a フッ化物塗布 b 小窩裂溝充填 c ルートプレーニング d フッ化ジアミン銀塗布</p> <p>▶ keyword : 予防の3相</p>	<p><b>解答 : a, b</b></p> <p>第一次予防は、疾病発症の阻止、健康増進を目的としており、第二次予防は、疾病の早期発見・早期治療を目的としている。第三次予防は疾病による機能障害の回復を行うことである。</p> <p>a ○ フッ化物塗布は第一次予防の特異的予防に分類される。自発的に行うう蝕予防である。 b ○ 小窩裂溝充填は第一次予防の特異的予防に分類される。 c × ルートプレーニングは第二次予防の機能喪失阻止に分類される。 d × フッ化ジアミン銀塗布は第二次予防の即時処置に分類される。</p> <p><b>文献 :</b> 最新歯科衛生士教本 歯科予防処置論・歯科保健指導論 9</p>	
65	<p>歯肉の写真 (別冊 No. 11) を別に示す。矢印で示すのはどれか。</p> <p>a 退縮型 b クレフト c フェストゥーン d テンションリッジ</p> <p>▶ keyword : 歯肉</p>	<p><b>解答 : b</b></p> <p>歯肉形態の正常像は、遊離歯肉はナイフエッジ状 (歯頸線に沿ってループ状を呈しており、先端は尖っている) であり、歯間乳頭は歯間隙を完全に満たしている。不適切なブラッシング圧、ブラッシングストロークの大きさ、咬合の関与、生活習慣などが関連し、疾患を引き起こす。</p> <p>a × 退縮型は歯肉が歯頸部より歯根側に移行し、歯根部が露出している歯肉のことをいう。不適切なブラッシングが原因となる。 b ○ クレフトとは裂溝型を呈している歯肉である。主に不適切なブラッシングが原因となる。 c × フェストゥーンは唇側遊離歯肉がリング状に隆起している歯肉である。ロール型ともいう。咬合性外傷に関連している。 d × テンションリッジは口蓋側歯肉が堤状隆起している歯肉である。口呼吸や喫煙習慣が関連している。</p> <p><b>文献 :</b> 最新歯科衛生士教本 歯科予防処置論・歯科保健指導論 84 最新歯科衛生士教本 歯周治療 52</p>	

問題 A		解答・解説	
66	<p>付着性プラークについて正しいのはどれか。2つ選べ。</p> <p>a 根面う蝕の原因となる。 b 歯周ポケット内に存在する。 c グラム陽性菌が主体となる。 d 唾液腺開口部に形成されやすい。</p> <p>▶ keyword : 歯肉縁上プラーク、歯肉縁下プラーク、付着性プラーク、非付着性プラーク</p>	<p><b>解答 : a, b</b></p> <p>プラークは歯科の三大疾患であるう蝕と歯周病の発生の重要な因子であるため、歯科予防処置を行ううえでプラークの知識は必須である。</p> <p>a ○ そのほか、歯石形成の原因にもなる。 b ○ 歯肉縁下プラークには歯根面にみられる付着性プラークと歯周ポケット内を浮遊している非付着性プラークがある。 c × 付着性プラークは縁下プラークであるのでグラム陰性菌が主体となる。グラム陽性菌は歯肉縁上プラークで主体となる。 d × 付着性プラークは歯肉縁を境として根尖側に存在し、歯根面に付着する。</p> <p><b>文献 :</b> 最新歯科衛生士教本 歯周治療 27-30 最新歯科衛生士教本 歯科予防処置論・歯科保健指導論 22-24</p>	
67	<p>歯肉縁下プラークの特徴はどれか。</p> <p>a 無機成分が大部分を占める。 b 通性嫌気性グラム陽性菌が優勢である。 c 歯肉辺縁を境として歯冠側の歯面に付着する。 d スケーリングなどによる機械的除去が有効である。</p> <p>▶ keyword : 歯肉縁上プラーク、歯肉縁下プラーク、付着性プラーク、非付着性プラーク</p>	<p><b>解答 : d</b></p> <p>プラークは歯肉縁上プラークと歯肉縁下プラークに大別される。また、歯肉縁下プラークは付着性プラークと非付着性プラークとに分けられる。歯肉縁下プラークのうち、付着性プラークは歯石形成や根面う蝕の原因となり、グラム陰性菌が主体である。また、非付着性プラークは嫌気性グラム陰性桿菌が主体で歯周炎の進行に大きな役割を果たしている。プラークは歯ブラシやデンタルフロスなどで除去できるが、歯肉縁下プラークなどはセルフケアでは除去できないため、歯科衛生士などによる機械的除去が有効である。</p> <p>a × プラーク容量の約 70% は微生物である。歯石は約 8 割が無機成分であり、その主成分はリン酸カルシウムである。 b × 通性嫌気性グラム陽性菌が優勢なのは歯肉縁上プラークである。 c × 歯肉縁下プラークは、歯肉辺縁を境として根尖側 (歯肉溝内や歯周ポケット内) に存在する。歯肉縁より歯冠側に存在するプラークは歯肉縁上プラークである。 d ○ 歯肉縁下プラークはスケーリングや PMTC などによる機械的除去が有効である。</p> <p><b>文献 :</b> 最新歯科衛生士教本 歯科予防処置論・歯科保健指導論 24 最新歯科衛生士教本 歯周治療 28-29</p>	
68	<p>歯面の付着物・沈着物で細菌を含まないのはどれか。</p> <p>a 歯石 b プラーク c ペリクル d マテリアルバ</p> <p>▶ keyword : 歯の付着物・沈着物</p>	<p><b>解答 : c</b></p> <p>歯の表面にはさまざまな付着物・沈着物が存在する。特にう蝕や歯周病などの直接的な原因となるプラークの除去は重要である。</p> <p>a ○ 歯石はプラークが石灰化したもので、表面は粗糙で多孔質である。 b ○ プラークは、ペリクルの上に口腔内細菌とその産生物が付着、増殖したもので、歯面に強く付着している。歯ブラシで除去できるが、うがいでは除去できない。透明、白色、黄白色などの色を呈す。 c × ペリクルは、歯面に形成された無色透明の厚さ数 <math>\mu\text{m}</math> の有機性の薄膜で、微生物を含まない。歯面に強固に付着しているため、通常の口腔清掃では除去されず研磨剤を用いた研磨によって除去できる。歯を物理的に保護し、酸から歯面を保護する働きがある。 d ○ マテリアルバは剥離した上皮、白血球、菌、唾液などを含んだ軟らかい白色の付着物である。強い洗口やスプレー洗浄で除去できる。</p> <p><b>文献 :</b> 最新歯科衛生士教本 保健生態学 108 最新歯科衛生士教本 歯周治療 27 最新歯科衛生士教本 歯科予防処置論・歯科保健指導論 21-23</p>	


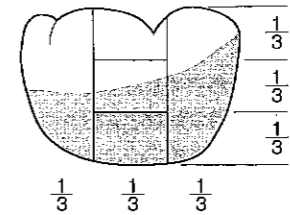
問題 A	解答・解説																																																																						
<p>69 25歳の女性。上下顎前歯部の歯肉の腫脹を主訴として来院した。歯槽骨の吸収は認められない。初診時の歯周組織検査の結果を図に示す。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <td>動揺度</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>PD</td> <td>3</td> <td>②</td> <td>③</td> <td>③</td> <td>④</td> <td>④</td> <td>④</td> <td>④</td> <td>④</td> </tr> <tr> <td>BOP</td> <td>2</td> <td>②</td> <td>②</td> <td>②</td> <td>②</td> <td>②</td> <td>②</td> <td>②</td> <td>②</td> </tr> <tr> <td>歯式</td> <td>3</td> <td>2</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>2</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>PD</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>④</td> <td>④</td> <td>④</td> <td>④</td> <td>④</td> <td>④</td> <td>④</td> </tr> <tr> <td>BOP</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>④</td> <td>④</td> <td>④</td> <td>④</td> <td>④</td> <td>④</td> <td>④</td> </tr> <tr> <td>動揺度</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> </table> <p style="text-align: center; font-size: small;">○印は出血ありを示す</p> <p>適切な対応はどれか。2つ選べ。</p> <p>a PMTC b 咬合調整 c ブラッシング指導 d 抗菌薬の局所応用</p> <p>▶keyword: 歯肉炎、歯周炎、PMTC</p>	動揺度	0	0	0	0	0	0	0	0	0	PD	3	②	③	③	④	④	④	④	④	BOP	2	②	②	②	②	②	②	②	②	歯式	3	2	1	1	2	3	3	2	2	PD	3	3	④	④	④	④	④	④	④	BOP	3	3	④	④	④	④	④	④	④	動揺度	0	0	0	0	0	0	0	0	0	<p><b>解答:</b> a、c</p> <p>PDは2~3mmである。動揺歯は認められない。また、歯槽骨の吸収は認められないことから歯周炎には至っておらず、歯肉炎と考えることができる。</p> <p>a○ セルフケアによるブラークコントロールに加え、バイオフィルムを破壊するためにプロフェッショナルケアとしてPMTCを行い、口腔内の環境の整備や口腔衛生やリコールの動機づけにする。</p> <p>b× 咬合調整は咬合性外傷の処置の1つである。咬合性外傷は歯周疾患を悪化させる因子の1つであり歯槽骨の垂直的吸収や歯根の吸収、歯の動揺などが現れるが、歯肉に病的変化は現れない。この症例の場合、咬合性外傷を疑う所見はみられない。</p> <p>c○ 歯肉炎の直接的原因はプラークであるため、ブラッシング指導により歯肉炎の改善が期待できる。</p> <p>d× 抗菌薬の局所応用は、深い歯周ポケット内に直接投与する処置である。この症例はPD平均が2.7mmと浅いため必要ない。また、安易な抗菌薬の応用は耐性菌の発生の原因となるため、用法・用量に注意を要する。</p> <p><b>文献:</b> 最新歯科衛生士教本 歯科予防処置論・歯科保健指導論 28、174-182 最新歯科衛生士教本 歯周治療 17-25</p>
動揺度	0	0	0	0	0	0	0	0	0																																																														
PD	3	②	③	③	④	④	④	④	④																																																														
BOP	2	②	②	②	②	②	②	②	②																																																														
歯式	3	2	1	1	2	3	3	2	2																																																														
PD	3	3	④	④	④	④	④	④	④																																																														
BOP	3	3	④	④	④	④	④	④	④																																																														
動揺度	0	0	0	0	0	0	0	0	0																																																														
<p>70 学校歯科健康診査でGOと判定された児童が来院した。適切な対応はどれか。</p> <p>a 歯石除去 b フッ化物塗布 c 小窩裂溝充填 d ブラッシング指導</p> <p>▶keyword: GO、学校歯科健康診査</p>	<p><b>解答:</b> d</p> <p>GOとは歯周疾患要観察者のことで、歯肉に軽度の炎症症候があるが、歯石沈着は認められず、注意深いブラッシングを行うことによって炎症症候が消退するような歯肉の状態の者をさす。</p> <p>a× 歯石沈着は認められないので不要である。</p> <p>b× CO(要観察歯)における対応の1つである。</p> <p>c× CO(要観察歯)における対応の1つである。</p> <p>d○</p> <p><b>文献:</b> 最新歯科衛生士教本 保健生態学 262-267 最新歯科衛生士教本 口腔保健管理 83 最新歯科衛生士教本 歯科予防処置論・歯科保健指導論 264</p>																																																																						
<p>71 歯周疾患の指数で用いるのはどれか。2つ選べ。</p> <p>a PCR b PI c CPI d PII (Silness &amp; Løe)</p> <p>▶keyword: 歯周病、歯周疾患の指数</p>	<p><b>解答:</b> b、c</p> <p>歯周組織の状態(歯周ポケットの深さ、歯肉縁下歯石、出血の反応の有無など)を測定して数値化することによって、個人を対象とした状態の記録や変化の観察、集団を対象とした疫学的研究が可能となる。</p> <p>a× 歯頸部(歯肉辺縁部に接する歯面)のプラーク付着の有無で口腔清掃状態を評価する。</p> <p>b○ 歯周炎の進行度を評価する。歯肉の炎症のみでなく、歯槽骨の喪失についても間接的に評価する。成人・老年期の歯周疾患の調査に適している。</p> <p>c○ 集団(成人)を対象にした歯周疾患の疫学調査における検査結果から、歯周組織の健康状態を評価するための指標である。検査にはWHO指定の歯周プローブ(CPIプローブ)を用いる。</p> <p>d× 歯肉辺縁部に接する部位の(歯肉1/3に付着する)プラーク付着量で口腔清掃状態を評価する。</p> <p><b>文献:</b> 最新歯科衛生士教本 歯科予防処置論・歯科保健指導論 104-109 最新歯科衛生士教本 保健情報統計学 47-60 新歯科衛生士教本 口腔衛生学・歯科衛生統計 188-189</p>																																																																						

問題 A	解答・解説
<p>72 プロービングについて正しいのはどれか。2つ選べ。</p> <p>a 適切なプロービング圧は20~25gである。</p> <p>b インプラントにはプラスチックプローブで行う。</p> <p>c CPIプローブは根分岐部用のプローブである。</p> <p>d プロービング後1分以降に出血した部位をBOPとして記録する。</p> <p>▶keyword: プローブ、プロービング法</p>	<p><b>解答:</b> a、b</p> <p>プロービングを行うことで、大まかな歯周組織の破壊度を知るとともに、嫌気性菌が感染している場所の大きさを推測できる。</p> <p>a○</p> <p>b○</p> <p>c× CPIプローブはWHOが提案したもので、先端に直径0.5mmの球がついていて、断面が円形、目盛りが先端から0.5-3-2mmとなっている。根分岐部用のプローブはファーケーションプローブである。</p> <p>d× BOP(bleeding on probing)の検査は、適正なプロービング圧で測定後、20~30秒以内に出血があれば記録する。</p> <p><b>文献:</b> 最新歯科衛生士教本 口腔保健管理 114-118 最新歯科衛生士教本 歯周治療 52-54、120-122 最新歯科衛生士教本 歯科予防処置論・歯科保健指導論 93-99</p>
<p>73 プロービングを行っている写真と使用した歯周プローブの写真(別冊No.12)を別に示す。</p> <p>ポケットデプスの数値で正しいのはどれか。</p> <p>a 4mm b 6mm c 9mm d 11mm</p> <p>▶keyword: プロービング</p>	<p><b>解答:</b> c</p> <p>プロービングとは、歯周プローブを歯周ポケットに挿入して検査を行うことで、歯肉辺縁からポケット底部までの距離をポケットデプスという。歯周プローブ先端の断面が平坦型、丸型、また、目盛りがカラーのもの、黒色の帯状のマークがついたものなどがあり、目盛りの間隔もさまざまである。使用している歯周プローブの目盛りの間隔を把握し、目盛りの総数から歯肉縁上に出ている目盛りの数を引いた数がポケットデプスとなる。写真のプローブの目盛りは先端から3-3-2-3mmである。</p> <p>a×</p> <p>b×</p> <p>c○</p> <p>d×</p> <p><b>文献:</b> 最新歯科衛生士教本 歯科予防処置論・歯科保健指導論 93-99</p>
<p>74 ポケットデプス測定時のプローブの操作方法を図に示す。</p>  <p>正しいのはどれか。</p> <p>a ① b ② c ③ d ④</p> <p>▶keyword: ポケットデプス測定、ウォーキングプロービング</p>	<p><b>解答:</b> b</p> <p>ポケットデプスの測定は歯肉辺縁からポケット底部までの深さを測定する。歯周ポケット内でのプローブ操作はウォーキングプロービングで行う。ウォーキングプロービングはプローブの先端を歯面に沿わせ、ポケット底部から歯周ポケット内で1~2mm間隔で上下運動させながら近遠心方向に1mmくらいずつ移動させる。</p> <p>a× プローブの先端がポケット底部に届いていない。</p> <p>b○</p> <p>c× 歯肉出血度評価などに用いる。</p> <p>d× プローブは歯周ポケット内で上下運動させる。</p> <p><b>文献:</b> 最新歯科衛生士教本 歯科予防処置論・歯科保健指導論 93-99</p>

問題 A		解答・解説	
75	<p>ブローピングから得られる情報はどれか。2つ選べ。</p> <p>a 歯根の形態 b 歯槽骨の骨質 c 下顎管の位置 d アタッチメントレベル</p> <p>▶keyword: ブローピング</p>	<p><b>解答:</b> a, d</p> <p>ブローピングから得られる情報は、①歯周ポケットの深さ・形態、②歯周組織の抵抗力・炎症の存在、③歯肉の質・形態、④歯根の形態、⑤歯肉縁下プラークの有無と程度、⑥アタッチメントレベル、⑦根分岐部病変の有無とその程度などがあげられる。</p> <p>a ○ b × エックス線画像にて判断できる。 c × エックス線画像にて判断できる。 d ○</p> <p><b>文献:</b> 最新歯科衛生士教本 歯科予防処置論・歯科保健指導論 94-95 最新歯科衛生士教本 歯周治療 121</p>	
76	<p>シッケルスケーラーについて正しいのはどれか。2つ選べ。</p> <p>a 浅い歯肉縁下歯石の除去に用いる。 b 刃部の片面にカッティングエッジがある。 c 刃部を歯面に対して70°に当てて操作する。 d 歯石の下に刃部の先端3~4mmを置いて操作する。</p> <p>▶keyword: 手用スケラー</p>	<p><b>解答:</b> a, c</p> <p>a ○ 無理に歯肉縁下に適用すると根面を傷つける場合があるため、細心の注意を払って操作する。 b × 刃部側面の両側にカッティングエッジ(切縁)がある。 c ○ シッケルスケーラーはスケラーの内面と歯面が70~85°であるときに歯石除去に効果的な角度である。 d × 刃部先端の1~2mmを置いて、引き上げる操作で歯石を除去する。</p> <p><b>文献:</b> 最新歯科衛生士教本 歯周治療 137-144 最新歯科衛生士教本 歯科予防処置論・歯科保健指導論 139-155</p>	
77	<p>手用スケラーを用いてスケーリングを行う場合、バックポジションで行うことが推奨される部位はどれか。2つ選べ。</p> <p>a 上顎前歯部唇側 b 上顎右側臼歯部頰側 c 上顎左側臼歯部頰側 d 下顎左側舌側</p> <p>▶keyword: スケーリング操作</p>	<p><b>解答:</b> a, c</p> <p>シッケルスケーラーやキュレットスケラーを使ってスケーリングを行う場合、バックポジション(11~1時の位置)、サイドポジション(9時の位置)、フロントポジション(8時の位置)がある。患者の頭部の角度や傾斜をセッティングし、各部位に合わせた術者の位置を確保することで、視野が広く安全に操作することができる。</p> <p>a ○ 上顎前歯部唇側は11~12時位置であるバックポジションで操作する。 b × 上顎右側臼歯部頰側は9時または8時の位置、サイドポジションかフロントポジションで操作する。 c ○ 上顎左側臼歯部頰側は11時の位置、つまりバックポジションで操作する。 d × 下顎左側舌側はサイドポジションで操作する。</p> <p><b>文献:</b> 最新歯科衛生士教本 歯科予防処置論・歯科保健指導論 138-153</p>	

問題 A		解答・解説	
78	<p>写真(別冊No.13)を別に示す。 使用しているキュレットスケラー(グレーシートタイプ)はどれか。</p> <p>a #5/6 b #7/8 c #11/12 d #13/14</p> <p>▶keyword: グレーシートタイプキュレットスケラー</p>	<p><b>解答:</b> b</p> <p>写真の部位は下顎左側舌側である。キュレットスケラーにはユニバーサルタイプとグレーシートタイプがある。ユニバーサルタイプは、第1シャンクに対して刃部の内面が90°になっており、刃部側面両側にカッティングエッジがついている。グレーシートタイプは第1シャンクに対して刃部の内面が70°に傾斜し、傾いた下側にだけカッティングエッジがついている。グレーシートタイプは頸部の形態に特徴があり、各部位に適合するスケラーが作られている。</p> <p>a × 前歯部用である。 b ○ 臼歯部頰側面・舌側面用である。 c × 臼歯部近心隣接面用である。 d × 臼歯部遠心隣接面用である。</p> <p><b>文献:</b> 最新歯科衛生士教本 歯科予防処置論・歯科保健指導論 154 最新歯科衛生士教本 歯科予防処置 48、67</p>	
79	<p>スケラーの刃部の断面図を示す。</p>  <p>このスケラーの説明で正しいのはどれか。2つ選べ。</p> <p>a 両刃である。 b 先端はスプーン状である。 c 垂直ストロークで操作する。 d オフセットプレードを有している。</p> <p>▶keyword: シッケルスケーラー、グレーシートタイプキュレット、オフセットプレード</p>	<p><b>解答:</b> a, c</p> <p>このスケラーはシッケルスケーラー(鎌形スケラー)である。シッケルスケーラーの特徴は、①刃部の断面は三角形である、②両刃である、③刃部の先端は鋭くかつがっている、④刃部内面と頸部のなす角度は90°である、⑤操作時は歯軸の方向に側方圧をかけて引き上げる。</p> <p>a ○ b × スプーン状の先端は、キュレットタイプスケラーの特徴である。 c ○ Pullのみ垂直ストロークで操作する。 d × オフセットプレードはグレーシートタイプキュレットの特徴であり、グレーシートタイプキュレットは第1シャンクに対して刃部内面が70°傾いている。</p> <p><b>文献:</b> 最新歯科衛生士教本 歯科予防処置論・歯科保健指導論 139-140</p>	
<b>歯科保健指導論</b>			
80	<p>健康の定義(WHO)で正しいのはどれか。2つ選べ。</p> <p>a QOLの高さを求めている。 b 健康水準は人種により違う。 c 社会的に良好な状態である。 d 病気がないことは必須条件である。</p> <p>▶keyword: 健康、WHO</p>	<p><b>解答:</b> a, c</p> <p>WHOの定義では「健康とは身体的、社会的、精神的に良好な状態にあり、単に病気がない、虚弱でないということではない」としている。人々の生活そのものをとらえ、評価することが多く、社会、家庭、精神、知的生活などを含むQOLの高さを求めている。</p> <p>a ○ b × 同憲章では「到達可能な最高水準の健康を享受することは、人種、宗教、政治的信条、経済状態のいかに関わらず、すべての人間の基本的権利(基本的人権)である」としている。 c ○ d ×</p> <p><b>文献:</b> 最新歯科衛生士教本 歯科予防処置論・歯科保健指導論 6 最新歯科衛生士教本 保健生態学 3</p>	

問題 A		解答・解説
81	<p>対象把握のための情報として客観的情報はどれか。</p> <p>a 主訴 b 現病歴 c 生活習慣 d 歯周組織検査</p> <p>▶keyword: 歯科衛生アセスメント、主観的情報、客観的情報</p>	<p><b>解答: d</b></p> <p>対象者の把握をするためには、まず歯科衛生アセスメント(情報収集、情報処理)を行う必要がある。情報収集には、対象者自身から発せられる主観的情報と観察などによって得られる客観的情報がある。主観的情報には、主訴や現病歴、栄養状態や生活習慣などがあり、客観的情報には、バイタルサイン、口腔内写真、口腔内外の観察、歯周組織の検査などがある。</p> <p>a × 主観的情報である。 b × 主観的情報である。 c × 主観的情報である。 d ○</p> <p><b>文献:</b> 最新歯科衛生士教本 歯科予防処置論・歯科保健指導論 63-64</p>
82	<p>児童虐待防止法におけるネグレクトはどれか。2つ選べ。</p> <p>a 暴力をふるう。 b 食事を与えない。 c 父親が母親を殴る行為を子どもに見せる。 d 多数のう蝕の発症を指摘されても放置する。</p> <p>▶keyword: 児童虐待</p>	<p><b>解答: b, d</b></p> <p>児童へのネグレクトとは児童虐待防止法で定められる虐待の1つであり、子どもに十分な食事を与えなかったり衣服の世話をしなかったり、病気やケガを放置したりするなど、保護者としての責任を放棄する行為である。児童虐待のほか、障害者虐待や高齢者虐待などがある。</p> <p>a × 暴力は身体的虐待にあたる。 b ○ c × 心理的虐待にあたる。 d ○</p> <p><b>文献:</b> 最新歯科衛生士教本 歯科予防処置論・歯科保健指導論 248</p>
83	<p>義歯用歯ブラシの図と義歯の写真(別冊No. 14)を別に示す。クラスプ周辺の清掃に最も適している義歯用歯ブラシの部分はどれか。</p> <p>a ① b ② c ③ d ④</p> <p>▶keyword: 義歯用歯ブラシ、部分床義歯、清掃方法</p>	<p><b>解答: d</b></p> <p>義歯の清掃には専用ブラシが適している。義歯用歯ブラシは1本に2種類の硬さの刷毛が付いているものが多く、義歯の型に合わせて使い分けできるようになっており、クラスプ周辺や義歯粘膜内面に毛先が容易に届く。</p> <p>a × 大きく軟らかい毛束は人工歯、義歯床などに使用する。 b × c × d ○ 小さく固い毛束はクラスプの内部、脚部などの使用に適している。</p> <p><b>文献:</b> 最新歯科衛生士教本 歯科予防処置論・歯科保健指導論 225-226 改訂歯ブラシ事典(学建書院) 62</p>

問題 A		解答・解説
84	<p>歯垢染色剤で染色した歯を図に示す。</p>  <p>PHPで判定した評価はどれか。</p> <p>a 2点 b 3点 c 4点 d 5点</p> <p>▶keyword: 口腔清掃評価、PHP、判定基準、</p>	<p><b>解答: c</b></p> <p>PHP (Patient Hygiene Performance) は Podshadly と Haley (1968年) による指標で、口腔清掃実行度ともよばれる。判定基準は歯面を近遠心的に2区分、中央部を3区分した計5部位に区分する。染色された部位をそれぞれ1点、なければ0点とする。</p>  <p>a × b × c ○ d ×</p> <p><b>文献:</b> 最新歯科衛生士教本 歯科予防処置論・歯科保健指導論 84 最新歯科衛生士教本 保健情報統計学 57、58</p>
85	<p>洗口剤について正しいのはどれか。2つ選べ。</p> <p>a 研磨剤と粘結剤は含まれていない。 b 適量を口に含みブラッシングを行う。 c 洗口剤使用後は水ですすぐ必要はない。 d プラークコントロールに対する効果は高い。</p> <p>▶keyword: 洗口剤</p>	<p><b>解答: a, c</b></p> <p>液体歯磨剤と洗口剤は、組成としては同じであるが、使用方法に違いがある。液体歯磨剤はブラッシング時に使用され、洗口剤は歯ブラシを使わずに適量を口に含んですすぎ、口腔内の浄化を行う。通常の使用では洗口剤のプラークコントロールに対する効果は低いため、口臭予防対策などのエチケット用品として使用されることが多い。</p> <p>a ○ 発泡剤を含まないものもある。 b × 液体歯磨剤の使用法である。 c ○ 水で洗い流すと効果が薄れるので、水ですすぐ必要はない。 d × 口腔環境を整える補助的なものとして使用する。</p> <p><b>文献:</b> 最新歯科衛生士教本 保健生化学 126-127</p>
86	<p>下線部分で誤っているのはどれか。</p> <p>口臭は、真性口臭症、<u>①</u>仮性口臭症、<u>②</u>口臭恐怖症に分類され、真性口臭症のうち、自浄作用が低下して起こる口臭を<u>③</u>生理的口臭、舌苔やプラークなどが原因で起こる口臭を<u>④</u>全身性口臭という。</p> <p>a ① b ② c ③ d ④</p> <p>▶keyword: 口臭、生理的口臭、病的口臭</p>	<p><b>解答: d</b></p> <p>口臭は国際分類によって、真性口臭症、仮性口臭症、口臭恐怖症に分類される。真性口臭症はさらに生理的口臭と病的口臭に分類され、起床時や空腹時などの自浄作用の低下によって起こる口臭を生理的口臭という。病的口臭のうち、舌苔やプラーク、う蝕など口腔に由来するものを、口腔由来の病的口臭、糖尿病や肝疾患など全身疾患に由来するものを全身由来の病的口臭という。</p> <p>a ○ b ○ c ○ d × 口腔由来の病的口臭である。</p> <p><b>文献:</b> 最新歯科衛生士教本 歯科予防処置論・歯科保健指導論 100</p>

問題 A		解答・解説	
87	疾患とそれに対する口腔内の特徴の組合せで正しいのはどれか。 a 高血圧——歯肉腫脹 b 糖尿病——歯肉増殖 c 脳血管障害——歯周病 d てんかん——食物残渣の滞留	<b>解答：a</b> それぞれの疾患に対する薬剤の副作用や特徴を理解する。 a○ 高血圧治療薬であるカルシウム拮抗剤は、血管拡張性の頭痛や顔のほてり、浮腫、歯肉腫脹が認められる。 b× 糖尿病は、プラーク中の細菌の感染症である歯周病の発症・進行に関与している。糖尿病にかかると抵抗力が低下し、歯周病になりやすい。 c× 口腔および上肢、手指に感覚および運動の麻痺が存在することが多いため麻痺側に食物残渣がたまりやすい。細菌の繁殖しやすい環境にあるため誤嚥性肺炎の危険性も高い。 d× 抗てんかん薬のフェニトインは歯肉増殖を起こす副作用がある。	<b>文献：最新歯科衛生士教本 高齢者歯科 93</b> <b>最新歯科衛生士教本 歯周治療 34</b> <b>最新歯科衛生士教本 障害者歯科 59</b>
▶keyword：基礎疾患と口腔内の特徴			
88	82歳の男性。同居の家族から最近食事の際にむせることが多いと相談された。食事指導として適切なのはどれか。2つ選べ。 a 細かく刻む。 b ところみをつける。 c みそ汁などの汁物を多くする。 d 食べるときの姿勢を安定させる。	<b>解答：b、d</b> 高齢者が食事の際にむせることが多くなった場合、食塊を咽頭から食道に送り込む時期である咽頭期の障害が考えられる。この場合、食べ物にところみをつけて適度な粘性をもたせて、飲み込みやすい状態にするとよい。また、食べるときの姿勢は、体幹を安定させて頭部を少しうつむき加減にすると誤嚥しにくくなる。 a× 刻み食はバラバラになって、誤嚥しやすくなる。 b○ c× サラサラの液体は早期流れ込みにより誤嚥しやすくなる。 d○	<b>文献：最新歯科衛生士教本 高齢者歯科 68-74</b>
▶keyword：摂食・嚥下障害			
89	摂食・嚥下障害に対する間接訓練で認知期（先行期）に効果的なのはどれか。2つ選べ。 a 脱感作療法 b 筋ストレッチ c 息こらえ嚥下 d 頭部挙上訓練	<b>解答：a、b</b> 摂食・嚥下障害に対して訓練を行う際は、適切で効果的な訓練方法を組み合わせて実施することが重要である。脱感作療法と筋ストレッチはすべての期に有効な訓練であり、刺激を与えて感覚を呼び起こすのに有効である。 a○ b○ c× 咽頭期に有効な訓練である。 d× 咽頭期に有効な訓練である。	<b>文献：歯科衛生士のための摂食・嚥下リハビリテーション 139-147</b>
▶keyword：間接訓練			
90	歯科衛生士が行う専門的口腔ケアのうち器質的口腔ケアの目的はどれか。2つ選べ。 a 口内炎の予防 b 嚥下機能の促進 c 気道感染の防止 d 口腔周囲筋の訓練	<b>解答：a、c</b> 専門的口腔ケアはセルフケアの延長線上の管理だけでなく、口腔衛生状態を改善し、口腔疾患や気道感染を予防することを目的とした器質的口腔ケアと、摂食・嚥下機能の改善を目的とした機能的口腔ケアの両側面から行うことが重要である。 a○ b× c○ d×	<b>文献：歯科衛生士のための摂食・嚥下リハビリテーション 110-113</b>
▶keyword：専門的口腔ケア、器質的口腔ケア、機能的口腔ケア			

問題 A		解答・解説																							
91	歯科衛生教育の現場活動で正しいのはどれか。2つ選べ。 a 無関心群が含まれる。 b 個別に口腔観察を行う。 c 健康教育は個人を対象とする。 d 生活行動の変容をねらいとする。	<b>解答：a、d</b> 歯科衛生教育は、基本的に集団を対象とするもので、主に学校や地域活動などが現場となる。目的は個人への歯科保健指導と同様に、歯科保健行動への変容であるが、個別に指導するのと異なり、無関心群も含まれるため、動機づけが重要となる。 a○ b× 個別に口腔観察を行うのは、臨床現場または歯科検診である。 c× 個人を対象とするのは、主に臨床現場である。 d○ 集団の場合は必ずしも関心のある人ばかりではなく、無関心な人も含まれるだけに動機づけが重要である。	<b>文献：最新歯科衛生士教本 歯科予防処置論・歯科保健指導論 329-331</b>																						
▶keyword：歯科衛生教育活動、健康教育																									
92	幼児期の食生活指導について適切なのはどれか。2つ選べ。 a 一口量の把握 b 食事マナーの習得 c 食の自己管理能力育成 d 満足感が得られる食事環境づくり	<b>解答：b、d</b> 幼児期の食事は、単に食事摂取基準を満たすというだけでなく、幼児の精神生活を豊かにし、子どもの自立心や社会性を育むものである。 a× 乳児期離乳の後期に行う。 b○ c× 学齢期の食生活指導である。 d○ 楽しく満足感が得られる食事環境づくりは、特に幼児期に重要である。	<b>文献：最新歯科衛生士教本 歯科予防処置論・歯科保健指導論 257、262、269</b>																						
▶keyword：食生活指導、幼児期																									
93	事業所の200名を対象に歯科疾患の自覚症状に関する質問紙調査を行うことになった。適切な質問文はどれか。2つ選べ。 a 動揺歯はありますか。 b 歯肉の腫脹はありますか。 c お口の臭いは気になりますか。 d 食べ物が歯にはさまりやすいですか。	<b>解答：c、d</b> 質問紙調査の質問文を作成するときは、①専門用語を使用しない、②文章は長くても2〜3行とする、③文章は簡単な表現にする、④一度で理解できる文章にする、⑤質問文で1要素のみを尋ねる、⑥わかりやすい語句を用いる、⑦誘導的語句や文章は避ける、という点に注意する。 a× 「歯がグラグラしますか」などのほうがわかりやすい。 b× 「腫脹」という専門用語は使用せず、「歯ぐきがはれることがありますか」など、理解しやすい表現を用いる。 c○ d○	<b>文献：最新歯科衛生士教本 歯科予防処置論・歯科保健指導論 275-281</b>																						
▶keyword：事業所、質問紙調査																									
94	平成23年歯科疾患実態調査の年次推移を図に示す。 <table border="1"> <caption>平成23年歯科疾患実態調査の年次推移</caption> <thead> <tr> <th>調査年</th> <th>20以上の歯を有する者の割合 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>24</td><td>75</td></tr> <tr><td>25</td><td>78</td></tr> <tr><td>26</td><td>80</td></tr> <tr><td>27</td><td>82</td></tr> <tr><td>28</td><td>85</td></tr> <tr><td>29</td><td>88</td></tr> <tr><td>30</td><td>90</td></tr> <tr><td>31</td><td>92</td></tr> <tr><td>32</td><td>95</td></tr> <tr><td>23</td><td>98</td></tr> </tbody> </table> 該当する調査項目はどれか。 a 1人平均喪失歯数の割合 b 20本以上の歯を有する者の割合 c 4mm以上の歯周ポケットを有する者の割合 d 補綴物の装着の有無と各補綴物の装着者の割合	調査年	20以上の歯を有する者の割合 (%)	24	75	25	78	26	80	27	82	28	85	29	88	30	90	31	92	32	95	23	98	<b>解答：b</b> 歯科疾患実態調査は、国民の歯科保健状況を把握し、今後の歯科保健医療対策の推進に必要な基礎資料を得ることを目的として、昭和32年から6年ごとに実施されている調査である。平成23年国民生活基礎調査により設定された単位区から無作為に抽出した300単位区内の世帯および当該世帯の満1歳以上の世帯員を標本としており、この調査の結果から、8020達成者は38.3%で、3人に1人以上が8020達成者となり、過去最高となった（平成17年の調査結果は24.1%）。 a× b○ c× d×	<b>文献：最新歯科衛生士教本 保健情報統計学 17</b>
調査年	20以上の歯を有する者の割合 (%)																								
24	75																								
25	78																								
26	80																								
27	82																								
28	85																								
29	88																								
30	90																								
31	92																								
32	95																								
23	98																								
▶keyword：歯科疾患実態調査																									

問題 A		解答・解説	
<b>歯科診療補助論</b>			
95	<p>スタンダードプレコーションで正しいのはどれか。2つ選べ。</p> <p>a 感染症患者のみが対象である。</p> <p>b 注射針を使用したときは針刺しに注意してリキャップする。</p> <p>c 血液・体液・排泄物に触れる可能性があるときグローブを着用する。</p> <p>d 血液が床こぼれたときグローブ・プラスチックエプロンを着用し、次亜塩素酸ナトリウムかアルコールで処理する。</p> <p>▶keyword: スタンダードプレコーション</p>	<p><b>解答:</b> c, d</p> <p>スタンダードプレコーションは全ての血液、体液(汗、涙を除く)、排泄物を感染性のあるものとして対策を講じることで感染予防しようとするものである。</p> <p>a × すべての患者を対象とする。</p> <p>b × リキャップせずに、針捨てボックスに直接廃棄する。</p> <p>c ○</p> <p>d ○</p> <p><b>文献:</b> 最新歯科衛生士教本 歯科診療補助論 11</p>	
96	<p>使用済みの注射針を誤って指に刺した。まず行うべき対応はどれか。</p> <p>a 薬液消毒</p> <p>b 抗菌薬の服用</p> <p>c 流水による洗浄</p> <p>d 滅菌ガーゼによる圧迫</p> <p>▶keyword: 針刺し事故</p>	<p><b>解答:</b> c</p> <p>針刺し事故により問題となる感染症は、主にウイルスによる感染である。事故に遭遇した場合、流水で十分に洗った後、薬液消毒・各種検査を行い、状況に応じた対応を行う。</p> <p>a × 薬液による消毒は流水下での洗浄後に行う。</p> <p>b × 流水下による洗浄後、創部の消毒が必要であるが、抗菌薬の投与は必要としない。</p> <p>c ○</p> <p>d × ウイルスを体外へ出すため、圧迫止血は必要としない。</p> <p><b>文献:</b> 最新歯科衛生士教本 歯科診療補助論 155-157</p>	
97	<p>高圧蒸気滅菌について正しいのはどれか。2つ選べ。</p> <p>a ゴム製品の滅菌に適する。</p> <p>b 器材を専用パックにパッキングする。</p> <p>c 滅菌物はオートクレーブ内の体積いっぱい詰める。</p> <p>d 滅菌終了後は器内の圧力が完全に下がってから扉を開ける。</p> <p>▶keyword: 高圧蒸気滅菌法</p>	<p><b>解答:</b> b, d</p> <p>高圧蒸気滅菌に使用するオートクレーブは安全性が高く、低コストで、現在最も確実な滅菌法である。滅菌の対象物としては、ほとんどすべての金属製品、ガーゼや綿球、ガラス製品、耐熱性のあるプラスチック製品に使用できる。</p> <p>a × 耐熱性のある製品の滅菌に適する。ゴム製品はEOG滅菌する。</p> <p>b ○</p> <p>c × 滅菌物はオートクレーブ内の体積の約60~70%を目安に詰める。</p> <p>d ○</p> <p><b>文献:</b> 最新歯科衛生士教本 歯科診療補助論 17、18 新歯科衛生士教本 歯科診療補助 21、23</p>	

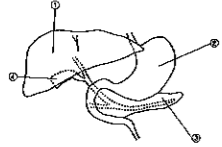
問題 A		解答・解説	
98	<p>石膏の取扱いで正しいのはどれか。2つ選べ。</p> <p>a 石膏の練和は30~60秒間で行う。</p> <p>b 石膏スパチュラは掌握状で把持する。</p> <p>c 普通石膏の混水比は0.4~0.5である。</p> <p>d 石膏の混入は石膏粉末を先に計量しラバーボールに入れる。</p> <p>▶keyword: 石膏、練和方法、混水比</p>	<p><b>解答:</b> a, c</p> <p>a ○ 石膏泥がクリーム状になることを目安として30~60秒間で行う。</p> <p>b × 石膏スパチュラは通常執筆状で把持する。</p> <p>c ○ 歯科用石膏の混水比は石膏の種類によってかわる。普通石膏は0.4~0.5、硬質石膏は0.23~0.30、超硬質石膏は0.20~0.25である。</p> <p>d × 石膏の混入の際、普通石膏を加える時には、石膏より比重の軽い水を先にラバーボールに入れ、次に石膏を入れる。</p> <p><b>文献:</b> 最新歯科衛生士教本 歯科診療補助論 96-99 新歯科衛生士教本 歯科材料の知識と取り扱い 164-170</p>	
99	<p>歯科用セメントの特徴はどれか。2つ選べ。</p> <p>a リン酸亜鉛セメントは歯質や金属に対して接着性なく、嵌合力で結合する。</p> <p>b グラスアイオノマーセメントの特徴として二次う蝕の予防効果がある。</p> <p>c カルボキシレートセメントはエナメル質より象牙質により強く接着する。</p> <p>d レジン添加型グラスアイオノマーセメントは唾液や水分に対する溶解性を改良したものである。</p> <p>▶keyword: カルボキシレートセメント、グラスアイオノマーセメント、リン酸亜鉛セメント</p>	<p><b>解答:</b> b, d</p> <p>a × リン酸亜鉛セメントは歯質や金属に対して接着性がなく、嵌合力で結合する。</p> <p>b ○ グラスアイオノマーセメントの特徴は歯髄刺激性の低さ、フッ素徐放による二次う蝕の予防効果、ガラス成分配合による透明性と歯質への接着性がある。</p> <p>c × カルボキシレートセメントはエナメル質より象牙質により強く接着する。</p> <p>d ○</p> <p><b>文献:</b> 最新歯科衛生士教本 歯科診療補助論 106-120 新歯科衛生士教本 歯科材料の知識と取り扱い 180-214</p>	
100	<p>寒天・アルジネート印象材で連合印象採得を行うことになった。印象材の取扱いで正しいのはどれか。2つ選べ。</p> <p>a 使用したシリンジノズルはアルコール綿花で消毒してから再利用する。</p> <p>b アルジネート印象材は通常より硬めに練和したものを使用する。</p> <p>c 使用する寒天印象材はグローブ上などに押し出して軟化状態を確認する。</p> <p>d 圧接したアルジネート印象材が硬化したらトレーを歯軸に沿って一気に取り外す。</p> <p>▶keyword: アルジネート印象材、寒天印象材、連合印象採得</p>	<p><b>解答:</b> c, d</p> <p>a × 使用したシリンジノズルの先端の中に残る硬化した寒天印象材を専用針で取り除いてから、オートクレーブなどで滅菌する。</p> <p>b × 連合印象採得に使用するアルジネート印象材は、通常よりやや軟らかく練和した印象材を使用する。</p> <p>c ○ グローブ上などに押し出して軟化状態や温度を確認してから歯科医師に手渡す。</p> <p>d ○ 上から圧接したアルジネート印象材が完全に硬化すると、内部の寒天印象材も硬化していると考えられるので、歯軸に沿って一気にトレーを口腔外に取り外す。</p> <p><b>文献:</b> 最新歯科衛生士教本 歯科診療補助論 86-87 新歯科衛生士教本 歯科材料の知識と取り扱い 125-131</p>	


問題 A		解答・解説	
101	<p>12. (III級窩洞) にセルフエッチングプライマーシステムを使ってコンポジットレジン修復を行うことになった。取扱い方法で正しいのはどれか。2つ選べ。</p> <p>a 隣接面にはストリップスを用いる。 b ボンディング後のエアブローは強圧のエアを吹きかける。 c 窩洞の深さが2~3mmを超える場合は可視光線を20秒間照射する。 d プライマー塗布時は処理面が唾液などで汚染しないように気をつける。</p> <p>▶keyword: コンポジットレジン修復、接着システム</p>	<p><b>解答:</b> a、d</p> <p>a ○ b × ボンディング後のエアブローは弱圧のエアを吹きかけ、ボンディング材を均一な厚さの層にする。 c × 光照射すると、光のあたる表面から硬化するが、窩洞の深さが2~3mmを超える場合や、コンポジットレジンの色調が濃く不透明な場合は積層分割照射を行う。 d ○ 処理面が水分、唾液、血液、器械の接触などで汚染すると接着効果が妨げられるので注意し、もし入った場合はもう一度プライマー塗布をやり直す必要がある。</p> <p><b>文献:</b> 最新歯科衛生士教本 保存修復・歯内療法 85-93</p>	
102	<p>歯間分離法の目的はどれか。2つ選べ。</p> <p>a 小矯正 b 軟組織の保護 c 隣接面の視診・触診 d 隣接面の容易な窩洞形成</p> <p>▶keyword: 歯間分離法</p>	<p><b>解答:</b> c、d</p> <p>歯間分離法とは隣接する歯の歯間距離を広げ、隣接面の診査や修復操作を的確に行うための方法である。</p> <p>a × b × c ○ d ○</p> <p><b>文献:</b> 最新歯科衛生士教本 保存修復・歯内療法 28-29 新歯科衛生士教本 保存修復学・歯内療法学 40-41 ポイントチェック⑤第4版 84</p>	
103	<p>電氣的根管長測定で準備する器具はどれか。2つ選べ。</p> <p>a Kファイル b 口角クリップ c ピーソーリマー d ガツパーチャポイント</p> <p>▶keyword: 根管長測定器</p>	<p><b>解答:</b> a、b</p> <p>電氣的根管長測定とは、歯根膜と口腔粘膜間の電気抵抗値が一定であることを応用し、根管長を測定する方法である。</p> <p>a ○ Kファイルまたはリマーにストッパーを装着して歯牙電極とし、根管内に挿入して根管長を測定する。 b ○ 口腔粘膜電極となる。金属製の排唾管でもよい。 c × 根管口の漏斗状拡大に使用する。 d × 根管充填材として使用する。</p> <p><b>文献:</b> 最新歯科衛生士教本 保存修復・歯内療法 152 新歯科衛生士教本 保存修復学・歯内療法学 190-192</p>	
104	<p>歯周基本治療時に行う診査に使用する器具の組合せで正しいのはどれか。2つ選べ。</p> <p>a 歯の動揺度——ピンセット b 歯間離開度——コンタクトゲージ c 根分岐部病変の診査——ポケットプローブ d 歯周ポケット測定——ファークエーションプローブ</p> <p>▶keyword: 歯周基本治療</p>	<p><b>解答:</b> a、b</p> <p>歯周基本治療(イニシャルレパレーション)は急性症状の鎮静をはかり、慢性炎症の程度を極力軽減し、咬合機能障害因子をできるだけ除去し、プラークコントロールと咬合関係の調和をはかることを目的とする。</p> <p>a ○ b ○ c × 根分岐部病変の診査にはファークエーションプローブを使用する。 d × 歯周ポケット測定には歯周ポケットプローブを使用する。</p> <p><b>文献:</b> 最新歯科衛生士教本 歯周治療 44-45</p>	

問題 A		解答・解説	
105	<p>検査に必要な器材との組合せで正しいのはどれか。2つ選べ。</p> <p>a 平行測定——ノギス b 咬合音検査——聴診器 c チェックバイト——咬合器 d ゴシックアーチ描記法——記録用クレヨン</p> <p>▶keyword: 検査法、器材</p>	<p><b>解答:</b> b、d</p> <p>補綴治療では、歯の欠損部やその周囲組織を機能的・審美的・形態的に回復するため、検査などでさまざまな器材を用いる。診査補助を行ううえで、器具の準備や用途、使用方法を理解する。</p> <p>a × ブリッジの支台歯形成時などに支台歯の平行性を検査する。使用器材は平行測定ミラー、多和田式平行測定器である。 b ○ 咬合音検査は、歯の接触時に生じる補綴装置の衝突音から咬合関係の適否を検査する。使用器材は聴診器もしくは咬合音測定器である。 c × 使用器材は、咬合記録材(印象用石膏、シリコーンラバー、ワックス)、アルコールーチランプ、ワックススパチュラ、エバンス、紙練板、スパチュラ、ラバーボール、石膏スパチュラであるが、咬合記録材の種類によって準備器材が異なる。 d ○ ゴシックアーチ描記法の使用器材は、ゴシックトレーサー(描記針、描記板、固定用プラスチックディスク)、記録用クレヨン、咬合器である。</p> <p><b>文献:</b> 最新歯科衛生士教本 歯科補綴 144-147 ポイントチェック⑤第4版 153-155</p>	
106	<p>全部床義歯の印象採得で使用するのどれか。2つ選べ。</p> <p>a ノギス b 個人トレー c ゴム質印象材 d パラフィンワックス</p> <p>▶keyword: 全部床義歯、印象採得</p>	<p><b>解答:</b> b、c</p> <p>全部床義歯の印象採得は既製トレーによる概形印象採得と、個人トレーを用いる精密印象採得の2回に分けられる。概形印象採得に用いる器材は、既製トレー、ユーティリティワックス、アルジネート印象材もしくはモデリングコンパウンドである。精密印象採得は、個人トレー、モデリングコンパウンドもしくは、ボーダータイプのシリコーンゴム印象で筋圧形成を行う。その後、ゴム質印象材や酸化亜鉛ユージノール印象材で精密印象を行う。</p> <p>a × 咬合採得時に用いる。 b ○ 精密印象採得に用いる。 c ○ 精密印象採得に用いる。 d × 咬合採得時に用いる。印象採得の際に使用するの、トレーの調整のためのユーティリティワックスである。</p> <p><b>文献:</b> 最新歯科衛生士教本 歯科補綴 92-95</p>	
107	<p>補綴物装着時の準備器材の組合せで誤っているのはどれか。</p> <p>a クラウン——カーポラングムポイント b ブリッジ——バイトチェッカー c 部分床義歯——コンタクトゲージ d 歯冠継続歯——レンツロ</p> <p>▶keyword: クラウン・ブリッジ、床義歯の装着</p>	<p><b>解答:</b> c</p> <p>クラウン・ブリッジの装着時の準備器材には、形態・咬合調整用器材と合着(接着)用器材がある。形態・咬合調整用としてパー、ポイント類、コンタクトゲージ、デンタルフロス、咬合紙、咬合紙ホルダーがある。合着(接着)用器材は、合着(接着)用セメント、練板、スパチュラ、フロス、スーパーフロスなどがある。</p> <p>部分床義歯の装着時の器材では、適合試験材と咬合接触検査用器材がある。適合試験材には、シリコーン材料、プレッシャーインジケータペースト(PIP)などがある。咬合接触検査用器材では、咬合紙、咬合紙ホルダー、切削用器具など(カーポラングムポイント、スチールパー、スタンパー、シリコーンポイント)、ワイヤーベンドリングプライヤーなどがある。</p> <p>a ○ b ○ c × d ○ 歯冠継続歯の場合は、装着時にレンツロを使用する。</p> <p><b>文献:</b> 最新歯科衛生士教本 歯科補綴 157-158、172-173 ポイントチェック⑤第4版 162</p>	

問題 A		解答・解説
108	<p>抜歯鉗子の写真(別冊 No. 15)を別に示す。 上顎に用いるのはどれか。2つ選べ。</p> <p>a ① b ② c ③ d ④</p>	<p><b>解答:</b> b, d</p> <p>抜歯鉗子は、歯を保持する際に、歯軸と嚙部の長軸が一致するように上顎用・下顎用に分けられている。下顎は単屈曲であるのに対し、上顎は複屈曲であり、部位に合わせた速やかな選択が求められる。</p> <p>a × 下顎前歯用である。 b ○ 上顎大白歯用である。 c × 下顎大白歯用である。 d ○ 上顎前歯用である。</p> <p><b>文献:</b> 最新歯科衛生士教本 口腔外科・歯科麻酔 142、236-237</p>
▶ keyword: 抜歯鉗子		
109	<p>歯の診査法と使用器材との組合せで正しいのはどれか。2つ選べ。</p> <p>a 電気歯髄診——電氣的根管長測定器 b 透照診——イルミネーター(透照器) c 温度診——テンポラリーストッピング d 麻酔診——インピーダンス測定装置</p>	<p><b>解答:</b> b, c</p> <p>歯髄診査には温度診、歯髄電気診、インピーダンス測定検査、歯科用コーンビームCT、麻酔診、透過(照)診などがある。</p> <p>a × 電気診は、歯髄の生死を確認する。 b ○ 歯に強い透過光を当て、隣接面う蝕、亀裂などの診査に用いる。 c ○ テンポラリーストッピングによる温熱刺激に痛みを感じるのは急性化膿性歯髄炎である。 d × 疼痛の部位が不明なときに麻酔を行って原因歯を診断する。</p> <p><b>文献:</b> 最新歯科衛生士教本 保存修復・歯内療法 8-10、125-127</p>
▶ keyword: 歯髄診査		
110	<p>静脈内鎮静法の禁忌症はどれか。2つ選べ。</p> <p>a てんかん患者 b 腸閉塞の患者 c 妊娠初期の患者 d 大豆アレルギーの患者</p>	<p><b>解答:</b> c, d</p> <p>静脈内鎮静法の禁忌症は、①妊娠初期の患者、②全く非協力的な患者、③急性狭角緑内障、④卵アレルギー、大豆アレルギーの患者である。</p> <p>a × 静脈内鎮静法の適応症である。 b × 吸入鎮静法の禁忌症である。 c ○ 静脈麻酔薬のプロポフォールは胎盤移行性があるため催奇形性の可能性があり、妊婦には使用してはいけない。 d ○ プロポフォールは添加物として卵黄レシチン、ダイズ油を使用しているため、成分に対し過敏症のある場合は使用禁忌となっている。</p> <p><b>文献:</b> 最新歯科衛生士教本 口腔外科・歯科麻酔 197-198</p>
▶ keyword: 精神鎮静法		

問題 B		解答・解説
<b>人体(歯・口腔を含む)の構造と機能</b>		
111	<p>頭蓋骨側面の写真(別冊 No. 1)を別に示す。 咬筋の停止部はどれか。</p> <p>a ① b ② c ③ d ④</p>	<p><b>解答:</b> b</p> <p>頭蓋骨外面に付着する咬筋と側頭筋の起始部・停止部を示している。咀嚼筋は下顎骨に停止する。</p> <p>a × 頬骨弓は咬筋の起始部である。 b ○ 咬筋粗面は咬筋の停止部である。 c × 筋突起は側頭筋の停止部である。 d × 側頭窩は側頭筋の起始部である。</p> <p><b>文献:</b> 最新歯科衛生士教本 口腔解剖学・口腔組織発生学・口腔生理学 37</p>
▶ keyword: 咀嚼筋、頭蓋骨		
112	<p>硬口蓋の写真(別冊 No. 2)を別に示す。 矢印に示す孔を通過するのはどれか。</p> <p>a 大口蓋神経 b 小口蓋神経 c 鼻口蓋神経 d 翼口蓋神経</p>	<p><b>解答:</b> a</p> <p>骨口蓋には大・小口蓋孔と切歯孔の3カ所の孔がある。矢印で示す孔は大口蓋孔で、大口蓋神経および大口蓋動脈・静脈が通過し、白歯部舌側歯肉と口蓋粘膜に分布する。</p> <p>a ○ 大口蓋孔を大口蓋神経が通過する。 b × 小口蓋孔を小口蓋神経が通過する。 c × 切歯孔を鼻口蓋神経が通過する。 d × 翼口蓋神経は翼口蓋窩内で上顎神経から分岐する。</p> <p><b>文献:</b> 最新歯科衛生士教本 口腔解剖学・口腔組織発生学・口腔生理学 25、50</p>
▶ keyword: 硬口蓋、大口蓋神経		
113	<p>皮膚にある感覚終末はどれか。2つ選べ。</p> <p>a ニッスル小体 b ハッザル小体 c マイスナー小体 d ファーター・パチニ小体</p>	<p><b>解答:</b> c, d</p> <p>皮膚に存在する感覚終末について理解する。皮膚は、外部環境と直接接しているため感覚器として非常に重要である。</p> <p>a × 神経細胞の細胞体に含まれる構造物である。光学顕微鏡では好塩基性に染まるが、電子顕微鏡では重積した粗面小胞体とポリゾーム(リボゾームが凝集したもの)に相当する。 b × 胸腺髄質にある最も特徴的な構造である。細胞が同心円状に重なり合った構造をする。 c ○ 識別性触覚(触覚で対象物を識別する)を感受する感覚器で、主に指腹や手掌の真皮乳頭に存在する。 d ○ 圧迫、接触、振動を感知する感覚器。主に手指や胸部の皮膚の真皮や皮下組織に存在する。</p> <p><b>文献:</b> 最新歯科衛生士教本 解剖学・組織発生学・生理学 196-198</p>
▶ keyword: 皮膚感覚、ファーター・パチニ小体、マイスナー小体		
114	<p>アミノ酸の代謝について□に入る用語で正しいのはどれか。 アミノ酸から①反応によって生成したアンモニアは毒性が高いため、肝臓の②回路によって無毒化される。</p> <p>①                      ②</p> <p>a アミノ基転移      クエン酸 b アミノ基転移      尿素 c 酸化的脱アミノ      クエン酸 d 酸化的脱アミノ      尿素</p>	<p><b>解答:</b> d</p> <p>アミノ酸から酸化的脱アミノ反応によって生成したアンモニアは毒性が高いため、肝臓の尿素回路によって無毒化され、尿中に排泄される。</p> <p>a × b × c × d ○</p> <p><b>文献:</b> 最新歯科衛生士教本 栄養と代謝 38-39 新歯科衛生士教本 栄養指導・生化学 189</p>
▶ keyword: アミノ酸代謝、酸化的脱アミノ反応、尿素回路		

問題 B		解答・解説	
115	<p>エナメル質の無機成分で表層の濃度が内部よりも高いのはどれか。</p> <p>a 銅 b フッ素 c マグネシウム d ストロンチウム</p> <p>▶ keyword : エナメル質、無機成分</p>	<p><b>解答 : b</b></p> <p>歯の無機成分であるヒドロキシアパタイトにはカルシウムやリン以外の無機質が少量含まれ、無機質の種類によって異なった分布を示す。①表層の濃度が内部よりも高いもの：フッ素、鉛、亜鉛、鉄、スズ、塩素 ②表層の濃度が内部よりも低いもの：ナトリウム、マグネシウム、炭酸 ③その濃度がほぼ一様に分布しているもの：ストロンチウム、銅、アルミニウム、カリウム</p> <p>a × b ○ c × d ×</p> <p><b>文献 :</b> 最新歯科衛生士教本 栄養と代謝 59 新歯科衛生士教本 栄養指導・生化学 209</p>	
116	<p>消化器系の臓器を図に示す。</p>  <p>胆汁を生成し分泌する臓器はどれか。</p> <p>a ① b ② c ③ d ④</p> <p>▶ keyword : 肝臓</p>	<p><b>解答 : a</b></p> <p>胆汁は肝臓で生成される。胆汁の成分には胆汁酸塩、胆汁色素（ビリルビン）、コレステロールなどが含まれる。特に胆汁酸塩は脂肪を乳化し、脂肪の吸収を助ける。</p> <p>a ○ 肝臓には、胆汁生成、栄養素の代謝、解毒作用、壊血作用などがある。 b × 胃は消化酵素を含む胃液を分泌する。 c × 膵臓は消化酵素を含む膵液とホルモンを分泌する。 d × 胆嚢は肝臓で生成された胆汁を貯蔵し、濃縮する。</p> <p><b>文献 :</b> 最新歯科衛生士教本 解剖学・組織発生学・生理学 95-96、102-103</p>	
117	<p>胃酸の分泌を促進するのはどれか。</p> <p>a ストレス b セクレチン c ガストリン d エンテロガストロン</p> <p>▶ keyword : 胃、消化管ホルモン</p>	<p><b>解答 : c</b></p> <p>a × ストレスは交感神経の興奮により、胃酸の分泌を抑制する。 b × アルカリ性の膵液の分泌を促進し、小腸上部で胃からの酸を中和する。 c ○ 幽門部粘膜から分泌され、胃酸の分泌を促進する。 d × 胃酸の分泌と胃の運動を抑制する。</p> <p><b>文献 :</b> 最新歯科衛生士教本 解剖学・組織発生学・生理学 99-101</p>	

問題 B		解答・解説	
118	<p>歯と歯周組織を模式図に示す。</p>  <p>①への刺激で起こる反射はどれか。2つ選べ。</p> <p>a 開口反射 b 下顎張反射 c 反射性嚥下 d 歯根膜咀嚼筋（閉口筋）反射</p> <p>▶ keyword : 開口反射</p>	<p><b>解答 : a, d</b></p> <p>①は歯根膜を示す。開口反射は、三叉神経が感覚を支配する領域への刺激によって開口が起こる反射である。</p> <p>a ○ 歯根膜を含む口腔領域への強い触圧刺激や痛み刺激に対して、閉口筋の抑制と開口筋の収縮が起こる。 b × 閉口筋が伸張して筋紡錘が刺激されると、閉口筋の収縮が起こる。 c × 食塊が咽頭に入り、咽頭粘膜を刺激すると反射的に嚥下が誘発される。 d ○ 歯への力が加わり、歯根膜が刺激されると閉口筋が収縮する。</p> <p><b>文献 :</b> 最新歯科衛生士教本 口腔解剖学・口腔組織発生学・口腔生理学 93-96</p>	
<b>疾病の成り立ち及び回復過程の促進</b>			
119	<p>唾石が多くみられるのはどれか。</p> <p>a 耳下腺 b 顎下腺 c 舌下腺 d 口蓋腺</p> <p>▶ keyword : 唾石、唾石症、唾液腺、顎下腺</p>	<p><b>解答 : b</b></p> <p>唾石はほとんどが顎下腺に発生する。顎下腺は唾液が粘稠で、唾液の通り道の導管が長く、屈曲していて唾液が停滞しやすい。排泄管内に多く形成され、食事時の唾液腺の腫脹や疼痛（唾仙痛）がみられることがある。</p> <p>a × b ○ c × d ×</p> <p><b>文献 :</b> 新歯科衛生士教本 病理学 第2版 223</p>	
120	<p>急性炎症の特徴はどれか。2つ選べ。</p> <p>a 滲出 b リンパ球浸潤 c 肉芽組織の形成 d 血管透過性の亢進</p> <p>▶ keyword : 急性炎症</p>	<p><b>解答 : a, d</b></p> <p>急性炎症では滲出が著明であり、血管透過性の亢進と、好中球の浸潤が認められる。慢性炎症の特徴は増殖性炎であり、肉芽組織の形成（細胞の増生や組織の修復）が主体となる。リンパ球浸潤も免疫応答と関連して慢性炎の特徴とされる。</p> <p>a ○ 滲出は、急性炎症の特徴である。 b × リンパ球浸潤は、慢性炎症の特徴である。急性炎症では好中球の浸潤が主となる。 c × 肉芽組織の形成は、慢性炎症の特徴である。 d ○ 血管透過性の亢進は、急性炎症の特徴である。</p> <p><b>文献 :</b> 新歯科衛生士教本 病理学 第2版 50-53</p>	
121	<p>摂取不足により壊血病を生じるのはどれか。</p> <p>a ビタミン A b ビタミン B<sub>1</sub> c ビタミン C d ビタミン D</p> <p>▶ keyword : ビタミン欠乏症、壊血病</p>	<p><b>解答 : c</b></p> <p>さまざまな生理作用に関与するビタミンの不足によって起こる症状を総称してビタミン欠乏症という。</p> <p>a × ビタミン A 欠乏症として、夜盲症、角膜乾燥症などがある。 b × ビタミン B<sub>1</sub> 欠乏症として、脚気がある。 c ○ ビタミン C 欠乏症として、壊血病がある。 d × ビタミン D 欠乏症として、くる病、骨軟化症などがある。</p> <p><b>文献 :</b> 新歯科衛生士教本 病理学 第2版 6、235-236</p>	


問題 B		解答・解説	
122	<p>針刺し事故で注意すべきウイルスはどれか。2つ選べ。</p> <p>a C型肝炎ウイルス b ヒト免疫不全ウイルス c 単純ヘルペスウイルス d A型インフルエンザウイルス</p> <p>▶keyword: 院内感染、HIV、肝炎ウイルス、インフルエンザウイルス、ヘルペスウイルス</p>	<p><b>解答:</b> a、b</p> <p>歯科医療は外科的治療が主体であり、唾液や血液を介して病原性ウイルスに感染する危険が常にある。院内感染事故を防止するためには、注射針やメス、探針などの鋭利な医療器具の取扱いは十分注意するとともに、B、C型肝炎ウイルスやヒト免疫不全ウイルス（HIV）など、感染によって重大な結果を招くウイルスについての知識を身につけておくべきである。</p> <p>a○ C型およびB型肝炎ウイルスは感染力が強く、感染者の体液などから他者へ血行性に感染し、慢性肝炎、B型では急性肝炎を発症することが多い。キャリアになると将来的に肝硬変から肝臓癌へと進行する。一方A型肝炎ウイルスは汚染された食物とともに消化管経路で感染し、多くは急性肝炎を発症する。</p> <p>b○ HIVは感染力自体は肝炎ウイルスなどと比べると弱いが、感染者の体液が付着した注射針などを介して血中に移行し、ヘルパーT細胞に感染して破壊し免疫系を攪乱する。その結果ヒト免疫不全症候群（AIDS）を発症し、通常感染しないような非病原性微生物に対しても易感染性となる（日和見感染）。</p> <p>c× 歯肉口内炎や性器ヘルペスを起こす単純ヘルペスウイルスは、ほとんどの人が小児期に無症状のまま感染している（不顕性感染）。ウイルスは三叉神経節に潜伏感染し、免疫力低下時に口唇ヘルペスなどの回帰発症を起こす。</p> <p>d× インフルエンザウイルスは喉の奥（気管や気管支）の上皮細胞に付着・侵入して感染する。季節性インフルエンザ（流行性感冒）の原因ウイルスである。</p> <p><b>文献:</b> 最新歯科衛生士教本 微生物学 54-55、62-69</p>	
123	<p>滅菌操作はどれか。</p> <p>a 白金耳をバーナーで焼く。 b 手指を薬用せっけんで洗う。 c 診察台をアルコール綿で拭く。 d 器具を沸騰したお湯に浸ける。</p> <p>▶keyword: 火災滅菌法、薬剤消毒法、煮沸消毒法</p>	<p><b>解答:</b> a</p> <p>消毒とは人体に有害な病原微生物の殺滅または除去を目的とし、無菌状態の実現を意図するのではない。一方、滅菌は病原性・非病原性を問わずすべての微生物・芽胞・ウイルスを完全に殺滅または除去し無菌状態をつくる方法である。それぞれの目的を区別して理解することが大切である。</p> <p>a○ 火災滅菌法である。白金耳をバーナーで焼いて灼熱させた部分はあらゆる微生物が殺滅された無菌状態になっている。</p> <p>b× 薬剤消毒法である。</p> <p>c× アルコール消毒法は薬剤消毒法の1つである。</p> <p>d× 煮沸消毒法である。</p> <p><b>文献:</b> 最新歯科衛生士教本 微生物学 157-163</p>	
124	<p>日本薬局方で規定されているのはどれか。2つ選べ。</p> <p>a 医薬品の剤形 b 処方せんの記載事項 c 医薬品を保存する容器 d 毒薬の表示および保管</p> <p>▶keyword: 日本薬局方、処方せん、薬事法、医薬品、毒薬</p>	<p><b>解答:</b> a、c</p> <p>日本薬局方は、医薬品の性状および品質の適正をはかるために定められた規格基準書である。医薬品の剤形、保存容器、貯蔵温度などが規定されている。</p> <p>a○</p> <p>b× 処方せんの記載事項は医師法および歯科医師法で規定されている。</p> <p>c○</p> <p>d× 毒薬、劇薬の表示および保管については薬事法で規定されている。</p> <p><b>文献:</b> 最新歯科衛生士教本 薬理学 8-9 新歯科衛生士教本 薬理学 57-61、64-65</p>	

問題 B		解答・解説	
125	<p>中枢神経系に作用する薬物と薬物分類との組合せで正しいのはどれか。</p> <p>a セボフルラン——抗うつ薬 b ジアゼパム——吸入麻酔薬 c イミプラミン——静脈麻酔薬 d フェニトイン——抗てんかん薬</p> <p>▶keyword: 吸入麻酔薬、静脈麻酔薬、抗うつ薬、抗けいれん薬（抗てんかん薬）</p>	<p><b>解答:</b> d</p> <p>中枢神経作用薬の分類とそれぞれの代表的薬物を整理しておく。</p> <p>a× セボフルランは揮発性の吸入麻酔薬である。</p> <p>b× ジアゼパムはベンゾジアゼピン系抗不安薬である。抗けいれん薬としても用いられる。</p> <p>c× イミプラミンは三環系抗うつ薬である。</p> <p>d○ フェニトインは抗てんかん薬である。副作用として歯肉増殖症を起こす。</p> <p><b>文献:</b> 最新歯科衛生士教本 薬理学 37-45 新歯科衛生士教本 薬理学 106-118</p>	
126	<p>口腔乾燥を誘発する薬物はどれか。2つ選べ。</p> <p>a アトロピン b スコポラミン c ベタネコール d ネオスチグミン</p> <p>▶keyword: 口腔乾燥誘発薬物、薬の副作用、口腔乾燥症</p>	<p><b>解答:</b> a、b</p> <p>口腔乾燥を誘発する薬物を理解する。唾液分泌減少は副交感神経の働きが弱まることであり、副交感神経遮断薬は口腔乾燥症を誘発する。副交感神経作用薬は唾液分泌を促進させる。</p> <p>a○ 副交感神経遮断薬である。</p> <p>b○ 副交感神経遮断薬である。</p> <p>c× 副交感神経作用薬である。</p> <p>d× 副交感神経作用薬である。</p> <p><b>文献:</b> 最新歯科衛生士教本 薬理学 56-58</p>	
<b>歯・口腔の健康と予防に関わる人間と社会の仕組み</b>			
127	<p>う蝕活動性が高いと評価されるのはどれか。</p> <p>a 唾液の流量が多い。 b 唾液の粘稠度が高い。 c 唾液の緩衝能が高い。 d グルコースクリアランスがよい。</p> <p>▶keyword: う蝕活動性、唾液</p>	<p><b>解答:</b> b</p> <p>う蝕活動性とは新たなう蝕が発生しやすい状態か、現在あるう蝕が進行しやすい状態かのことで、微生物因子、宿主因子、環境因子の3要因に分けられる。唾液の性質によりう蝕活動性は異なる。</p> <p>a× 一定時間に分泌される唾液の量を流量という。唾液流量が多いほどう蝕活動性は低いと判定される。</p> <p>b○ 唾液の粘度を粘度計などを用いて測定する。粘稠度が高いほど、う蝕活動性は高いと判定される。</p> <p>c× 緩衝能が高いとき、口腔内で生じたり、歯表面に留まった酸がより速く中和され口腔内が安定し（歯面のpHが上昇）、う蝕活動性が低いと判定される。</p> <p>d× グルコースクリアランスは、グルコース溶液で洗口後、唾液中の残量グルコース量を測り、少ないほど自浄作用が優れ、う蝕活動性が低いと判定される。</p> <p><b>文献:</b> 最新歯科衛生士教本 保健生態学 142-144</p>	

問題 B		解答・解説
128	<p>学校で取り組むべき歯・口腔の健康づくりの課題で適切なものはどれか。</p> <p>a 小学校低学年：歯周病や口臭の原因と予防などに関する理解</p> <p>b 小学校高学年：第二大臼歯のむし歯予防と管理</p> <p>c 中学校：食事と間食の規則的な習慣づけ</p> <p>d 高等学校：食後の歯・口の清掃の習慣化と自立</p>	<p><b>解答：b</b></p> <p>文部科学省は、2005年にそれまでの「学習指導要領」を大幅に改訂し、発達段階や障害に応じた適切な指導や管理ができるように学校歯科保健参考資料「歯・口腔の健康づくり」を作成した。その中に発達段階などからみた歯・口の状況や課題、留意事項などを踏まえながら、一貫した歯・口腔の健康づくりに努めると明記している。</p> <p>a × 歯周病や口臭の原因と予防などに関する理解は中学校の課題である。中学生は永久歯の交換が終了し口腔内に対する気づきが希薄化する。それとともに歯肉炎、口臭が出現しやすく対人関係にも課題が生じやすい。</p> <p>b ○ 小学校高学年になると、第二大臼歯が萌出を開始するため、う蝕予防の管理が大切な時期となる。</p> <p>c × 食事と間食の規則的な習慣づけは幼児、小学校低学年の課題である。</p> <p>d × 食後の歯・口の清掃の習慣化と自立は小学校低学年の課題である。</p> <p><b>文献：</b>最新歯科衛生士教本 保健生態学 261-262 2011年版歯科保健指導関係資料 247-273</p>
<p>▷ keyword：学校歯科保健、歯・口腔の健康づくり、発達段階</p>		
129	<p>手用歯ブラシの刷毛部の写真（別冊 No. 3）を別に示す。</p> <p>主として①の部分による清掃を行う方法はどれか。2つ選べ。</p> <p>a パス法</p> <p>b チャーターズ法</p> <p>c スクラッピング法</p> <p>d スティルマン改良法</p>	<p><b>解答：a、c</b></p> <p>口腔清掃には、自然的清掃（自浄作用）、人工的清掃法および手術的清掃法とよばれる3種の清掃法がある。手用歯ブラシによるブラッシングは人工的清掃法に分類される。さらに、ブラッシングにはいくつかの方法があるので、各々の利点・欠点を理解したうえでブラッシング指導を行う必要がある。</p> <p>a ○ 主として毛先による清掃を行う方法である。</p> <p>b × ブラシの脇腹でのマッサージを行い、歯間部清掃をする方法である。</p> <p>c ○ 主として毛先による清掃を行う方法である。</p> <p>d × ブラシの脇腹でのマッサージを行う方法である。</p> <p><b>文献：</b>最新歯科衛生士教本 保健生態学 117-118 新歯科衛生士教本 口腔衛生学・歯科衛生統計 46</p>
<p>▷ keyword：ブラッシング法</p>		
130	<p>WHO の CPI-C プロープの写真（別冊 No. 4）を別に示す。</p> <p>歯肉縁でコード 3 と判定される計測部位はどれか。</p> <p>a ①</p> <p>b ②</p> <p>c ③</p> <p>d ④</p>	<p><b>解答：c</b></p> <p>CPI は歯周組織の健康状態を評価するための指数である。評価の際には WHO 指定のプロープを使用することになっており、正しく評価するためにその構造を正しく理解する必要がある。</p> <p>a × プロープ先端から 8.5~11.5 mm を示す。</p> <p>b × プロープ先端から 5.5~8.5 mm を示す。</p> <p>c ○ コード 3 の評価基準はポケットの深さ 4~5 mm である。③はプロープ先端から 3.5~5.5 mm を示すので、一部分がみえているはずである。</p> <p>d × プロープ先端から 0.5~3.5 mm を示す。</p> <p><b>文献：</b>最新歯科衛生士教本 保健情報統計学 52-53 新歯科衛生士教本 口腔衛生学・歯科衛生統計 191-193</p>
<p>▷ keyword：プローブ</p>		

問題 B		解答・解説																																																								
131	<p>25人の体重(kg)のデータを表に示す。</p> <p>体重区分(kg)</p> <table border="1"> <tr><td>40~44</td><td>40</td><td>41</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>45~49</td><td>45</td><td>47</td><td>49</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>50~54</td><td>51</td><td>52</td><td>54</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>55~59</td><td>56</td><td>58</td><td>58</td><td>59</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>60~64</td><td>62</td><td>62</td><td>63</td><td>64</td><td>64</td><td>64</td></tr> <tr><td>65~69</td><td>65</td><td>66</td><td>66</td><td>67</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>70~74</td><td>71</td><td>73</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>75~79</td><td>76</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </table> <p>最頻値はどれか。</p> <p>a 59</p> <p>b 62</p> <p>c 64</p> <p>d 66</p>	40~44	40	41					45~49	45	47	49				50~54	51	52	54				55~59	56	58	58	59			60~64	62	62	63	64	64	64	65~69	65	66	66	67			70~74	71	73					75~79	76						<p><b>解答：c</b></p> <p>最頻値は中心傾向度を表す代表値の1つで、各カテゴリーのうち最も頻度が高いデータをいう。</p> <p>a × 平均値である。</p> <p>b × 中央値である。</p> <p>c ○</p> <p>d × 第3四分位数である。</p> <p><b>文献：</b>最新歯科衛生士教本 保健情報統計学 91 新歯科衛生士教本 口腔衛生学・歯科衛生統計 207</p>
40~44	40	41																																																								
45~49	45	47	49																																																							
50~54	51	52	54																																																							
55~59	56	58	58	59																																																						
60~64	62	62	63	64	64	64																																																				
65~69	65	66	66	67																																																						
70~74	71	73																																																								
75~79	76																																																									
<p>▷ keyword：平均値、中央値、最頻値</p>																																																										
132	<p>歯の形成不全の全身的要因はどれか。2つ選べ。</p> <p>a 外傷</p> <p>b 炎症</p> <p>c 先天性梅毒</p> <p>d ビタミンAの不足</p>	<p><b>解答：c、d</b></p> <p>歯の形成不全（歯の構造の異常）は、エナメル質および象牙質に生じる。形成不全の程度には幅があり、その原因もさまざまである。</p> <p>a × 外部からの機械的な力が及んだ永久歯の一部分に形成異常を生じることがある。</p> <p>b × 乳歯の根尖性歯周炎によりターナーの歯という永久歯の形成異常を生じることがある。</p> <p>c ○ ハッチンソンの歯などが生じる歯の形成不全の全身的要因である。</p> <p>d ○ ビタミンA・C・Dの過不足が歯の形成不全の全身的要因となる。</p> <p><b>文献：</b>最新歯科衛生士教本 保健生態学 99-102、195 新歯科衛生士教本 口腔衛生学・歯科衛生統計 25</p>																																																								
<p>▷ keyword：エナメル質形成不全、象牙質形成不全、ターナーの歯、ハッチンソンの歯</p>																																																										
133	<p>3歳児歯科健康診査の結果の一部を図に示す。</p> <table border="1"> <tr><td rowspan="2">歯の状態</td><td></td><td>C</td><td>C</td><td>C</td><td>C</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>E</td><td>D</td><td>C</td><td>B</td><td>A</td><td>A</td><td>B</td><td>C</td><td>D</td><td>E</td></tr> <tr><td></td><td>E</td><td>D</td><td>C</td><td>B</td><td>A</td><td>A</td><td>B</td><td>C</td><td>D</td><td>E</td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>C</td><td>C</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </table> <p>適切な保健指導はどれか。2つ選べ。</p> <p>a 間食を1日1回に制限する。</p> <p>b 小児科医にも相談することを勧める。</p> <p>c キシリトール入りアメの摂取を勧める。</p> <p>d 哺乳ピンを常用していれば使用をやめさせる。</p>	歯の状態		C	C	C	C						E	D	C	B	A	A	B	C	D	E		E	D	C	B	A	A	B	C	D	E						C	C					<p><b>解答：b、d</b></p> <p>3歳児健康診査は、母子保健法により満3歳を超え満4歳に達しない幼児を対象に実施されてきた。この時期は心身発達のうえで最も大切な時期であり、口腔を含めた身体の発育、精神発達面および視聴覚障害の早期発見などを目的として総合的な診査が行われている。</p> <p>a × 幼児の間食は栄養学的に1日1回では足りないといわれ、間食回数については特に母子保健指導マニュアルにも触れられていない。</p> <p>b ○</p> <p>c × 幼児にはガムの摂取は誤嚥の可能性があり、勧められない。</p> <p>d ○</p> <p><b>文献：</b>最新歯科衛生士教本 保健生態学 248-249 新歯科衛生士教本 口腔衛生学・歯科衛生統計 143-145</p>													
歯の状態			C	C	C	C																																																				
	E	D	C	B	A	A	B	C	D	E																																																
	E	D	C	B	A	A	B	C	D	E																																																
					C	C																																																				
<p>▷ keyword：3歳児歯科健康診査、う蝕罹患型</p>																																																										

問題 B		解答・解説
134	生ワクチンの接種により獲得するのはどれか。 a 自然活動免疫 b 人工活動免疫 c 自然受動免疫 d 人工受動免疫	<b>解答：b</b> 生ワクチンは予防接種で用いる薬品の一種である。ほかに不活化ワクチン、トキソイド、血清やγグロブリンなどがある。 a × 過去の感染により抗体が体内で産生されることによるものである。 b ○ c × 胎盤や母乳を通じて、抗体そのものを外部から獲得するものである。 d × 免疫抗体を含む血清、またはγグロブリンの注射によって得られるものである。  <b>文献：</b> 最新歯科衛生士教本 保健生態学 62 新歯科衛生士教本 衛生学・公衆衛生学 70-71
	▶ keyword：後天性免疫	
135	1人の女子が一生の間に生む平均子ども数を表すのはどれか。 a 粗出生率 b 総再生産率 c 純再生産率 d 合計特殊出生率	<b>解答：d</b> 出生は人口の増減に直接反映されるが、より長期的な人口の増減傾向を表す指標として再生産率がある。ほかにも出生に関する指標がある。 a × 人口千人あたりの1年間の出生数として表す母子保健の基本的指標である。 b × 1人の女子が一生の間に生む平均女児数を表している。 c × 総再生産率に母親の世代の死亡率を考慮に入れた場合の1人の女子が一生の間に生む平均女児数を表している。 d ○  <b>文献：</b> 最新歯科衛生士教本 保健生態学 25-26 新歯科衛生士教本 衛生学・公衆衛生学 21-23
	▶ keyword：粗出生率、合成特殊出生率	
136	保健所の業務はどれか。 a 要介護者の認定 b 身体障害者の認定 c 母子健康手帳の交付 d 人口動態に関する事務	<b>解答：d</b> 保健所は地域保健に関する情報収集・調査研究、企画調整・指導と市町村間の連絡調整、市町村に対する技術的援助を行う、中核的・拠点的な機関となる。また、地域における健康危機管理の拠点としての機能も加えられた。 a × 市町村などが設置した介護認定審査会が行う。 b × 県や市町村などの障害福祉課を窓口として、指定を受けた医師の診断書を用いて身体障害者の認定を行う。 c × 母子健康手帳は、母子保健法に基づき、市町村長に妊娠の届出をし、市町村から交付される。 d ○  <b>文献：</b> 最新歯科衛生士教本 保健生態学 218-219 新歯科衛生士教本 衛生学・公衆衛生学 101-102
	▶ keyword：保健所、介護保険	
137	光化学スモッグの発生に関与するのはどれか。 a 一酸化炭素 b 二酸化炭素 c 二酸化窒素 d 三酸化硫黄	<b>解答：c</b> 一次汚染物の窒素酸化物や炭化水素に紫外線が作用し、光化学オキシダントが二次的に生成され、光化学スモッグが発生する。 a × b × c ○ 一酸化窒素とともに光化学スモッグの発生に関与する。 d ×  <b>文献：</b> 最新歯科衛生士教本 保健生態学 38
	▶ keyword：光化学スモッグ、窒素酸化物	

問題 B		解答・解説
138	垂直感染するのはどれか。 a 結核 b 風疹 c 百日咳 d インフルエンザ	<b>解答：b</b> 垂直感染とは母子感染のことで、風疹は母親から胎盤を経由して感染する。ほかに、トキソプラズマ、梅毒、B型肝炎、HIVなどがある。 a × 飛沫感染である。 b ○ c × 飛沫感染である。 d × 飛沫感染である。  <b>文献：</b> 最新歯科衛生士教本 保健生態学 61
	▶ keyword：感染経路、垂直感染	
139	学校保健の保健管理に含まれるのはどれか。 a 定期健康診断 b 保健体育授業 c 生徒会保健活動 d 保健室での個別指導	<b>解答：a</b> 学校保健の保健管理には健康診断をはじめとする対人管理と、学校環境の管理を含む対物管理がある。そのほかに保健教育、組織活動の3つの柱から学校保健が推進される。 a ○ 定期健康診断と事後措置がある。 b × 保健教育の保健学習に含まれる。 c × 保健教育の保健指導に含まれる。 d × 保健教育の保健指導に含まれる。  <b>文献：</b> 最新歯科衛生士教本 保健生態学 259
	▶ keyword：保健管理、定期健康診断	
140	産業廃棄物の処理に関するマニフェスト制度（産業廃棄物管理票）を図に示す。  ①はどれか。 a 市町村 b 排出業者 c 処分業者 d 収集・運搬業者	<b>解答：b</b> 感染性廃棄物は自ら処理するか、特別管理産業廃棄物を処分する業者に委託して処理しなければならない。処理業者に委託して処理する場合、運搬から最終処分まで廃棄物処理の流れを把握し、確実に行われたことをマニフェスト制度により確認しなければならない。 a × 市町村は一般廃棄物処理の責任者である。 b ○ c × ③である。 d × ②である。  <b>文献：</b> 最新歯科衛生士教本 保健生態学 57-58 新歯科衛生士教本 衛生学・公衆衛生学 44
	▶ keyword：産業廃棄物、マニフェスト（産業廃棄物管理票）	

問題 B		解答・解説	
141	<p>医薬部外品を規定しているのはどれか。</p> <p>a 薬事法 b 医療法 c 健康増進法 d 食品衛生法</p> <p>▷ keyword : 医薬部外品、薬事法</p>	<p><b>解答:</b> a</p> <p>医薬部外品とは不快感や口臭、体臭、あせも、ただれ、脱毛などの防止や育毛、除毛に使用されるもの、もしくは、人や動物の保健のためにハエや蚊などの生物の防除に使用されるもので機械器具などでないもの、人、動物の疾病の診断、治療、予防、およびその身体の構造または機能に影響を及ぼすことが目的とされているもので厚生労働大臣が指定した人体に対する作用が緩和なものをいう。薬用歯磨剤や洗口剤は医薬部外品である。医薬部外品は医薬品、化粧品、医療機器とともに薬事法で規定されている。</p> <p>a○ 薬事法ではそのほかに薬局や医薬品の製造販売などについても規定している。</p> <p>b× 医療法は医療提供の理念、病院や診療所などの開設と管理、病院や診療所の広告、医療提供施設に関する事項、医療安全の確保と医療安全支援センターなどについて、医療を受ける者の利益の保護と良質で効率的な医療提供の体制の確保について規定している。</p> <p>c× 健康増進法は、健康寿命の延伸と生活の質の向上のため国民の健康増進を総合的に推進するため、健康日本 21 の法的根拠として基本事項を定めている。</p> <p>d× 食品衛生法は食品の安全性の確保のため、食品、添加物、天然香料、器具、容器包装などについて規定している。</p> <p><b>文献:</b> 最新歯科衛生士教本 歯科衛生士と法律・制度 第2版 74-76 歯科衛生士のための衛生行政・社会福祉・社会保険 第7版 38-39</p>	
142	<p>脂肪エネルギー比率（目標量）について正しいのはどれか。2つ選べ。</p> <p>a 授乳婦では付加量が策定されている。</p> <p>b 青少年では20%以上30%未満である。</p> <p>c 同年齢では男性のほうが女性よりも高い。</p> <p>d 30歳女性では20%以上25%未満である。</p> <p>▷ keyword : 脂肪エネルギー比率</p>	<p><b>解答:</b> b, d</p> <p>食事摂取基準では、脂質の適正摂取量を、重さではなく、脂肪エネルギー比率（脂質からの摂取エネルギーが総摂取エネルギーに占める割合）で表す。</p> <p>a× 妊婦と授乳婦では付加量が策定されていない。</p> <p>b○ 青少年の適正脂肪エネルギー比率は20%以上30%未満である。</p> <p>c× 同年齢では男性と女性は同じ比率である。</p> <p>d○ 成人の適正脂肪エネルギー比率は20%以上25%未満（18歳～29歳の適正脂肪エネルギー比率は20%以上30%未満）である。</p> <p><b>文献:</b> 最新歯科衛生士教本 栄養と代謝 132 新歯科衛生士教本 栄養指導・生化学 32</p>	
143	<p>アミノ酸スコアの算定基準に用いられるアミノ酸はどれか。2つ選べ。</p> <p>a リジン b ロイシン c グリシン d アラニン</p> <p>▷ keyword : アミノ酸スコア</p>	<p><b>解答:</b> a, b</p> <p>アミノ酸スコアは、基準とする必須アミノ酸パターンと各食品タンパク質中の必須アミノ酸の比率を比較するタンパク質の栄養評価方法で、化学的評価方法ともよばれている。そのため、選択肢から必須アミノ酸を選択すればよい。なお、ヒトでは次の9種類が必須アミノ酸である。メチオニン、フェニルアラニン、リジン、ヒスチジン、トリプトファン、イソロイシン、ロイシン、バリン、スレオニン（トレオニンともいう）。</p> <p>a○ リジンは必須アミノ酸である。</p> <p>b○ ロイシンは必須アミノ酸である。</p> <p>c× グリシンは必須アミノ酸ではない。</p> <p>d× アラニンは必須アミノ酸ではない。</p> <p><b>文献:</b> 最新歯科衛生士教本 栄養と代謝 146 新歯科衛生士教本 栄養指導・生化学 55</p>	

問題 B		解答・解説	
144	<p>葉酸の欠乏症はどれか。2つ選べ。</p> <p>a ベラグラ b 血液凝固不全 c 巨赤芽球性貧血 d 神経管閉鎖障害</p> <p>▷ keyword : 葉酸、欠乏症</p>	<p><b>解答:</b> c, d</p> <p>葉酸は、肝臓やモロヘイヤ、ほうれん草、ブロッコリーなどの緑黄色野菜に多く含まれる水溶性ビタミンである。緑の葉に多く含まれるため、この名がついた。</p> <p>a× ベラグラはナイアシンの欠乏症である。</p> <p>b× 血液凝固不全はビタミンKの欠乏症である。</p> <p>c○ 葉酸が欠乏すると巨赤芽球性貧血を引き起こす。</p> <p>d○ 葉酸が妊娠初期に欠乏すると、新生児の神経管閉鎖障害を引き起こす危険性がある。</p> <p><b>文献:</b> 最新歯科衛生士教本 栄養と代謝 158 新歯科衛生士教本 栄養指導・生化学 67</p>	
<b>歯科衛生士概論</b>			
145	<p>医療面接で得られる情報とその内容との組合せで正しいのはどれか。2つ選べ。</p> <p>a 主訴——かむと上顎右側大白歯部に痛みがある</p> <p>b 現病歴——糖尿病の治療中である</p> <p>c 既往歴——3年前に虫歯炎の手術をした</p> <p>d 家族歴——娘から口が臭いと言われた</p> <p>▷ keyword : 医療面接、問診、情報収集</p>	<p><b>解答:</b> a, c</p> <p>医療面接で主訴や来院の動機、全身状態のさまざまな情報を得る。特に主訴や病歴は、患者の状態把握においてきわめて重要である。</p> <p>a○ 主訴とは、患者が訴える症状で、最も主要なものである。自覚症状がほとんどであるが、他覚症状も含まれる。</p> <p>b× 現病歴とは、主訴に関連した症状の現時点までの経過をさす。現在治療中のものも、健康状態に関することは既往歴に含まれる。</p> <p>c○ 既往歴とは、過去における健康状態のことである。</p> <p>d× 家族歴とは、家族および近親者の健康状態に関する情報である。「娘から口が臭いと言われた」は、主訴にあたる。</p> <p><b>文献:</b> 最新歯科衛生士教本 歯科予防処置論・歯科保健指導論 78-81</p>	
<b>臨床歯科医学</b>			
146	<p>検査結果が波形や数値で表されるのはどれか。2つ選べ。</p> <p>a 超音波検査 b 肺機能検査 c 心電図検査 d エックス線検査</p> <p>▷ keyword : 画像検査、生理検査</p>	<p><b>解答:</b> b, c</p> <p>a× 検査装置の探触子（プローブ）から超音波を発生させ身体内部に向けて入射すると、音波は組織の密度に応じ反射波（エコー）として跳ね返ってくる。これを画像化したものである。</p> <p>b○ 検査装置についているマウスピースをくわえて息を吐き出すと、スパイログラム（呼吸運動曲線）が描かれるとともに、吐き出した空気の総量や予備吸気量、一回換気量、予備呼気量などの各分画量が計測される。</p> <p>c○ 心臓の筋肉の運動（収縮、拡張）の際、生じる電流の電位を波形にしたものである。</p> <p>d× エックス線の透過度を利用しフィルム上に感光した画像を写し出したものである。</p> <p><b>文献:</b> 最新歯科衛生士教本 臨床検査 5-8、18-23</p>	

問題 B		解答・解説	
147	<p>エックス線管内にあるのはどれか。2つ選べ。</p> <p>a ターゲット b フィルター c フィラメント d コーン（照射筒）</p>	<p><b>解答</b>：a、c</p> <p>エックス線管内には、陰極にフィラメント、陽極にターゲットがある。コーンやフィルターは、エックス線撮影装置内にあるが、エックス線管内にはない。</p> <p>a○ ターゲットはエックス線管内にあり、ターゲットに熱電子が衝突し、エックス線が発生する。</p> <p>b× フィルターは画像形成に関係のないエックス線（透過力の弱いエックス線）を除去するためにエックス線撮影装置についている。エックス線管内にはない。</p> <p>c○ フィラメントはエックス線管内にあり、ここで電子を発生させる。</p> <p>d× コーン（照射筒）はエックス線撮影装置についている。不必要なエックス線を遮蔽する。エックス線管内にはない。</p>	<p><b>keyword</b>：エックス線管</p>
148	<p>22歳の女性。上顎左側中切歯の審美障害を主訴として来院した。萌出時には問題なかったが、3年前に貧血で転倒してその後次第に変色が強くなってきたという。初診時の口腔内写真（別冊 No. 5）を別に示す。変色の原因はどれか。</p> <p>a う蝕 b 歯髄失活 c 金属成分の浸透 d テトラサイクリンの長期服用</p>	<p><b>解答</b>：b</p> <p>歯の変色症の原因は、局所的・全身的なもの、あるいは先天的・後天的のものと分類される。診断には、現病歴や既往歴に加えエックス線検査結果などが必要である。また、鑑別のポイントとして患歯が少数歯であるか多数歯であるかが重要である。</p> <p>a× う蝕は歯冠部全体に均等な変色が及ぶことはない。</p> <p>b○ 失活歯の場合は、外傷に伴う血液成分の象牙細管内への侵入などが原因となって歯冠部全体の変色を呈する。</p> <p>c× アマルガムなどの修復物からの金属イオンが象牙細管内に浸透すると、局所的な変色を呈する。</p> <p>d× 抗菌薬であるテトラサイクリンは、長期間服用することによってリン酸カルシウムと結合する。したがって、変色歯は歯胚形成が同時期である多数歯にわたって出現する。</p>	<p><b>keyword</b>：硬組織疾患、変色歯</p>
149	<p>歯の切削に際して患者、術者、歯科診療補助者が網膜防護のためゴーグルを着用すべきなのはどれか。</p> <p>a スチールバー使用時 b マージントリマー使用時 c Er：YAG レーザー使用時 d ダイヤモンドポイント使用時</p>	<p><b>解答</b>：c</p> <p>レーザーは、硬組織に対してはう蝕除去や切削、軟組織に対しては切除や切開、止血など歯科臨床においても多方面に応用されている。特徴としてエネルギー密度がきわめて高い光であることがあげられ、使用にあたっては安全管理に十分な注意を必要とする。</p> <p>a× スチールバーは削片を生じるが、適切なバキューム操作によって排除を行うことが可能である。</p> <p>b× マージントリマーは手用切削器具であるために、ゴーグルを要するほどの削片は生じない。</p> <p>c○ Er：YAG レーザーは熱的損傷を抑えつつ歯を切削することが可能であるが、眼の保護のために防護ゴーグルを併用する。</p> <p>d× ダイヤモンドポイントは削片を生じるが、適切なバキューム操作によって排除を行うことが可能である。</p>	<p><b>keyword</b>：歯科用レーザー、歯の切削</p>

**文献**：最新歯科衛生士教本 歯科放射線 15-23  
ポイントチェック③第4版 10-13

**文献**：最新歯科衛生士教本 保存修復・歯内療法 18-19

**文献**：最新歯科衛生士教本 保存修復・歯内療法 33

問題 B		解答・解説	
150	<p>根管治療予定の患歯にラバーダム防湿を行った写真（別冊 No. 6）を別に示す。次に行う処置はどれか。</p> <p>a 根管清掃 b 根管拡大 c 仮封除去 d 患歯の消毒・清拭</p>	<p><b>解答</b>：d</p> <p>写真はラバーダム装着後である。この後、患歯を中心に消毒薬の塗布、清拭を行って、仮封材を除去する。消毒にはヨードチンキが使用され、アルコールによる清拭の順に行うのが一般的である。</p> <p>a× 根管内に器具や薬液を入れる操作は、仮封の除去後に行う。</p> <p>b× 拡大操作も仮封除去後に行われる。</p> <p>c× 患歯周囲の消毒、清拭後に仮封除去を行う。</p> <p>d○ ラバーダム装着後に、患歯と周囲のラバーシートを消毒する。</p>	<p><b>keyword</b>：ラバーダム防湿、患歯の消毒</p>
151	<p>永久歯の根管充填材の所用性質はどれか。2つ選べ。</p> <p>a 吸収性を有する。 b 組織親和性を有する。 c エックス線透過性である。 d 必要に応じて除去可能である。</p>	<p><b>解答</b>：b、d</p> <p>根管充填材は物理的な材質としての要求と、生物学的な条件も満たしている必要がある。</p> <p>a× 永久歯では構造が緻密で、非吸収性であることが望まれる。</p> <p>b○ 根尖部は生体と接するため、組織親和性は重要である。</p> <p>c× エックス線不透過性で、充填状態が確認できることが必要である。</p> <p>d○ 再根管治療の場合、除去が必要となる。</p>	<p><b>keyword</b>：根管充填材、所用性質</p>
152	<p>処置と薬剤との組合せで正しいのはどれか。2つ選べ。</p> <p>a 根管充填——フェノールカンフル b 歯髄切離——水酸化カルシウム製剤 c 間接覆髄——酸化亜鉛ユージンオール製剤 d 無機質溶解——次亜塩素酸ナトリウム溶液</p>	<p><b>解答</b>：b、c</p> <p>歯内療法においては、目的に応じてさまざまな薬剤を使用する。</p> <p>a× 根管充填には、ガッタパーチャを軸として、酸化亜鉛ユージンオール製剤、レジジン製剤などを使用する。フェノールカンフルは歯髄鎮静・消炎剤として用いる。</p> <p>b○ 歯髄切離には水酸化カルシウム製剤を用いるのが一般的である。</p> <p>c○ 間接覆髄には、酸化亜鉛ユージンオールや水酸化カルシウム製剤を使用する。</p> <p>d× 無機質溶解には、EDTA 製剤を使用する。次亜塩素酸ナトリウム溶液は有機質溶解剤である。</p>	<p><b>keyword</b>：歯内療法、使用薬剤</p>
153	<p>プロービングについて正しいのはどれか。2つ選べ。</p> <p>a 出血がある場合は行わない。 b 歯根面の形態を触知できる。 c ウォーキングプロービングで行う。 d プロービング圧は 50~100 g である。</p>	<p><b>解答</b>：b、c</p> <p>プロービングによる診査とその方法について理解する。</p> <p>a× プロービング時の出血も記録して炎症の有無の指標とする。</p> <p>b○</p> <p>c○</p> <p>d× プロービング圧は 20~25 g が適している。</p>	<p><b>keyword</b>：プロービング</p>

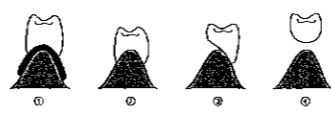
**文献**：最新歯科衛生士教本 保存修復・歯内療法 149

**文献**：最新歯科衛生士教本 保存修復・歯内療法 161-162

**文献**：最新歯科衛生士教本 保存修復・歯内療法 222-226

**文献**：最新歯科衛生士教本 歯周治療 52-55、120-123

問題 B		解答・解説	
154	<p>歯面の付着物・沈着物について正しいのはどれか。2つ選べ。</p> <p>a ペリクルは唾液の糖タンパク由来である。</p> <p>b 歯石はブラークが石灰化したものである。</p> <p>c 色素沈着はブラークに沈着した色素である。</p> <p>d マテリアアルバは歯ブラシでは除去できない。</p>	<p><b>解答:</b> a、b</p> <p>歯面の付着物・沈着物の種類、性状について理解する。</p> <p>a ○</p> <p>b ○</p> <p>c × 色素沈着はペリクルに沈着した食物や嗜好品の色素である。</p> <p>d × マテリアアルバは剝離した上皮、白血球、細菌、唾液などを含み、歯ブラシで除去できる。</p>	<p><b>文献:</b> 最新歯科衛生士教本 歯周治療 27-30 最新歯科衛生士教本 歯科予防処置論・歯科保健指導論 21-23</p>
▶ keyword: 歯面の付着物・沈着物			
155	<p>印象採得後の写真(別冊 No. 7)を別に示す。</p> <p>正しいのはどれか。</p> <p>a 既製トレー——連合印象</p> <p>b 個人トレー——シリコン印象</p> <p>c 既製トレー——アルジネート印象</p> <p>d 個人トレー——モデリングコンパウンド印象</p>	<p><b>解答:</b> a</p> <p>写真の印象採得は、既製トレーを用い、パテ状印象材で一次印象採得後にラバー系印象材にて二次印象を行ったものである。</p> <p>a ○</p> <p>b ×</p> <p>c ×</p> <p>d ×</p>	<p><b>文献:</b> 最新歯科衛生士教本 歯科補綴 79、95、120</p>
▶ keyword: 印象方法			
156	<p>総義歯製作における咬合高径の決定に下顎安静位を利用することにした。下顎安静位での鼻下点-オトガイ点間距離が65mmであった。</p> <p>この患者における咬合高径で適切なのはどれか。</p> <p>a 55mm</p> <p>b 62mm</p> <p>c 65mm</p> <p>d 68mm</p>	<p><b>解答:</b> b</p> <p>咬合高径の決定には、形態的根拠に基づく方法と機能的根拠に基づく方法がある。下顎安静位を用いる方法が比較的好く用いられている。これは、下顎安静位における鼻下点とオトガイ点間の距離を測定し、その値から安静空隙量(2~3mm)を引いた値を咬合高径とする方法である。</p> <p>a × 下顎安静位における鼻下点-オトガイ点間距離から考えて、低すぎる。</p> <p>b ○ 鼻下点-オトガイ点間距離から安静空隙量(2~3mm)を引いた値である。</p> <p>c × 下顎安静位と同じ値であり、安静空隙量を引いていない。</p> <p>d × 下顎安静位より高い値である。</p>	<p><b>文献:</b> 最新歯科衛生士教本 歯科補綴 96</p>
▶ keyword: 垂直的顎間関係、咬合高径、下顎安静位、安静空隙			

問題 B		解答・解説	
157	<p>ポンティックを模式図に示す。</p>  <p>可撤性ブリッジに適しているのはどれか。2つ選べ。</p> <p>a ①</p> <p>b ②</p> <p>c ③</p> <p>d ④</p>	<p><b>解答:</b> a、b</p> <p>ポンティックとは欠損部を補う人工歯のことであり、天然歯に類似した形態をしている。ポンティックに求められる要件としては、機能と審美性を回復することのほかに、十分な強度を有すること、清掃性に優れること、違和感が少ないことなどがあげられる。これらすべての要件を満足させることは難しいため、臨床では使用部位や症例に応じて使い分けられている。</p> <p>a ○ 有床型ポンティックである。欠損部の吸収が著明な症例に応用される。自浄性や清掃性に劣るので、可撤性のブリッジとすることが必須である。</p> <p>b ○ 鞍状型ポンティックである。馬の背に載せる鞍のような形をしているのでこうよばれる。天然歯の歯冠と類似した形態のため違和感は少ないが、自浄性や清掃性に劣るので固定性のブリッジでは使用できない。</p> <p>c × 偏側型ポンティックである。基底面が欠損部粘膜の唇側あるいは頬側の歯頸部だけに接触し、舌側は徐々に粘膜から離れていく形態の半自浄型ポンティックである。審美性には優れるが違和感があり、清掃性もそれほどよくない。</p> <p>d × 離床型ポンティックである。基底面が欠損部粘膜から完全に離れている形態のポンティックで、清掃に優れ衛生的であるが、天然歯とはかなり異なる形態であるため違和感が強く審美性に劣る。下顎臼歯部に応用される。</p>	<p><b>文献:</b> 最新歯科衛生士教本 歯科補綴 49-51</p>
▶ keyword: ブリッジ、ポンティック			
158	<p>バランスドオクルージョンについて正しいのはどれか。</p> <p>a 天然歯列に多い。</p> <p>b 側方運動時の筋活動量が小さい。</p> <p>c 側方運動時に非作業側の歯が接触する。</p> <p>d 歯冠補綴処置において幅広く使用される。</p>	<p><b>解答:</b> c</p> <p>バランスドオクルージョンとは、側方運動時に作業側の歯だけではなく非作業側の歯も接触滑走している咬合様式である。特に全部床義歯において推奨されている。側方運動時に非作業側の人工歯が接触することで、作業側の人工歯の接触滑走による義歯の浮き上がり防止でき、義歯の安定に寄与するとされる。</p> <p>a × 天然歯列に多いのはグループファンクションである。</p> <p>b × 側方運動時の筋活動量が小さくなるのはカスピッドプロテクトドオクルージョン(犬歯誘導咬合)である。</p> <p>c ○ 全部床義歯において推奨されている咬合様式で、側方運動時に非作業側の歯も接触滑走し、義歯の安定に寄与する。</p> <p>d × 歯冠補綴処置において幅広く使用されているのはグループファンクションである。</p>	<p><b>文献:</b> 最新歯科衛生士教本 歯科補綴 18-20</p>
▶ keyword: 咬合様式、バランスドオクルージョン、咬合接触			
159	<p>顔面神経麻痺の特徴はどれか。</p> <p>a 味覚障害を生じる。</p> <p>b 鼻唇溝が消失する。</p> <p>c 電撃様の痛みを伴う。</p> <p>d ほとんどが両側性である。</p>	<p><b>解答:</b> b</p> <p>顔面神経麻痺は運動神経の伝達障害で、末梢性顔面神経麻痺では額のシワ形成不全、麻痺性兔眼、ベル症状、鼻唇溝の消失、口角下垂などが現れる。顔面神経麻痺のほとんどは片側性に出現し、耳痛、涙腺分泌障害、聴覚障害が現れることがある。治療は、副腎皮質ホルモン薬、ビタミンB複合薬などの薬物療法を行う。</p> <p>a ×</p> <p>b ○</p> <p>c ×</p> <p>d ×</p>	<p><b>文献:</b> 最新歯科衛生士教本 口腔外科・歯科麻酔 127-128</p>
▶ keyword: 顔面神経麻痺			

問題 B		解答・解説	
160	<p>口腔がんの進展度を用いるのはどれか。</p> <p>a TNM 分類 b FAB 分類 c Le Fort の分類 d Angle の分類</p> <p>▶keyword: 口腔がん、TNM 分類</p>	<p><b>解答: a</b></p> <p>口腔がんの進展度は国際がん連合 (UICC) による TNM 分類により 3 つの構成要素の評価に基づいて病変の解剖学的進展度で記述する。T は原発腫瘍の広がり、N は所属リンパ節転移の有無と広がり、M は遠隔転移の有無を表す。</p> <p>a ○ b × FAB 分類は白血病の病型分類である。 c × Le Fort の分類は上顎骨体骨折の分類である。上顎骨骨折は解剖学的な構造上から骨折の発生しやすい部位が決まっています、これにより分類される。 d × Angle の分類は不正咬合の分類で、I 級、II 級 (1 類、2 類)、III 級に分類される。</p> <p><b>文献: 最新歯科衛生士教本 口腔外科・歯科麻酔 106</b></p>	
161	<p>吸入鎮静器のポンペで正しいのはどれか。2 つ選べ。</p> <p>a 酸素ポンペは全体が黒色である。 b 亜酸化窒素ポンペは上半部が青色である。 c 酸素ポンペは内容量がある限り内圧は一定である。 d 亜酸化窒素ポンペはポンペ内容量とポンペ内圧が比例する。</p> <p>▶keyword: 吸入鎮静器</p>	<p><b>解答: a、b</b></p> <p>精神鎮静法に用いる吸入鎮静器のポンペについて理解する。</p> <p>a ○ b ○ 亜酸化窒素ポンペは上半部が青色、下半分が灰色の 2 色である。 c × 酸素ポンペはポンペ内容量とポンペ内圧は比例する。 d × 亜酸化窒素ポンペはポンペ内に容量がある限り、ポンペ内圧は一定である。</p> <p><b>文献: 最新歯科衛生士教本 口腔外科・歯科麻酔 194-195</b></p>	
162	<p>機能的矯正装置はどれか。2 つ選べ。</p> <p>a 急速拡大装置 b 舌側弧線装置 c リップバンパー d アクチバートル</p> <p>▶keyword: 機能的矯正装置</p>	<p><b>解答: c、d</b></p> <p>機能的矯正装置とは、口腔周囲筋の機能力と装置を介して矯正力として利用し、歯や顎の移動を行う矯正装置である。</p> <p>a × b × c ○ 下唇圧を利用した機能的矯正装置である。 d ○ 構成咬合位による筋の機能力を応用したものである。</p> <p><b>文献: 最新歯科衛生士教本 歯科矯正 70-73 新歯科衛生士教本 歯科矯正学 70-73</b></p>	
163	<p>母指吸引癖が原因となるのはどれか。2 つ選べ。</p> <p>a 開咬 b 過蓋咬合 c 上顎前突 d 切端咬合</p> <p>▶keyword: 不正咬合の原因、口腔習癖</p>	<p><b>解答: a、c</b></p> <p>代表的な口腔習癖と、それに起因する不正咬合に関する設問である。母指吸引癖は親指をくわえて吸引する習癖で、吸引癖のなかで最も多い。</p> <p>a ○ 母指吸引癖では、親指のあたる上下前歯に垂直的な力が加わるため開咬になる。 b × 過蓋咬合は前歯部の垂直的被蓋が大きいものであり、母指吸引癖が原因とはならない。 c ○ 母指吸引癖では、上顎前歯が唇側に押されて前方に突出したり唇側傾斜する。 d × 切端咬合は上下顎前歯が互いにその切端 (切縁) で接するものであるが、母指吸引癖が原因とはならない。</p> <p><b>文献: 最新歯科衛生士教本 歯科矯正 35 新歯科衛生士教本 歯科矯正学 38-39、45-49</b></p>	

問題 B		解答・解説	
164	<p>歯の位置異常について正しいのはどれか。2 つ選べ。</p> <p>a 転位は萌出位置が入れ替わった状態 b 捻転は長軸を中心にして回転した状態 c 高位は咬合線を越える位置をとる状態 d 移転は咬合線に達しない位置をとる状態</p> <p>▶keyword: 個々の歯の位置異常、不正咬合</p>	<p><b>解答: b、c</b></p> <p>個々の歯の位置異常には、転位、傾斜、高位、低位、捻転、移転がある。</p> <p>a × 転位は歯列弓内の正常な位置から近遠心あるいは唇 (舌) 側方向に位置が変化した状態をいう。 b ○ 捻転は歯の長軸 (歯軸) を中心に回転した状態をいう。 c ○ 高位は咬合線を越えた状態をいう。 d × 移転は隣在歯と位置が入れ替わるなど著しく位置を変えた状態をいう。</p> <p><b>文献: 最新歯科衛生士教本 歯科矯正 29 新歯科衛生士教本 歯科矯正学 30-31</b></p>	
165	<p>不正咬合の口腔内写真 (別冊 No. 8) を別に示す。</p> <p>Angle の不正咬合の分類で正しいのはどれか。</p> <p>a I 級 b II 級 1 類 c II 級 2 類 d III 級</p> <p>▶keyword: Angle の不正咬合の分類</p>	<p><b>解答: b</b></p> <p>Angle の不正咬合の分類は、口腔内写真や模型の写真から判断できるようにその定義を正確に理解しておく必要がある。Angle の不正咬合の分類は上顎歯列を基準とし、上顎第一大臼歯の位置を正しいものとして下顎歯列 (同第一大臼歯) の近遠心的咬合関係を分類したものである。</p> <p>a × Angle I 級は上下歯列弓が正常な近遠心的関係にある不正咬合である。 b ○ 写真に示す不正咬合は下顎歯列弓が上顎歯列弓に対して遠心位にあり、かつ上顎前歯が前突しているため Angle II 級 1 類に分類される。 c × Angle II 級 2 類は下顎歯列弓が上顎歯列弓に対して遠心位にあり、上顎前歯が後退しているものをいう。 d × Angle III 級は下顎歯列弓が上顎歯列弓に対して近心位にあるものをいう。</p> <p><b>文献: 最新歯科衛生士教本 歯科矯正 32 新歯科衛生士教本 歯科矯正学 33-34</b></p>	
166	<p>保険装置の写真 (別冊 No. 9) を別に示す。</p> <p>この装置はどれか。</p> <p>a 小児義歯 b クラウンループ c リンガルアーチ d ナンスのホールディングアーチ</p> <p>▶keyword: 咬合誘導、保険、保険装置の種類</p>	<p><b>解答: c</b></p> <p>写真の装置はリンガルアーチ (舌側弧線装置) で、混合歯列期において両側性の乳歯欠損の場合に用いる。</p> <p>a × 維持装置、人工歯、レジン床から構成される装置で、患児自身が取り外すことが可能な装置である。 b × 主として第一乳歯 1 歯欠損のときに用い、第二乳歯を支台歯にして乳歯用既製冠に欠損部保持のためのループ状のワイヤーをろう着した装置である。 c ○ d × 上顎に用いるもので、両側の支台歯に應用したバンドとこれにワイヤーをろう着して連結した装置である。</p> <p><b>文献: 最新歯科衛生士教本 小児歯科 84-86</b></p>	
167	<p>小児の歯の外傷で誤っているのはどれか。</p> <p>a 好発部位は上顎切歯部である。 b 男児は女児より受傷頻度が高い。 c 受傷原因は交通事故が最も多い。 d 永久歯は 7~9 歳頃に受傷することが多い。</p> <p>▶keyword: 小児期の外傷、転倒</p>	<p><b>解答: c</b></p> <p>歯の外傷は小児歯科臨床において遭遇することが多い。受傷時の状況や対応だけでなくその後の経過や後継歯への影響などについてまとめて理解する。</p> <p>a ○ 受傷好発部位は上顎乳中切歯と中切歯であり 70% 以上を占めている。 b ○ 乳歯、永久歯ともに男児は女児より受傷頻度が高い。 c × 乳歯、永久歯ともに原因としては転倒によるものが最も多い。 d ○ 乳歯は 1~3 歳、永久歯は 7~9 歳頃に受傷することが多い。</p> <p><b>文献: 最新歯科衛生士教本 小児歯科 82-84 小児歯科学 第 4 版 244-245</b></p>	

問題 B	解答・解説
<p>168 3歳の男児。健診のため口腔保健センターへ来所した。低年齢時からう蝕が認められたが号泣するためう蝕進行抑制処置のみ受けたという。口腔内写真（別冊 No. 10）を別に示す。</p> <p>保護者への指導で正しいのはどれか。2つ選べ。</p> <p>a 甘味食品を減らすように指導する。 b 小児歯科医の診療を勧める。 c 口腔清掃は保護者が先に行うように指導する。 d う蝕進行抑制処置を継続すればよいことを伝える。</p> <p>▶ keyword : 厚生労働省 3 歳児歯科健診嚙蝕患型分類、C2 型、甘味制限</p>	<p><b>解答</b> : a, b</p> <p>う蝕患型により、患児の現症を正確に判断し、予後を推測することが重要である。3歳児であるので3歳児歯科保健指導要領に基づいた指導が必要である。</p> <p>a○ う蝕患型 C2 型であるので、甘味食品を減らすように指導することは必要である。 b○ う蝕患型 C2 型の小児であるので、小児歯科医の受診を勧める。 c× 自分で磨く習慣をつけさせることが必要であり、その後に保護者が不十分な部位を手直しすることが重要である。 d× 低年齢であっても歯科治療を受けることは必要で、これ以上う蝕を拡大しないようにする。</p> <p><b>文献</b> : 最新歯科衛生士教本 小児歯科 47、170-171 2011 年版歯科保健指導関連資料 204-221</p>
<p>169 介護施設に入所している要介護高齢者に対する口腔保健指導で正しいのはどれか。</p> <p>a 患者の自主性に任せる。 b すべて歯科衛生士が行う。 c 拒否があれば拘束して行う。 d 口腔清掃の自立度に応じて介入する。</p> <p>▶ keyword : 要介護高齢者、口腔清掃の自立度</p>	<p><b>解答</b> : d</p> <p>要介護高齢者、それも介護施設利用者であれば、口腔清掃の自立度は低いと考えられる。口腔清掃の自立度を評価し、ケア介入の程度を決めなければならない。介護保険では「口腔機能維持管理加算」の算定が行われる。これは歯科衛生士が施設利用者（入居者）全員の口腔衛生と口腔機能を管理するというものである。</p> <p>a× 口腔清掃が自立している高齢者に対しては自主性を尊重するが、要介護状態である高齢者に対しては自立部分は尊重しても自主性に任せては口腔衛生の確保は難しい。 b× 日常的なケア（口腔衛生）は介護福祉士およびヘルパー（ケアワーカー）が担当するのが基本である。 c× 拒否に対しては、拒否の原因を探り、脱感作手法などを応用してケア介入する。 d○ ケア介入は、利用者本人の口腔清掃の自立度に応じて介入程度を決める。</p> <p><b>文献</b> : 最新歯科衛生士教本 歯科予防処置論・歯科保健指導論 290-293 最新歯科衛生士教本 高齢者歯科 105-118</p>
<p>170 在宅酸素療法を受けている慢性閉塞性肺疾患の高齢患者に対する歯科診療補助として適切なのはどれか。</p> <p>a 治療中は酸素を止める。 b 術中モニタリングを行う。 c 仰臥位（水平位）に保つ。 d 口腔内への注水を止める。</p> <p>▶ keyword : 術中のモニタリング、慢性閉塞性肺疾患</p>	<p><b>解答</b> : b</p> <p>慢性閉塞性肺疾患（COPD）の患者に対する歯科治療は、血中酸素濃度の低下に注意しながら行う必要がある。術中のモニタリング（SpO<sub>2</sub>モニタリング）は安全な治療を行うのに必須である。</p> <p>a× 歯科治療中も酸素吸入は必要である。 b○ 患者の状態を把握するためにモニタリングは有効である。 c× 仰臥位は呼吸に不利である。 d× 呼吸抑制のかからない方法での注水が必要である。</p> <p><b>文献</b> : 最新歯科衛生士教本 高齢者歯科 55-57</p>

問題 B	解答・解説
<p>171 口腔機能を評価する際に「タ音」と「カ音」の発音をさせる目的はどれか。</p> <p>a 嚙下圧の評価 b 舌の運動機能評価 c 口唇閉鎖機能の評価 d 鼻咽腔閉鎖機能の評価</p> <p>▶ keyword : 口腔機能の評価</p>	<p><b>解答</b> : b</p> <p>「タ音」は舌尖部の動き、「カ音」は舌根部の動きを評価する目安となっている。</p> <p>a× 嚙下圧は咽頭腔での評価が必要である。 b○ 「タ音」「カ音」は舌の運動を測定する項目である。 c× 口唇閉鎖機能は「バ音」もしくは息こらえなどで評価する。 d× 鼻咽腔閉鎖機能は鼻息鏡などで鼻腔からの漏れを測定する。</p> <p><b>文献</b> : 最新歯科衛生士教本 口腔解剖学・口腔組織発生学・口腔生理学 265-266 最新歯科衛生士教本 保健生態学 105</p>
<p>172 WHO の国際生活機能分類（ICF）について正しいのはどれか。</p> <p>a 環境因子を考慮した分類である。 b 社会的不利を中心に分類している。 c 社会への参加を制約することを目的とする。 d さまざまな病気を診断するための分類表である。</p> <p>▶ keyword : 国際生活機能分類（ICF）</p>	<p><b>解答</b> : a</p> <p>国際生活機能分類（ICF）は、人間の生活機能と障害に関して、アルファベットと数字を組み合わせた方式で分類するものであり、人間の生活機能と障害について「心身機能・構造」「活動」「参加」の3つの次元および「環境因子」などの影響を及ぼす因子で構成されており、約 1,500 項目に分類されている。これまでの国際障害者分類（ICIDH）が身体機能の障害による生活機能の障害（社会的不利）を分類するという考え方が中心であったのに対し、ICF は、環境因子という観点を加え、例えば、バリアフリーなどの環境を評価できるように構成されている。</p> <p>a○ b× 社会的不利を中心に分類されたのは ICIDH（国際障害者分類初版）である。 c× ICF では社会への活動および参加を軸として成立している。 d× さまざまな病気を診断するための分類表は ICD（国際疾病分類）である。</p> <p><b>文献</b> : 最新歯科衛生士教本 障害者歯科 1-3</p>
<p>173 知的障害児施設を規定しているのはどれか。</p> <p>a 医療法 b 児童福祉法 c 精神保健福祉法 d 身体障害者福祉法</p> <p>▶ keyword : 知的障害児施設、児童福祉法</p>	<p><b>解答</b> : b</p> <p>a× 医療施設を規定している。 b○ 17歳以下の児童が対象であり、肢体不自由児施設や自閉症施設なども規定している。18歳以上の知的障害者は知的障害者福祉法で規定された更生施設に入所または通所する。 c× 精神障害者が対象で精神障害者福祉ホームなどを規定している。 d× 18歳以上の身体障害者を対象としており、視覚障害者更正施設などを規定している。</p> <p><b>文献</b> : 最新歯科衛生士教本 障害者歯科 13</p>

## 歯科予防処置論

- 174 写真(別冊 No. 11)を別に示す。この部位に使用するグレーシートタイプキュレットの操作で正しいのはどれか。2つ選べ。
- a # 6 を使用する。  
b 作業範囲は 5~6 mm である。  
c 刃部は常に歯の豊隆にあわせて操作する。  
d ローワーシャンクを歯軸に対して 20° 傾ける。

▶ keyword: グレーシートタイプキュレット

解答: a, c

グレーシートタイプキュレットは片刃である。オフセットブレードを有していて、ローワーシャンクを歯面に平行に合わせると刃部が自動的に適正角度になるよう作られている。よって、一口腔内で特定部位専用のキュレットを使い分ける。作業範囲は 1~3 mm で、刃部は常に歯の豊隆にあわせて操作する。

# 1/2・# 3/4	前歯部
# 5/6	前歯部、小臼歯部
# 7/8・# 9/10	臼歯部頰側面・舌側面
# 11/12	臼歯部近心面
# 13/14	臼歯部遠心面

- a○ # 2 もしくは # 4 でもよい。  
b× 1~3 mm の作業範囲で歯石のある場合はある程度側方圧をかけて操作し、根面滑沢化の場合は側方圧をあまりかけずに操作する。  
c○ 歯根面や歯肉の損傷を防ぎ、歯石を取り残すことのないよう、刃部は常に歯の豊隆にあわせて操作する。  
d× 歯軸に対して約 20° 傾けて操作するのはユニバーサルタイプキュレットである。

文献: 最新歯科衛生士教本 歯科予防処置論・歯科保健指導論 154-155

- 175 インサートチップを用いた超音波振動とキャピテーション機能によるスケーリングの写真(別冊 No. 12)を別に示す。基本的操作で正しいのはどれか。2つ選べ。
- a 一点に集中させて圧をかける。  
b 除石圧は 40~80 g を基本とする。  
c 操作角度は歯面に対して 90° 前後である。  
d ストロークは垂直、斜め、水平の 3 方向で行う。

▶ keyword: 超音波スケーラー

解答: b, d

写真は超音波スケーラーのインサートチップである。超音波スケーラーは歯肉縁上の多量の歯石除去、外来性沈着物の除去などを目的に用いられる。近年では歯肉縁下のスケーリング・ルートプレーニングに対しても効果的な器具である。利点は、術者と患者の疲労が少ない、歯質削除量が少ない、洗浄効果や抗菌作用がある、先端が細くて長い形態のインサートチップにより深い歯周ポケットへの対応が可能などである。欠点は、患者の苦痛、歯石の触知が難しいなどがあげられ、誤った方法で使用すると、歯や歯周組織、修復物・補綴装置などに大きな損傷を与える。このため正しい基本操作を行わなければならない。

- a× 一点に留まらず常に移動させて用いる。  
b○ インサートチップの歯面への除石圧は 40~80 g のフェザータッチをを基本とする。  
c× インサートチップの先端は歯面に対して垂直には当てず、歯面を傷つけないように側面を使う。操作角度は 15° 前後である。  
d○ 垂直、斜め、水平の 3 方向のストロークを使い分けて用いる。

文献: 最新歯科衛生士教本 歯科予防処置論・歯科保健指導論 161-167

- 176 手用スケーラーのシャープニング時に用いる潤滑剤の目的はどれか。2つ選べ。
- a 砥石の洗浄を軽減する。  
b 摩擦による発熱を減らす。  
c 砥石表面の目詰まりを防ぐ。  
d シャープニングの時間を短縮する。

▶ keyword: シャープニング用潤滑剤

解答: b, c

スケーラーのメンテナンスは術者・患者への負担を軽減するために必須であり、習得しておかなければならない技術、知識である。

- a× 砥石の洗浄は、ブラシや超音波洗浄器でこまめに行うことが必要である。  
b○ 研磨時の発熱による刃部の損傷を防ぐ。  
c○ スケーラー研磨時の金属粒子や砥粒などが砥石表面に目詰まりすることを防ぐ。  
d× シャープニングの時間はスケーラーの摩耗状況により変化する。

文献: 最新歯科衛生士教本 歯科予防処置論・歯科保健指導論 157

- 177 シャープニングに用いる砥石と潤滑剤との組合せで正しいのはどれか。2つ選べ。
- a セラミックストーン——オイル  
b アーカンサストーン——水  
c インディアナストーン——オイル  
d ルピーストーン——水

▶ keyword: シャープニング

解答: c, d

砥石には天然砥石と人工砥石がある。いずれも金属より硬く、粒子の粗い砥石は早く砥げるので、切れ味の鈍った器具に使用する。粒子の細かい砥石は仕上げ用に用いる。潤滑剤はスケーラーから出る金属粒子などで目詰まりさせないように、また、砥石の乾燥や発熱による刃部の損傷を防ぐために用いる。

- a× 最も細かい粒子の人工石である。日常のシャープニングと仕上げ用に使用する。使用時には潤滑剤は不要もしくは水を用いる。  
b× 天然石で粒子は細かい。用途としては日常のシャープニングと仕上げ用に用いる。潤滑剤としてオイルを用いる。  
c○ 粗めの粒子の砥石である。切れ味が鈍くなった器具の形態修正に用いる。潤滑剤としてオイルを用いる。  
d○ 粗めの粒子の人工石である。切れ味が鈍くなった器具の形態修正に用いる。潤滑剤には水を用いる。

文献: 最新歯科衛生士教本 歯科予防処置論・歯科保健指導論 155

- 178 プロフェッショナルトゥースクリーニング(PTC)の目的で誤っているのはどれか。
- a 歯根面の滑沢化  
b 歯周ポケット掻爬  
c 口腔衛生の動機づけ  
d バイオフィルムの破壊

▶ keyword: プロフェッショナルトゥースクリーニング(PTC)

解答: b

プロフェッショナルトゥースクリーニング(PTC)とはすべての歯面からプラーク(バイオフィルム)を機械的清掃器具を用いて取り除くことである。歯科疾患の予防や治療、口腔衛生やリコールの動機づけを目的としている。

- a○  
b× 歯周ポケット掻爬は PTC の目的ではない。  
c○  
d○

文献: 最新歯科衛生士教本 歯科予防処置論・歯科保健指導論 174, 178-179

- 179 フッ化物局所応用法に用いる薬液のフッ素濃度で正しい組合せはどれか。2つ選べ。
- a 0.1%フッ化ナトリウム溶液——洗口液——1,000 ppm  
b 2%フッ化ナトリウム溶液——歯磨剤——9,000 ppm  
c リン酸酸性フッ化ナトリウム溶液——歯面塗布法——12,300 ppm  
d 0.2%フッ化ナトリウム溶液——洗口液——900 ppm

▶ keyword: フッ化物局所応用法に用いる薬液

解答: c, d

フッ化物は、さまざまな方法で歯予防に活用されており、大きくは全身応用と局所応用に分けられる。後者はフッ化物を歯面に直接作用させる方法である。

- a× フッ化物洗口法には、毎日法 0.05% (226 ppmF) と週 1 回法 0.2% (900 ppmF) がある。  
b× フッ化物配合歯磨剤のフッ素(フッ化物イオン)濃度は 1,000 ppm 以下で、配合されるフッ化物はモノフルオロリン酸ナトリウム、フッ化ナトリウム、フッ化第一スズがある。  
c○ 歯面塗布法には、2%フッ化ナトリウム溶液(9,000 ppmF)、リン酸酸性フッ化ナトリウム溶液第 1 法 12,300 ppmF、第 2 法 9,000 ppmF を用いる。  
d○

文献: 最新歯科衛生士教本 歯科予防処置論・歯科保健指導論 189



問題 B		解答・解説	
186	フッ化物洗口法で正しいのはどれか。2つ選べ。 a 洗口液は室温で保管する。 b 第二大臼歯萌出までの小児が対象となる。 c 洗口液は1か月程度で使い切るようにする。 d フッ化ナトリウム試薬は歯科医師が処方する。	<b>解答</b> : c, d フッ化物洗口は毎日法と週1回法があり、萌出後の歯の表面にフッ化物イオンを作らせざることをねらいとした局所応用で、セルフケアの1つである。ただし、うがいができない場合には適応できないことから、乳歯へのう蝕予防法としては不十分のため、主に永久歯へのう蝕予防の手段となる。 a× 洗口液は冷暗所へ保管する。 b× 成人や高齢者の隣接面および根面う蝕にも効果がある。 c○ 洗口液は溶解後3週間から1か月程度で使い切る。 d○ 洗口に用いる薬剤は試薬特級粉末で、歯科医師または医師によって処方される。	<b>文献</b> : 最新歯科衛生士教本 歯科予防処置論・歯科保健指導論 196-200 最新歯科衛生士教本 小児歯科 134 最新歯科衛生士教本 保健生態学 166-168
▶ keyword: フッ化物洗口			
187	フッ化物洗口週1回法で用いる薬液を100mL誤飲してしまった。飲み込んだフッ素量はどれか。 a 4.5 mg b 9.0 mg c 45 mg d 90 mg	<b>解答</b> : d フッ化物洗口週1回法で用いるフッ化物は、0.2%フッ化ナトリウム溶液である。0.2%フッ化ナトリウム溶液1mL中のフッ素量は0.9mgである。したがって、 $0.9\text{ mg} \times 100\text{ mL} = 90\text{ mg}$ となる。 a× b× c× d○	<b>文献</b> : 最新歯科衛生士教本 歯科予防処置論・歯科保健指導論 196-198 最新歯科衛生士教本 保健生態学 166-168
▶ keyword: フッ化物洗口法、フッ素量			
188	小窩裂溝充填法について正しいのはどれか。2つ選べ。 a レジン系シーラントでは酸処理を行う。 b 酸処理は裂溝内の消毒を目的としている。 c 歯面清掃にはフッ化物配合研磨剤を用いる。 d グラスアイオノマーセメントは半萌出歯の応用が可能である。	<b>解答</b> : a, d 小窩裂溝充填は、う蝕感受性の高い小窩裂溝を充填材によって封鎖し、口腔環境から隔離して、う蝕の発生を予防しようとするう蝕予防処置法の1つである。 a○ セメント系シーラント(グラスアイオノマーセメント)は酸処理なしで行う。 b× 酸処理はエナメル質の表面を10~30 $\mu\text{m}$ 脱灰して凹凸をつくり、充填材の接着を保持する目的で行う。 c× フッ化物配合研磨剤を用いるとエッチング効果が弱くなるため、フッ化物を含まないものを選択する。 d○ グラスアイオノマーセメントは酸処理が不要であるため、特に半萌出歯への充填が可能となる。レジン系の充填材はラバーダム防湿が可能となる完全萌出歯に用いる。	<b>文献</b> : 最新歯科衛生士教本 歯科予防処置論・歯科保健指導論 200-205 最新歯科衛生士教本 口腔保健管理 37-38 最新歯科衛生士教本 小児歯科 135-136
▶ keyword: 小窩裂溝充填			

問題 B		解答・解説	
189	レジン系小窩裂溝充填材の術式で正しいのはどれか。 ① 酸処理、水洗、乾燥 ② ラバーダム防湿 ③ 歯面清掃 ④ 咬合調整 ⑤ 充填、重合 a ③→②→①→⑤→④ b ②→③→①→⑤→④ c ①→④→②→⑤→④ d ③→①→②→⑤→④	<b>解答</b> : b う蝕に罹患しやすい小窩裂溝は、複雑な形態をしている。小窩裂溝充填法(フィッシャーシーラント)は、歯質を削らず、充填材で小窩裂溝を封鎖して、う蝕の発生を防ぐ。材料には、レジン系とセメント系があり、レジン系には光重合型と化学重合型がある。レジン系の Bis-GMA はラバーダム防湿を必須とし、充填部位に酸処理を行う。術式は、①ラバーダム防湿、②歯面清掃、③水洗、④酸処理、⑤水洗、⑥乾燥、⑦充填、⑧光重合、⑨未重合部の拭き取り、⑩ラバーダム防湿の除去、⑪咬合調整である。 a× b○ c× d×	<b>文献</b> : 最新歯科衛生士教本 歯科予防処置論・歯科保健指導論 200-204
▶ keyword: 小窩裂溝充填法(フィッシャーシーラント)			
<b>歯科保健指導論</b>			
190	口腔内写真撮影について正しいのはどれか。2つ選べ。 a 3枚法が基本である。 b 下顎歯列弓はミラーを使用する。 c 撮影用ミラーはあらかじめ冷やしておく。 d 口腔内写真撮影の目的を撮影前に説明する。	<b>解答</b> : b, d 口腔内写真を撮影すると、患者の口腔内の状態を明確に記録できる。また、歯科衛生士が行った処置と指導の客観的評価への活用や患者の動機づけにつながる。 a× 撮影部位は、正面観、右側45°面観、左側45°面観、上顎歯列弓(ミラー使用)、下顎歯列弓(ミラー使用)の5枚法が基本的な規格枚数である。さらに詳しく撮影する場合は9枚法がある。 b○ c× 撮影用ミラーはぬるま湯で温めておくとミラーのくもりを防ぐことができる。 d○ 撮影前の説明と承諾を得ることが大切である。	<b>文献</b> : 最新歯科衛生士教本 歯科予防処置論・歯科保健指導論 111-112
▶ keyword: 口腔内写真、撮影方法、撮影枚数			
191	要介護高齢者において特に頻度が高い疾患はどれか。2つ選べ。 a 血友病 b 糖尿病 c 副鼻腔炎 d 高血圧症	<b>解答</b> : b, d 要介護高齢者において特に頻度の高い疾患は、①高血圧症、心疾患、脳血管疾患、②老人性認知症、③糖尿病、④肝硬変、腎透析、⑤肺炎、⑥嚥下障害(誤嚥性肺炎、脱水、窒息、低栄養)などがあり、口腔粘膜疾患としては、扁平苔癬、白板症、口腔カンジダ症、褥瘡性潰瘍などがある。 a× 血液凝固因子のうち、先天的にⅧ因子、Ⅸ因子の欠損または活性が低下している遺伝性疾患である。 b○ c× 上顎洞など副鼻腔に炎症がみられる。急性炎症はウイルスが原因であることが多いが二次感染が起こりこの反復により慢性化する。 d○	<b>文献</b> : 最新歯科衛生士教本 歯科予防処置論・歯科保健指導論 288
▶ keyword: 要介護高齢者、基礎疾患			

問題 B	解答・解説
<p>192 乳幼児期のう蝕の傾向について正しいのはどれか。2つ選べ。</p> <p>a 乳歯う蝕の好発部位は下顎前歯部である。</p> <p>b 乳歯の一人平均う蝕数は年々減少傾向にある。</p> <p>c う蝕有病者率は3歳児よりも5～6歳児のほうが高い。</p> <p>d 健康日本21の目標である、う蝕のない幼児(3歳児)の増加の目標値80%以上は達成された。</p> <p>▶keyword: 乳歯う蝕</p>	<p><b>解答:</b> b, c</p> <p>下顎前歯部はう蝕罹患率が低い部位である。近年、乳幼児のう蝕は減少傾向にあり、乳歯の一人平均う蝕数は低下してきている。乳歯う蝕の有病者率は、年齢とともに増加し7～8歳頃にピークに達するので、3歳児よりも5～6歳児のほうがう蝕有病者率が高い。健康日本21の目標である、う蝕のない幼児(3歳児)の割合は増加傾向にあるが、目標値の80%以上は達成されていない。</p> <p>a × 下顎前歯部のう蝕罹患率は、ほかの部位に比べて低い。</p> <p>b ○</p> <p>c ○</p> <p>d × う蝕のない幼児(3歳児)は増加傾向にあるが、平成23年歯科疾患実態調査では80%以下であり、目標値は達成されていない。</p> <p><b>文献:</b> 最新歯科衛生士教本 歯科予防処置論・歯科保健指導論 8 新歯科衛生士教本 小児歯科学 59-65 平成23年歯科疾患実態調査</p>
<p>193 超音波歯ブラシの使用方で正しいのはどれか。2つ選べ。</p> <p>a 歯面に強く当てる。</p> <p>b 歯磨剤は使用しない。</p> <p>c ストロークが必要である。</p> <p>d 口腔内挿入後に作動させる。</p> <p>▶keyword: 超音波歯ブラシ</p>	<p><b>解答:</b> c, d</p> <p>超音波歯ブラシは、把柄部付近に内蔵された超音波発振器が生み出す超音波と、手の動きによってプラークを除去する。超音波を毛先に生じさせることにより、プラークと歯の結合力を弱めたり、再発性アフタ性口内炎の治療や口内炎発症予防に効果的で、直接細菌に影響を与える。使用の手順は電動歯ブラシや音波歯ブラシと基本的には同じであるが、手用歯ブラシのように毛先を歯面に当てて軽く動かし、プラークを除去する必要がある点異なる。</p> <p>a × 軽く歯面に当て、少しずつ移動させて使用する。</p> <p>b × 研磨剤が配合されていない液状、ジェル状、フォーム状の飛散しにくい歯磨剤を選択するとよい。</p> <p>c ○</p> <p>d ○</p> <p><b>文献:</b> 最新歯科衛生士教本 歯科予防処置論・歯科保健指導論 207-210</p>
<p>194 無歯顎で義歯を使用していない患者の口腔内写真(別冊 No. 14A)と清掃用具の写真(別冊 No. 14B)を別に示す。</p> <p>この患者の口腔内を清掃する際に使用する用具で適切なのはどれか。2つ選べ。</p> <p>a ①</p> <p>b ②</p> <p>c ③</p> <p>d ④</p> <p>▶keyword: 口腔粘膜の清掃</p>	<p><b>解答:</b> a, c</p> <p>柄付きのスポンジブラシや植毛部の面積が広く軟毛の粘膜用ブラシ、口腔内ウェットティッシュなどを用いて食物残渣の除去や粘膜の清拭を行う。最近では、口腔内の乾燥による舌苔や粘膜、口蓋に付着した剝離粘膜や喀痰などの付着物を除去するために、スポンジブラシや粘膜用ブラシに保湿ジェルを用いた口腔ケアが積極的に行われている。</p> <p>a ○ スポンジブラシである。スポンジ部分は口腔内の付着物が絡みやすいように凹凸構造になっている。</p> <p>b × タフトブラシである。ブリッジやクラウンの辺縁やポンティック底部周辺、最後白歯遠心部の清掃に適している。</p> <p>c ○ 粘膜用ブラシである。毛で覆われた球面ブラシで、ワイヤーが大きくなるので口を開けづらい人にも口唇・口角などを傷つけずにケアができる。</p> <p>d × 義歯用ブラシである。</p> <p><b>文献:</b> 最新歯科衛生士教本 歯科予防処置論・歯科保健指導論 224 改訂歯ブラシ事典(学建書院) 100-101</p>

問題 B	解答・解説
<p>195 10歳の女兒。学校歯科医の所見欄にGと記入された学校歯科健康診断票をもって来院した。単純性歯肉炎と診断され保健指導を行うように指示された。</p> <p>まず行うことはどれか。</p> <p>a パス法を習得させる。</p> <p>b う蝕のメカニズムを説明する。</p> <p>c 手鏡で歯肉の状態を確認させる。</p> <p>d 歯垢染色剤を用いてプラーク付着状態を確認させる。</p> <p>▶keyword: 保健指導、単純性歯肉炎</p>	<p><b>解答:</b> c</p> <p>単純性歯肉炎の保健指導では、まず、歯肉炎の程度を把握し、歯肉の状態を説明する。次いで、原因や治療法などを理解してもらい、実践させることである。</p> <p>a × ブラッシングスキルを身につけることは重要であるが、まずは患児に歯肉の状態を説明する。</p> <p>b × 単純性歯肉炎なので、う蝕のメカニズムの説明は適切ではない。</p> <p>c ○ 歯肉の状態を把握させることを優先する。</p> <p>d × 歯肉の状態を説明した後、歯肉炎の原因であるプラーク状況を確認させる。</p> <p><b>文献:</b> 最新歯科衛生士教本 歯科予防処置論・歯科保健指導論 263-264</p>
<p>196 近年の日本人の食生活の問題点はどれか。2つ選べ。</p> <p>a 女性20歳代の低体重</p> <p>b カルシウムの過剰摂取</p> <p>c サプリメントの過剰摂取</p> <p>d 野菜・食物繊維の過剰摂取</p> <p>▶keyword: 食生活、問題点</p>	<p><b>解答:</b> a, c</p> <p>食生活指導にあたっては、実生活に反映できるような具体的な提示が必要であるため、食生活の特徴と問題点を十分に把握することが大切である。</p> <p>a ○ 女性は50歳代までは肥満者が年々低下する傾向にあるが、60歳を過ぎると肥満者は25%に増加する。</p> <p>b × カルシウムは日本人に最も不足しやすい栄養素の代表とされている。</p> <p>c ○ サプリメントなどは、容易に多量の摂取が可能のため、食事摂取基準には過剰症の危険性のある脂溶性ビタミンやミネラルに上限値が示されている。</p> <p>d × 「健康日本21」で野菜の摂取量は1日350gであるが、現状は290g程度と少ない傾向にある。</p> <p><b>文献:</b> 最新歯科衛生士教本 歯科予防処置論・歯科保健指導論 38-44</p>
<p>197 食事バランスガイドの区分とその内容との組合せで正しいのはどれか。</p> <p>a 主食——焼き魚</p> <p>b 主菜——おにぎり</p> <p>c 副菜——ひじきの煮物</p> <p>d 牛乳・乳製品——ショートケーキ</p> <p>▶keyword: 食事バランスガイド</p>	<p><b>解答:</b> c</p> <p>食事バランスガイドとは、何をどれだけ食べればよいかを、コマ状のイラストを用いて示している。料理区分は主食、副菜、主菜、牛乳・乳製品、果物5つに区分されている。</p> <p>a × 主食には、ごはんやパン、麺類などが含まれる。焼き魚は主菜に分類される。</p> <p>b × 主菜には、肉、魚、卵、大豆料理などが含まれる。おにぎりは主食に分類される。</p> <p>c ○ 副菜には野菜、きのこ、いも、海藻料理などが含まれる。</p> <p>d × 牛乳・乳製品には、牛乳および牛乳の加工品であるチーズやヨーグルトなどが含まれる。ショートケーキは菓子類に分類される。</p> <p><b>文献:</b> 最新歯科衛生士教本 歯科予防処置論・歯科保健指導論 248-252</p>

問題 B

解答・解説

198 摂食・嚥下訓練の直接訓練はどれか。  
 a ガムラビング  
 b ペーシング訓練  
 c メンデルソン手技  
 d アイスマッサージ

▶ keyword : 間接訓練、直接訓練

**解答 : b**  
 摂食・嚥下訓練には間接訓練と直接訓練がある。間接訓練は飲食物を用いないで行う基礎訓練で、アイスマッサージ、メンデルソン手技、ガムラビングなどがある。直接訓練は飲食物を用いる訓練で、ペーシング訓練、捕食訓練、空嚥下などがある。  
 a × 歯肉マッサージのことで間接訓練である。口腔内の感覚機能を高め、唾液分泌を促し、嚥下運動を誘発させる。  
 b ○ 個人の嚥下能力にあわせ、食物を口へ取り込むために適切なスピードおよび適切な一口量を摂取できるようにする直接訓練である。  
 c × 舌骨咽頭挙上の改善、延長および食道入口部の開大強化の目的に行う間接訓練である。  
 d × 凍らせた綿棒または冷水に浸した綿球を硬く絞り、前口蓋弓、舌根部、咽頭後壁の粘膜面を軽くなでたり、押ししたりしてマッサージすることにより嚥下反射を誘発させる間接訓練である。

文献 : 歯科衛生士のための摂食嚥下リハビリテーション 138-155

199 喫煙と関係のあるのはどれか。2つ選べ。  
 a 歯周病  
 b 口腔がん  
 c 地図状舌  
 d プラーク付着

▶ keyword : 能動喫煙、口腔疾患

**解答 : a, b**  
 タバコのニコチンやタールなどの化学物質は、喫煙者および周囲の人々にも影響を及ぼす。口腔がんや歯周病の発症に喫煙は深く関係がある。  
 a ○  
 b ○  
 c × 地図状舌は原因不明の舌炎である。  
 d × プラークの付着は、喫煙と直接的な関連はない。

文献 : 最新歯科衛生士教本 歯科予防処置論・歯科保健指導論 232

200 妊産婦集団に対して生まれてくる子どもの歯の形成に関与する栄養素について歯科保健教育を行うことになった。栄養素とその働きとの組合せで正しいのはどれか。  
 a 脂質——エナメル質形成に関与  
 b ビタミンA——歯の耐酸性に関与  
 c ビタミンE——カルシウム、リンの吸収・代謝に関与  
 d カルシウム——歯の石灰化に関与

▶ keyword : 歯の形成、妊産婦栄養指導

**解答 : d**  
 妊産婦への歯科保健教育では、生まれてくる子どもについての教育も行う。歯の形成に関する栄養素では、糖質・タンパク質が歯の基質形成、脂質の中でリン脂質は歯の石灰化に、カルシウムやリンは歯の石灰化に、ビタミンAはエナメル質形成、ビタミンCは象牙質形成、ビタミンDはカルシウム、リンの吸収や代謝に関与する。  
 a ×  
 b ×  
 c × ビタミンEは抗酸化作用をもち、生体内で細胞膜の酸化障害を防止する働きがある。  
 d ○

文献 : 最新歯科衛生士教本 歯科予防処置論・歯科保健指導論 246-247  
 最新歯科衛生士教本 口腔保健管理 66-67

201 市町村保健センターでのPDCAサイクルを用いた健康教育の進め方で正しい組合せはどれか。  
 a 評価 → 計画 → 実施 → 改善  
 b 評価 → 計画 → 改善 → 実施  
 c 計画 → 実施 → 評価 → 改善  
 d 計画 → 実施 → 改善 → 評価

▶ keyword : PDCA サイクル

**解答 : c**  
 地域における保健事業の展開は、計画 (plan) → 実行 (do) → 評価 (check) → 改善 (action) というPDCAサイクルが基本で実施されている。まず、地域住民の声や現状を基にして、計画を策定し、それを実行して評価を行い、計画を見直して次の計画に生かすといった連続した作業を行う。特に健康教育の内容を検討する場合は、国の健康づくりの施策を理解しておく必要がある。  
 a ×  
 b ×  
 c ○  
 d ×

文献 : 最新歯科衛生士教本 歯科予防処置論・歯科保健指導論 331  
 最新歯科衛生士教本 保健生態学 226-227

問題 B

解答・解説

202 文部科学省の「生きる力をはぐくむ学校での歯・口の健康づくり」における課題を参考に、歯周病の原因であるプラークや歯石と口臭の関連および歯周病の予防について取り上げたい。適切な対象はどれか。  
 a 高校生  
 b 中学生  
 c 小学校高学年  
 d 小学校中学年

▶ keyword : 学校で取り組むべき歯・口の健康づくりの課題、歯周病、口臭

**解答 : b**  
 文部科学省では「生きる力をはぐくむ学校での歯・口の健康づくり」において、学校で取り組むべき歯・口の健康づくりの課題を示している。歯周疾患の予防は、小学校中学年で「歯肉炎」、小学校高学年以降は「歯周病」に関する課題があげられている。  
 a × 高校生 (高等学校) における歯周疾患に関する課題は、「歯周病予防の意義と方法の理解と実践」である。  
 b ○ 中学生 (中学校) における歯周疾患に関する課題は、「歯周病や口臭の原因と予防などに関する理解」である。  
 c × 小学校高学年における歯周疾患に関する課題は、「歯周病の原因と予防方法の理解と実践」である。  
 d × 小学校中学年における歯周疾患に関する課題は、「歯肉炎の原因と予防方法の理解」である。

文献 : 最新歯科衛生士教本 歯科予防処置論・歯科保健指導論 265

203 79歳の男性。要介護度は要支援1である。食事は自立しておりほとんど問題はないが、ときどき汁物にむせることがある。口腔機能向上プログラムを行う際、歯科衛生士が介護職員へ助言する内容で正しいのはどれか。  
 a 開口を促す粘膜刺激の方法  
 b 口唇閉鎖に関する筋の訓練法  
 c 舌の動きをよくする発音訓練法  
 d 咽頭付近のアイスマッサージの方法

▶ keyword : 口腔機能向上プログラム

**解答 : c**  
 要介護度「要支援1」では、食事はほとんど自立している。むせや食べこぼし、口腔乾燥などの問題がある場合、口腔機能向上プログラムがプランニングされる。摂食・嚥下体操 (食前の準備体操) が効果的で、主な内容は、深呼吸、首や肩のストレッチと体操、口唇の体操、頬の体操、舌の体操、パタカラの発音訓練など。設問の対象者は、摂食・嚥下機能にはほとんど問題はないが、むせがあることから、食塊形成へ咽頭への送りこみがスムーズになるよう、舌の動きをよくするため、舌の運動やストレッチ、「タ」や「カ」の発音訓練などを行う。また、声門閉鎖訓練なども有効である。  
 a × 仮性球麻痺などで咬反射があり、開口が困難な場合に実施する。「K-point」を刺激すると開口を促すことがある。  
 b × 口輪筋の筋力低下などにより、口唇閉鎖に問題があると、準備期における捕食 (食べ物の取り込み) がうまくいかず、食べこぼしの原因となる。口唇閉鎖の筋である口輪筋の訓練には、頬の膨らませ、「パ」の発音などがある。  
 c ○  
 d × 嚥下反射の惹起が困難な場合、咽頭付近に冷刺激を与えて、嚥下反射を促す。水を含ませた綿を凍らせて使用する。

文献 : 最新歯科衛生士教本 高齢者歯科 70-72

204 介護予防事業における基本チェックリストのうち口腔機能の質問項目で正しいのはどれか。2つ選べ。  
 a 口の渇きが気になりますか。  
 b 食事はおいしく食べていますか。  
 c 食事中や食後に痰のからみはありませんか。  
 d 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか。

▶ keyword : 基本チェックリスト

**解答 : a, d**  
 基本チェックリストは65歳以上の高齢者を対象に、生活機能の低下が認められる二次予防事業の対象者の把握と情報収集を目的として実施している。運動、口腔、栄養、物忘れ、うつ症状、閉じこもりなどの全25項目について「はい」「いいえ」で記入する質問表である。口腔機能を評価する基本チェックリストの項目は、①半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか、②お茶や汁物などでむせることがありますか、③口の渇きが気になりますかとの3項目であり、このうち2項目以上に該当する場合は口腔機能向上プログラムなどの支援を考慮する必要がある。  
 a ○  
 b ×  
 c ×  
 d ○

文献 : 実践! 口腔機能向上マニュアル (財団法人 東京都福祉保健財団) 36-38

問題 B

解答・解説

歯科診療補助論

205	<p>顔面規格写真撮影時の注意点はどれか。</p> <p>a 咬頭咬合位で咬合させる。 b カンベル平面と床面を平行にする。 c カメラレンズの高さを上唇に合わせる。 d 頭部固定装置のイヤarroッドと目の高さをそろえる。</p> <p>▶keyword: 顔面写真の撮影</p>	<p><b>解答: a</b></p> <p>矯正歯科治療では歯列の改善が行われると、同時に顔貌も大きく変化する。顔面写真は顔のタイプを把握し、顔貌の特徴を記録して治療前後の変化を評価するため、初診時から治療経過、治療終了後まで定期的に撮影する。そのため、被写体とカメラの距離や光量、倍率など撮影方法や条件などの規格を一定にして撮影する必要がある。</p> <p>a ○ b × フランクフルト平面（眼耳平面）と床を平行にし正視する。 c × カメラレンズは目の高さに合わせる。 d × 患者の耳介を露出し、頭部固定装置のイヤarroッドと耳の高さをそろえる。</p> <p><b>文献: 最新歯科衛生士教本 歯科矯正 120-126</b></p>
206	<p>20歳の女性。歯並びを治したいということで矯正治療を始めた。診断・治療計画作成後、治療に入り、上下顎左右第一大臼歯にバンドを装着することとなった。写真(別冊 No. 15)を別に示す。</p> <p>バンド装着のために必要な器具はどれか。2つ選べ。</p> <p>a ① b ② c ③ d ④</p> <p>▶keyword: バンド装着のための器具</p>	<p><b>解答: a, b</b></p> <p>バンド装着の器具には、バンドコンタリングプライヤー、バンドプッシャー、バンドシーター、エラストックセパレーティングプライヤーなどがある。</p> <p>a ○ バンドプッシャーである。 b ○ バンドコンタリングプライヤーである。 c × バンドピークプライヤーである。 d × ツィードアーチベンディングプライヤーである。</p> <p><b>文献: 最新歯科衛生士教本 歯科矯正 127-129</b></p>
207	<p>バンド撤去で正しいのはどれか。2つ選べ。</p> <p>a 一気に撤去する。 b 頬側、唇側より行う。 c 痛みが生じることを患者に説明する。 d 超音波スケーラーでセメントを除去する。</p> <p>▶keyword: バンド撤去</p>	<p><b>解答: c, d</b></p> <p>バンドを撤去するには、バンド撤去鉗子やバンド材を切断する切断撤去鉗子などを用いる。鉗子の一端を抵抗源として咬合面にかけ、バンドを歯面より外すが、歯に痛みが加わらないように、また歯冠を破損しないように注意する。</p> <p>a × 痛みが大きくなるように少しずつ行う。 b × 口蓋側、舌側より行う。 c ○ d ○</p> <p><b>文献: 最新歯科衛生士教本 歯科矯正 148 新歯科衛生士教本 歯科矯正学 162-163</b></p>
208	<p>小児歯科における処置内容で誤っているのはどれか。</p> <p>a 乳歯用既製金属冠のセメントは薄く一層入れる。 b 注射筒は患児の眼に触れぬよう頭の後ろで受け渡す。 c 深在性う蝕の幼若永久歯覆髄法は暫間的間接覆髄法を行う。 d ラバーダム防湿は材料や薬剤から患児を守るための処置である。</p> <p>▶keyword: 小児歯科治療に必要な器材・薬剤</p>	<p><b>解答: a</b></p> <p>a × セメントは一気に乳歯用既製金属冠いっぱいに入れる。 b ○ c ○ 歯髄に近接する深い窩を有する幼若永久歯に、露髄を避ける目的から暫間的間接覆髄法（IPC法）を行うことがある。 d ○</p> <p><b>文献: 最新歯科衛生士教本 小児歯科 142、145、153、156</b></p>

問題 B

解答・解説

209	<p>乳歯用既製冠修復で使用しないのはどれか。</p> <p>a 金冠バサミ b アブレーションポイント c ムシャーンのパライヤー d 酸化亜鉛ユーージノールセメント</p> <p>▶keyword: 乳歯用既製冠</p>	<p><b>解答: d</b></p> <p>乳歯用既製冠は技工操作を必要としないため、即日で治療が可能であり、歯質の切削量が少ない利点がある。</p> <p>a ○ 乳歯用既製冠の歯頸部の過剰部分を除去する。 b ○ 研磨に使用する。 c ○ 歯頸部の適合を調整する。 d × 合着用セメントを準備する。</p> <p><b>文献: 最新歯科衛生士教本 小児歯科 150-153 ポイントチェック⑤第4版 173</b></p>
210	<p>歯科診療室における高齢者との接し方で正しいのはどれか。2つ選べ。</p> <p>a こちら側のペースで進めていく。 b 一度にたくさんの情報を与える。 c 待合室と診療室の段差に注意を促す。 d 聞き取りやすい声でゆっくりはつきり話す。</p> <p>▶keyword: 生理的な加齢変化</p>	<p><b>解答: c, d</b></p> <p>高齢者数の増加に伴い、高齢者の歯科受診の機会が増えている。高齢者の多くは、何らかの歯科疾患以外の疾患を有している。そのため、歯科診療を安全に進めるために患者の全身の状態を把握しておくことは必須であり、高齢者の生理的な加齢変化および口腔内における加齢の変化を理解し、対応していくことが必要である。</p> <p>a × 正確な情報を得るためには、相手のスピードに合わせて十分時間をかけて対応する。 b × 一度にたくさんのことをいわれるとパニック状態に陥ることがあり、正確な状態が確認できない。 c ○ d ○</p> <p><b>文献: 最新歯科衛生士教本 高齢者歯科 46-49</b></p>
211	<p>摂食・嚥下障害のスクリーニング法はどれか。2つ選べ。</p> <p>a ガムラビング b 寒冷刺激訓練 c 改訂水飲みテスト d 反復唾液嚥下テスト</p> <p>▶keyword: 摂食・嚥下障害のスクリーニング法</p>	<p><b>解答: c, d</b></p> <p>摂食・嚥下障害のスクリーニングとは、嚥下障害の有無をいくつかの手段でふり分けられることで、歯科衛生士が行うことができる。</p> <p>a × 摂食機能訓練の中の間接訓練の1つである。 b × 摂食機能訓練の中の間接訓練の1つである。 c ○ d ○</p> <p><b>文献: 最新歯科衛生士教本 高齢者歯科 66-75</b></p>
212	<p>障害者の対応で適しているのはどれか。2つ選べ。</p> <p>a ダウン症候群の患者は抑制的な治療はできない。 b 自閉性障害者には仕切りや個室を使用するのが望ましい。 c 聴覚障害者とのコミュニケーションは筆談が最もよい方法である。 d 知的障害者には同時に各方向からの声かけは行わないようにする。</p> <p>▶keyword: 歯科治療、知的障害者、聴覚障害者</p>	<p><b>解答: b, d</b></p> <p>a × ダウン症候群の患者は、頸椎の形成不全により亜脱臼を起こしやすいので、抑制的な治療時には十分な注意が必要である。 b ○ 自閉性障害者は多様な情報を脳で処理して認識することに障害があるため、待合室の絵や音楽、薬品や香水の臭いなどの感覚刺激に特異的な反応を示す場合がある。そのため仕切りや個室を使用し、単純で変化の少ない環境をつくり、視聴覚刺激をコントロールするのが望ましい。 c × 聴覚障害者に対して、治療計画や処置後の注意事項など複雑で伝えにくい内容は筆談や絵、図、模型など視覚に訴える資料を提出するとよい。 d ○ 知的障害者と歯科医師のコミュニケーションがはかりやすいように歯科医師と重複した声かけや、同時に各方向からの声かけは行わないようにする。</p> <p><b>文献: 最新歯科衛生士教本 障害者歯科 45-51 最新歯科衛生士教本 歯科予防処置論・歯科保健指導論 294-296</b></p>

問題 B		解答・解説	
213	<p>手の不自由な患者に対するブラッシング指導で正しいのはどれか。2つ選べ。</p> <p>a 電動歯ブラシを勧める。 b デンタルフロスを勧める。 c 歯ブラシの柄を太くする。 d すべて家族にやってもらおう。</p>	<p><b>解答:</b> a, c</p> <p>a ○ 電動歯ブラシは有効であることが多い。 b × デンタルフロスは歯ブラシ以上に手指の操作が必要なので、手指の巧緻性が低い患者は使用しにくい。 c ○ 持ちやすくする工夫は必要である。 d × 自分でできることは自分でやるように指導する。</p>	<p><b>文献:</b> 最新歯科衛生士教本 障害者歯科 134-138</p>
▷ keyword: 障害者へのブラッシング指導			
214	<p>歯科衛生士が行う口内法エックス線写真撮影の準備で正しいのはどれか。2つ選べ。</p> <p>a 患者に防護衣を装着する。 b フィルムマーカーは歯根側に位置づける。 c エックス線撮影前に患者のピアスやメガネを取り外す。 d 上顎を撮影する際には口角-耳珠線を床面と水平になるように頭部を固定する。</p>	<p><b>解答:</b> a, c</p> <p>a ○ 防護衣はエックス線を遮蔽する目的で使用。防護衣は遮蔽効果の高い鉛でできている。 b × フィルムマーカーとはフィルムの表裏識別や管理のためにつけられているもので、歯冠側に位置づけるようにする。 c ○ エックス線撮影前には撮影領域に含まれる可能性のある顔面周囲の金属類(ピアス、イヤリング、メガネ、可撤性義歯など)は取り外す。メガネなしで歩行困難な患者には撮影室で取り外してもらうとよい。 d × 頭部の固定は、上顎の場合は鼻翼-耳珠線を床面と水平にし、下顎の場合は口角-耳珠線を床面を水平にする。</p>	<p><b>文献:</b> 最新歯科衛生士教本 歯科放射線 95-100</p>
▷ keyword: 撮影前の準備、フィルムマーカー、頭部固定、エックス線防護			
215	<p>エックス線撮影時の失敗と原因との組合せで正しいのはどれか。2つ選べ。</p> <p>a すべて白くみえる——照射時間の過剰 b 歯の全長が短くみえる——垂直的角度の不足 c 隣接面が重複する——水平的角度の不足 d 二重、三重にみえる——撮影中のフィルムの動揺</p>	<p><b>解答:</b> c, d</p> <p>a × 照射時間が過剰になるとすべてが黒くみえる画像になる。過度な露光の多くは照射時間の設定ミスである。男性、女性、成人、小児により照射時間は異なる。 b × 垂直的角度が不足していると全体的に伸長した画像になる。また、角度が過剰な場合は全体的に短縮した画像になる。 c ○ 水平的角度が不足すると正放線投影されていないため、隣接面が重複した画像になる。 d ○ 撮影中にフィルムが動揺すると二重、三重にみえる画像になる。撮影中の舌運動や嘔吐反射などにより二重、三重になることもある。</p>	<p><b>文献:</b> 最新歯科衛生士教本 歯科放射線 92-94</p>
▷ keyword: 照射時間、照射角度、フィルムの位置づけ			

問題 B		解答・解説	
216	<p>図を示す。</p> <p>撮影法はどれか。</p> <p>a 平行法 b 二等分法 c 咬合法 d 咬翼法</p>	<p><b>解答:</b> d</p> <p>咬翼法は上下顎臼歯部の隣接面う蝕の検出、歯槽骨頂の吸収状態を観察することを目的とした撮影法で、加えて臼歯部の咬合状態、補綴物の近遠心的な適合状態、歯石沈着の有無なども観察できる。</p> <p>a × 歯軸とフィルムを平行に保ち、中心線(主線)をやや遠距離から垂直に歯頸部付近へ投影する撮影法である。 b × 歯軸とフィルムとのなす角度を二等分する線に直角にエックス線を照射する方法である。歯の実長に近い画像が得られる撮影法である。 c × フィルムを上下の歯で咬んだ状態で撮影する。口内法撮影用フィルムより広い領域を撮影する必要があるときや歯軸方向からの観察を必要とする場合の撮影法である。 d ○</p>	<p><b>文献:</b> 最新歯科衛生士教本 歯科放射線 39</p>
▷ keyword: 咬翼法			
217	<p>血圧検査について正しいのはどれか。2つ選べ。</p> <p>a 血圧を左右する因子には血管壁の抵抗性などがある。 b 血圧測定には水銀血圧計と自動血圧計が多く用いられている。 c 収縮期血圧とは心臓が拡張した際の動脈血圧のことである。 d 患者に食事は血圧検査の2時間前までに済ませるように伝える。</p>	<p><b>解答:</b> a, b</p> <p>a ○ 血圧が「高い」または「低い」場合、血圧を左右する4因子(ほかに心臓拍出力、血液の粘稠度、血液の量)のどれかに異常を生じているか、生じる危険性があると考えられる。 b ○ c × 収縮期血圧とは心臓が収縮した際の動脈血圧のことで、拡張期血圧は弛緩して心臓が拡張した際の動脈血圧のことである。 d × 測定時の患者への注意事項として、食事は1時間前までに済ませるようにすること。トイレも検査の5分前までに済ませるようにする。</p>	<p><b>文献:</b> 最新歯科衛生士教本 臨床検査 16-18</p>
▷ keyword: 血圧測定			
218	<p>成人で正常値内にあるのはどれか。2つ選べ。</p> <p>a 尿量——500 mL/日 b 脈拍数——70 回/分 c 拡張期血圧——110 mmHg d 空腹時血糖値——200 mg/dL</p>	<p><b>解答:</b> b, c</p> <p>臨床検査には生体検査や検体検査および画像診断法の3種類がある。それぞれの基準値を知ることは歯科衛生士として重要である。</p> <p>a × 1回の排泄量は約200~400 mLであり、1日の尿量は、約800~1,500 mLの範囲内で変動することが多い。 b ○ 脈拍数は一般に成人で65~80回/分であり、女性は男性よりも多く、また小児は成人よりもやや多いなどの違いがある。 c ○ 至適血圧は収縮期血圧(最高血圧)120 mmHg 未満かつ拡張期血圧(最低血圧)80 mmHg 未満であり、また正常血圧は最高血圧130 mmHg 未満かつ最低血圧85 mmHg 未満となっている。 d × 空腹時血糖値の基準値は、静脈血を用いた場合、空腹時で70~110 mg/dLである。</p>	<p><b>文献:</b> 最新歯科衛生士教本 臨床検査 14, 16, 36</p>
▷ keyword: 生体検査			

問題 B		解答・解説
219	<p>全身麻酔について正しいのはどれか。</p> <p>a 静脈麻酔薬にはケタミンがある。</p> <p>b 口腔内手術ではマスク麻酔を行う。</p> <p>c 全身麻酔の2日前に前投薬を行う。</p> <p>d 成人は手術の1時間前より禁飲食とする。</p> <p>▶ keyword : 一次救命処置</p>	<p><b>解答</b> : a</p> <p>全身麻酔とは、薬物により意識を消失させ、手術が可能な無痛状態をつくり出す方法である。口腔外科手術だけではなく、障害者や歯科恐怖症の患者の歯科治療時にも広く行われる。</p> <p>a○ 静脈麻酔薬には、チオペンタール、ケタミン、プロポフォールなどがあるが、現在ではプロポフォールが最も多く使用されている。</p> <p>b× マスク麻酔は、患者の顔面にマスクを装着し、吸入麻酔を投与する。気道確保が不確実で、口腔内手術が不可能である。一方、経鼻挿管による麻酔は口腔内の手術に適している。</p> <p>c× 麻酔前投薬は、通常は、全身麻酔導入の60分程度前に薬物を筋肉注射か経口投与する。</p> <p>d× 経口摂取は固形食は予定された手術の6時間前まで、母乳は4時間前まで、水分は2時間前までとし、その後は禁飲食とする。これにより、全身麻酔導入時の胃内容逆流による誤嚥性肺炎や窒息を予防する。</p> <p><b>文献</b> : 最新歯科衛生士教本 口腔外科・歯科麻酔 209-215</p>
220	<p>過換気症候群の処置で正しいのはどれか。</p> <p>a 酸素吸入</p> <p>b 下肢挙上</p> <p>c 昇圧薬投与</p> <p>d 鎮静薬投与</p> <p>▶ keyword : 過換気症候群</p>	<p><b>解答</b> : d</p> <p>過換気症候群に対する処置としては、息こらえ、呼気再吸入、ベンゾジアゼピン系薬物の静脈注射が行われる。</p> <p>a× 酸素吸入は無効もしくは、さらに症状を悪化させることがある。</p> <p>b× 下肢挙上が必要なのは神経性ショックである。</p> <p>c× 昇圧薬が必要なのは神経性ショックである。</p> <p>d○</p> <p><b>文献</b> : 最新歯科衛生士教本 口腔外科・歯科麻酔 206 ポイントチェック⑤第4版 182</p>

科目別問題番号一覧表

	問題数	A	B
解剖学	7	問 1~4	問 111~113
生化学	3	問 5	問 114~115
生理学	7	問 6~9	問 116~118
病理学	5	問 10~11	問 119~121
微生物学	5	問 12~14	問 122~123
薬理学	5	問 15~16	問 124~126
口腔衛生学	15	問 17~24	問 127~133
衛生学・公衆衛生学	16	問 25~32	問 134~141
栄養学	5	問 33~34	問 142~144
歯科衛生士概論	2	問 35	問 145
歯科臨床の基礎	3	問 36	問 146~147
保存修復学	5	問 37~39	問 148~149
歯内療法学	5	問 40~41	問 150~152
歯周治療学	5	問 42~44	問 153~154
歯科補綴学	7	問 45~47	問 155~158
口腔外科学	7	問 48~51	問 159~161
歯科矯正学	7	問 52~54	問 162~165
小児歯科学	7	問 55~58	問 166~168
高齢者歯科学	5	問 59~60	問 169~171
障害者歯科学	5	問 61~63	問 172~173
歯科予防処置	32	問 64~79	問 174~189
歯科保健指導	30	問 80~94	問 190~204
歯科診療補助	32	問 95~110	問 205~220
計	220		

(出題数は当社予測による)